NEC

活用ブック 2

どこからでも読める
雑誌スタイルでやさしく解説！

VALUESTAR
LaVie

●マニュアルガイド●

このパソコンには、次のマニュアルが添付されています。
目的に合わせてご覧ください。

パソコンを使う準備をしよう

『準備と設定』

ケーブルの接続やパソコンのセットアップ／基本中の基本の操作／インターネットに接続する方法／パソコンを買い替えたときは　など

パソコン活用のヒントはこの本

『活用ブック』

マウスやウインドウの使い方／日本語入力をマスターしよう／メールやホームページの楽しみ方／便利なソフトの活用術／セキュリティ対策について　など

トラブルが起きたときは

『パソコンのトラブルを解決する本』

パソコンの電源が入らない、パソコンが急に動かなくなったときは／画面が表示されない／ウイルスに感染してしまったら／再セットアップ方法　など

パソコンでテレビを見てみよう

『テレビを楽しむ本』

（デジタルハイビジョンTVモデルのみ）

パソコンで簡単にテレビを見る方法／おてがる予約や追っかけ再生／録画番組の編集／ DVDなどへの保存方法／一歩進んだテレビ操作　など

853-810601-797-A

あなたはパソコンで何をしたいですか？

いろんなことができる。その分難しいのがパソコン。
もし、あなたがパソコンにあまり慣れていないなら、まずいちばんやりたいことを決めてください。
欲張らないで、いちばんやりたいことから、少しずつ始める。
それがパソコン上達への近道なんです。

この『活用ブック』は、パソコンと楽しくつきあっていけるように、基礎的なことからていねいに説明するように心がけて作りました。

初心者のかたは、知っているところは飛ばしながら、はじめから読んでいくといいと思います。
慣れているかたは、必要なところから読んでください。

心配しなくてもだいじょうぶ。
気楽に始めましょう。

853-810601-797-A　　2008年12月　初版

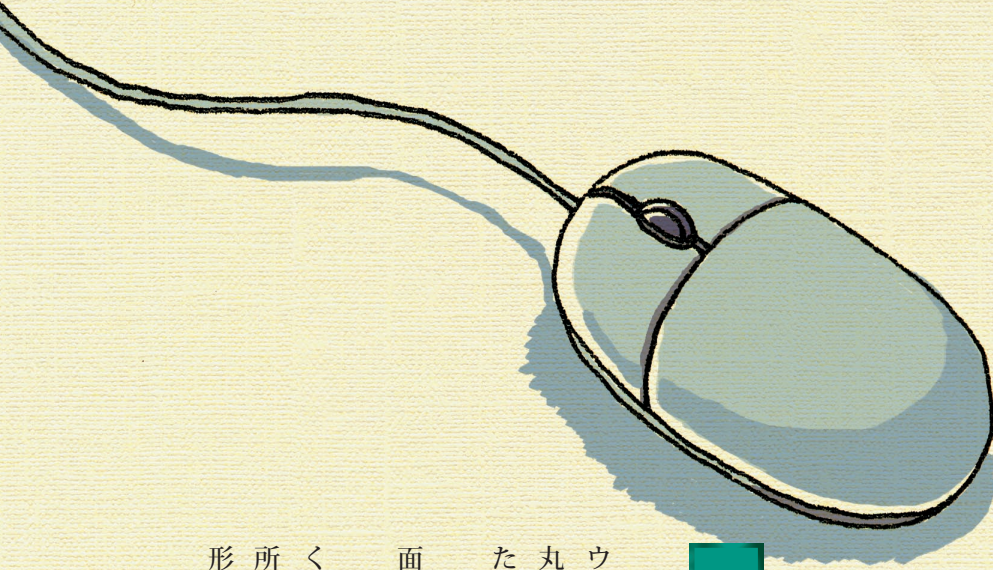
❖目次❖

パソコン初心者道場

「パソコンのいろは3」のご紹介

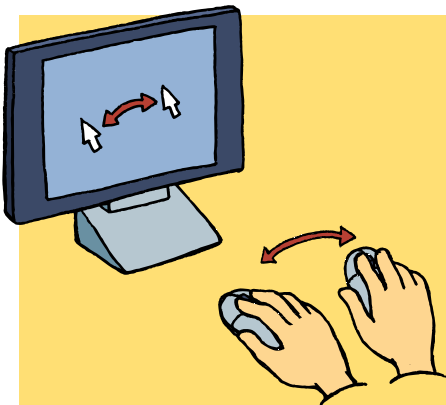
このパソコンには、パソコンの基本的な使い方を練習するためのソフト「パソコンのいろは3」が入っています。実際にパソコンを使って、自分の手で操作しながら、パソコンの使い方をひとつづつ覚えることができます。画面にガイドが表示されるのでわかりやすく、自然にパソコンに慣れることができます。ぜひ「パソコンのいろは3」を使ってみてください。詳しい使い方は44ページに載っています。

マウスから始めるパソコンの基本

マウスは、ラジコンやゲーム機のコントローラーみたいなものです。ちょっと違うのは机の上に置いて、手を乗せて操作するところ……。

机の上ですべらせてみよう

マウスはパソコンの画面の中にある矢印(マウスポインタ)を動かすコントローラーです。丸っこくてコードがシッポみたいでネズミみたいだったので、マウスと呼ばれます。

机の上に置いてすべらせてみましょう。画面の矢印も動きましたね。

大きくグルグル動かしながら、その形をよく見てみると……。マウスポインタの形は場所によって矢印（　）や手（　）などの形に変わるんです。

机の上でマウスを動かすと、パソコンの画面でマウスポインタが動く。グルグルと動かしてみよう

ボタンがついている側を前方にして机の上に置き、右手の平でそっと包むように持ち、人差し指を左ボタンの上に、中指を右ボタンの上に置きます(左手のときは指の位置を逆にしてください)

クリックするとなにかが起きる

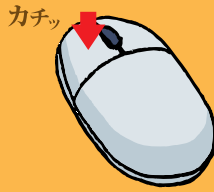
マウスポインタを、画面の中の「どこか」に動かして、そこで「なにか」をする。それが、パソコンへの指示になります。

「なにか」には、主に左の図の四つがあります。

パソコンの画面を見ながら、マウスポインタ（ポインタ）をごみ箱（左上の方にあります）に合わせて、ダブルクリックしてみましょう。四角いものが開きましたね。これが、ごみ箱の中身です。今度は、右上の ☒ をクリックしてみましょう。ごみ箱が閉じます。こんな風に指示を出すわけです。

マウスを動かしているうちに、机の端まで行ってしまっても大丈夫。上に持ち上げて空いている場所に置きなおしてください。持ち上げている間は、マウスポインタは動きません。

【クリック】

左側のボタンをカチッと押してすぐ離すこと。何かを選ぶときなどに使う。

【ドラッグ】

左側のボタンを押したままマウスを動かすこと。何かを動かすときなどに使う。

【ダブルクリック】

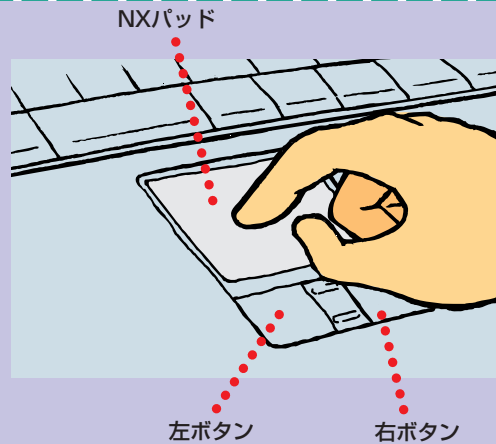
左側のボタンをカチカチッと2回押すこと。

【右クリック】

右側のボタンをカチッと押してすぐ離すこと。

NXパッドもマウスのように使える

ノートパソコンのキーボードの手前には、「NXパッド」がついています。これはマウスと同じ働きをするので、マウスと両方あるときは使いやすい方を使ってください。マウスを動かす場所がないときにも使えます。

NXパッドを指でこすると、マウスを動かしたときと同じようにマウスポインタが動きます。左ボタンと右ボタンはマウスのボタンと同じように使います。

NXパッドを1回トンとたたくことを「タップ」という。左ボタンのクリックと同じ働きをする

デスクトップの風景をながめてみよう

パソコンの画面をデスクトップといいます。あなた専用の机です。あなたのデスクトップには、どんな風景が見えていますか？

左側にはマークがいっぱい

パソコンの電源を入れてしばらくすると、マウスポインタが回転する円◯から矢印になって、下図のような画面になります。この画面はパソコンのモデルや設定で違います。

これが「デスクトップ」。机の上です。ここにいろんなものをひろげて何かしようというイメージです。

左側にパラパラとマークが見えていますね。ごみ箱と書かれたものや、インターネットに関係がありそうなものが並んでいます。みんな同じくらいの大きさで、下に名前が書いてあります。

このマークを「アイコン」といって、パソコンの中に入っているものや機能をあらわし

パソコンの画面いっぱいにひろがる「デスクトップ」（机の上）。この上でメールを書いたり、ワープロを使ったりする

ています。アイコンは、デスクトップのいちばん下の横長の帯（タスクバー）の右端にもあるし、パソコンを使っているとあちこちで見かけることになります。

「デスクトップ」という言葉と「アイコン」という言葉は、パソコンのことを知るために、ぜひ覚えておいてください。

デスクトップの文字を大きくする

アイコンの下の名前が小さくて見づらい人は、デスクトップのアイコンを大きくしてみましょう。「パソらく設定」というソフトでアイコンやマウスポインタの大きさをかんたんに変えることができます。

「パソらく設定」を使うには、ソフト&サポートナビゲーターの「ソフトを探す」から、「パソコンの設定」、「文字の大きさやマウスを使いやすく設定する」、「ソフトを起動」の順にクリックして、「パソらく設定」を起動します。（ソフトの起動方法について詳しくは次のページで）

■ パソらく設定

ソフト&サポートナビゲーター(8ページ)→「ソフトを探す」→「パソコンの設定」→「文字の大きさやマウスを使いやすく設定する」→「ソフトを起動」で起動する

「パソらく設定」は、デスクトップ画面の右半分に表示される。「パソらく設定を始める」、「簡単おまかせ設定」、「設定する」の順にクリックすると……

▼

画面左側のアイコンや文字が大きくなる。これでよければ「おわる」をクリック。大きすぎるときは、「元に戻す」をクリックして、「自分で設定」を選べば、好きなように設定できる

これらの絵文字をアイコンという。
ごみ箱のほかに、書類を入れる場所やソフトなど、いろんなものがアイコンであらわされている

いよいよソフトを開いてみる

ワープロソフト、メールソフト、表計算ソフト……、パソコンでなにかをするときは「ソフト」という道具を使います。

ソフトを使うためにすること

デスクトップの右側には、「サイドバー」があります。ここの「おすすめメニュー」をクリックして、左側に表示される「ソフトを探す」をクリックすると、「ソフト&サポートナビゲーター」が開きます。

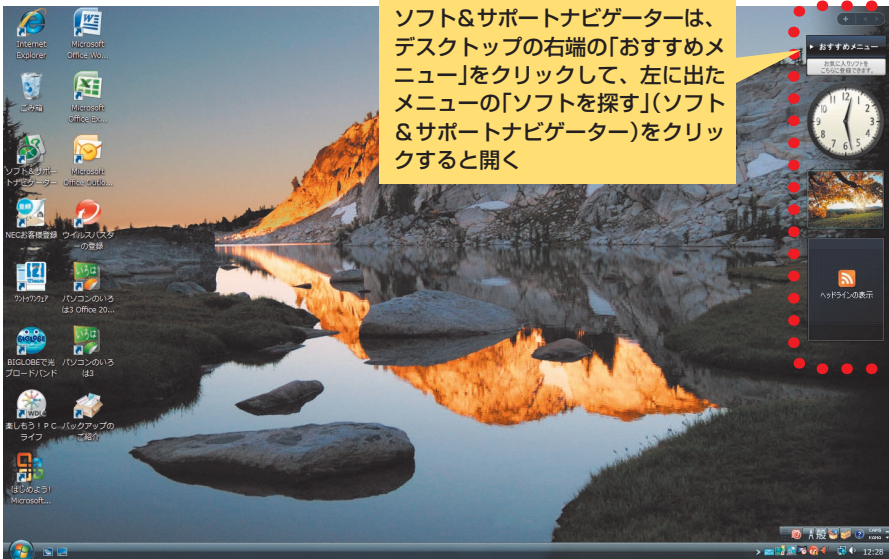
このソフト&サポートナビゲーターは、ソフトを探して起動したり、パソコンの基本的な使い方などを調べたりするときに使います。

「ソフト」というのは、パソコンでなにかをするための道具。「起動する」というのは、そのソフトを道具として使える状態にすること……。いや、こんな説明をするより、実際に、そのソフトというものを起動したほうが早いですね。「ワードパッド」というソフトはいかがでしょう。文章を書くために使うシンプルなソフトです。

左のページの手順にそって、ワードパッドを起動してみましょう。

ソフト&サポートナビゲーターの左上の「ソフトを探す」をクリックしてください。そして左の欄からやりたいことを選び、真ん中の欄でさらに目的を絞り込むと、右の欄におすすめソフトが表示される仕組みになっています。ワードパッドは、文章を書くためのソフトなので、「文書・はがき作成」、「メモを書く」、「その他ソフト1」の順にクリックしていきます。つづいて「ソフトを起動」をクリックすれば、ワードパッドが起動します。四角い枠が開きましたね。こういう枠を「ウィンドウ」といいます。

これは、ワードパッドのウィンドウ。文章を書くための場所です。

ソフト&サポートナビゲーターは、デスクトップの右端の「おすすめメニュー」をクリックして、左に出たメニューの「ソフトを探す」(ソフト&サポートナビゲーター)をクリックすると開く

サイドバー

ソフトを終了する

ここでキーボードを使うと文字を入力できるのですが（16ページ）、先に終わり方を試してみましょう。左上の「ファイル」をクリックすると、その下にいくつかの項目が出てきます。こういう一覧を「メニュー」といいます。この中の「ワードパッドの終了」をクリックすると、ワードパッドのウィンドウが閉じて、終了します。

右上の赤い[X]をクリックしても閉じますが、メニューからも操作できるんです。

ここでは、ソフト&サポートナビゲーターを使ったソフトの起動と終了をやってみましたが、ソフトを起動する方法は、ソフト&サポートナビゲーターを使う方法だけではありません。これ以外にもいくつかの方法があります。48ページを参照してください。

おすすめメニュー

デスクトップ右端の「おすすめメニュー」をクリック

「ソフトを探す」(ソフト&サポートナビゲーター)をクリック

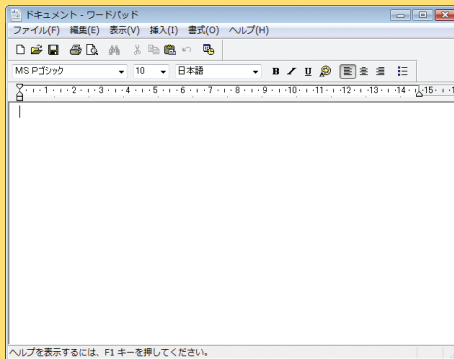
デスクトップ左端の をダブルクリックしても同じようにソフト&サポートナビゲーターが開きます

ソフト&サポートナビゲーターは、左から右へ順に見ていく仕組み

「ソフトを探す」をクリックし、「文書・はがき作成」をクリック

「メモを書く」をクリック

「その他ソフト1」をクリック

「ソフトを起動」をクリック

上に「ドキュメント-ワードパッド」と書かれた四角い枠が開きます。これが「ワードパッド」というソフトです

パソコンのいろは3 「7章デスクトップの操作」

パソコン初心者道場①

ウィンドウの使い方いろいろ

ソフトを起動すると開く四角い枠をウィンドウといいます。
デスクトップ(机の上)に開いたノートや本のイメージなんです。

スクロールでずらしてみる

ソフトを起動して画像を見ようとしたのに、あれ、様子がヘンですね。ウィンドウよりも大きいものは、はみだしたところが見えません。こんなときは、ウィンドウの右や下の端の▲や▼をクリックしてズラしてみましょう。これをスクロールといいます。

ウィンドウの右縁・下縁でスクロール

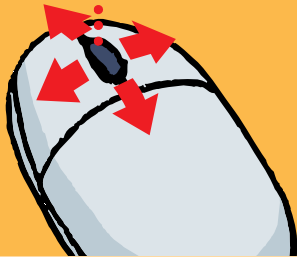
もっと上の方を見たいときは、ここをクリックする

いま全体のどのあたりが見えているかを示している。ここをドラッグしてもスクロールできる

もっと下の方を見たいときは、ここをクリックする

もっと右を見たいときは、ここをクリックする

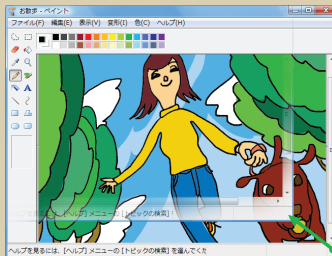
マウスで簡単スクロール

ここを奥に回すと上へ、手前に回すと下へスクロールします

横スクロールマウスでは、左右に倒すと左や右へスクロールできるソフトもあります

この冊子ではウィンドウのことを「画面」とも呼んでいます

ウィンドウの基本操作

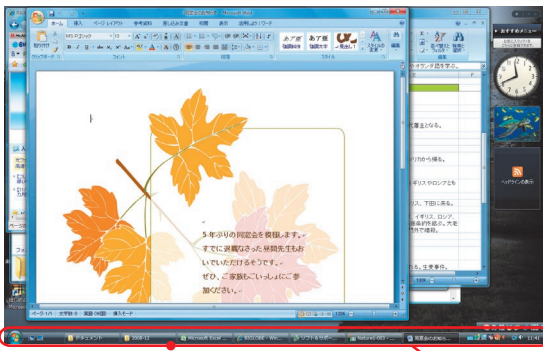
この横長の帯(掛け軸でいえば、上の軸にあたる部分)をドラッグするとウィンドウが移動する。最大化しているとき(画面いっぱいに表示しているとき)はできない

角の部分をドラッグすると、ウィンドウの大きさが変わる。最大化しているとき(画面いっぱいに表示しているとき)はできない

ウィンドウはたくさん開ける

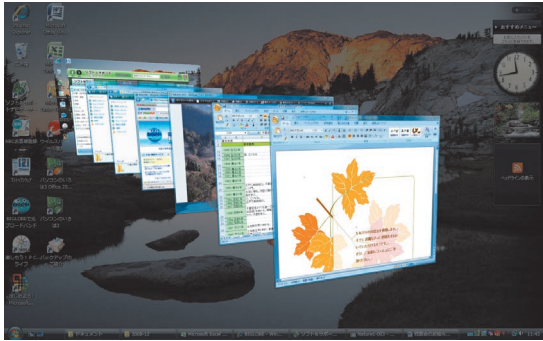
ウィンドウは、いくつも開けます。いろんなことができます。メールとホームページを見ながら、企画書を書く、そんな感じです。

でも、いくつ開いていても、一度に操作できるウィンドウはひとつだけです。それは、いちばん手前に見えているウィンドウです。

ウィンドウをたくさん開くと、最初に開いたウィンドウがだんだん隠れて見えなくなります。下の方に隠れたウィンドウを操作したいときはどうすればいいでしょう。

操作したいウィンドウが見えているときは、そのウィンドウの文字などがない部分をクリックすると、いちばん手前になります。ウィンドウが見えていないときやウィンドウが最大化に（画面いっぱいに）なっているときは、画面左下の　をクリックするか、画面のいちばん下のタスクバーに表示されたウィンドウの名前をクリックします。ただし、ほかのソフトと同時には使えないソフトもあります。

タスクバー

ここには、開いているウィンドウの名前が表示される。クリックすると、そのウィンドウがいちばん手前になる

をクリックする

こんな具合に重なっている。いちばん手前が、今操作しているウィンドウ。操作したいウィンドウを見つけたらそれをクリックする
Windows Vista Home Basicモデルでは、この画面は表示できません

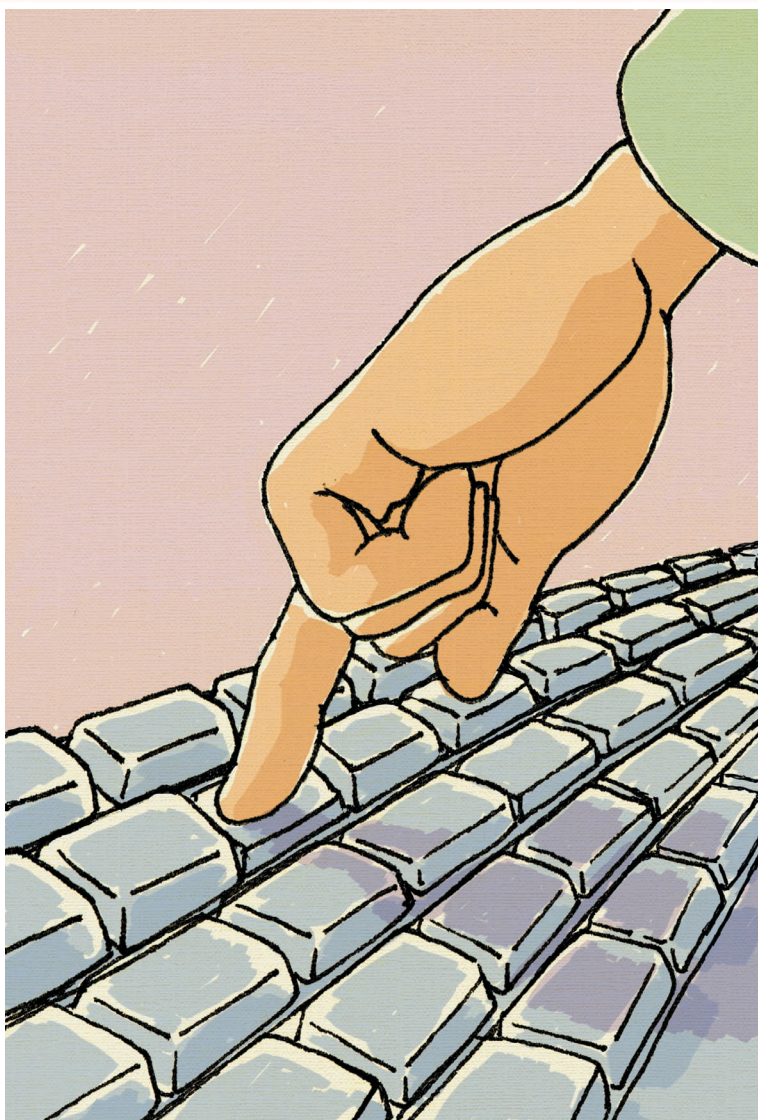
この　印をクリックすると、ウィンドウが仮に閉じて（本当に閉じているわけではない）、タスクバーの表示だけになる。タスクバーの表示をクリックすると復活する

この　印をクリックするとウィンドウが閉じる

この　印をクリックするとウィンドウがデスクトップいっぱいに開く。これを「最大化」という

パソコンのいろは3 「7章デスクトップの操作」

文字で伝えたい言葉があるから

パソコンのメールやワープロの文字は、キーボードを使って書き込みます。これが「文字を入力する」という技です。

キーボードは慣れれば速くなる

自由自在に文字が入力できるようになったら、あなたは何を書きたいですか？　友だちにメールを送る？　小説を書く？　それとも日記をつけますか。

文字を打てば、パソコンでできることがグッと増えるのです。できるようになったら、と言わず、すぐ始めてみましょう。

キーボードにはたくさんのキーが並んでいますが、おそれることはありません。競争や試験ではないのですから、あなたのペースで、少しずつキーをさがしながら押していけばいいのです。まちがえても、やりなおしできます。

文字にしたい言葉があれば、いつのまにかスイスイ打てるようになるものです。

ローマ字入力がおすすめです

日本語のひらがなや漢字を入力するときは、まず読みを入力してから、スペースキーで変換します。その読みは、ローマ字で入力する方法とかなで入力する方法があります。

キーボードをよく見ると、左上に「A」、右下に「ち」という具合にいくつかの文字が書いてあります。この左上のローマ字を見て入力するのがローマ字入力、右下のひらがなを見て入力するのがかな入力です。

おすすめは、ローマ字入力。

「か」と入力するときに、かな入力なら「か」のキーを押すだけ、ローマ字入力では「K」と「A」のふたつのキーを押さなければならないので、一見ローマ字の方がタイヘンそうですが、ローマ字は数が少ないので、覚えるキーも少なくてすむし、さがすのもカンタンなのです。

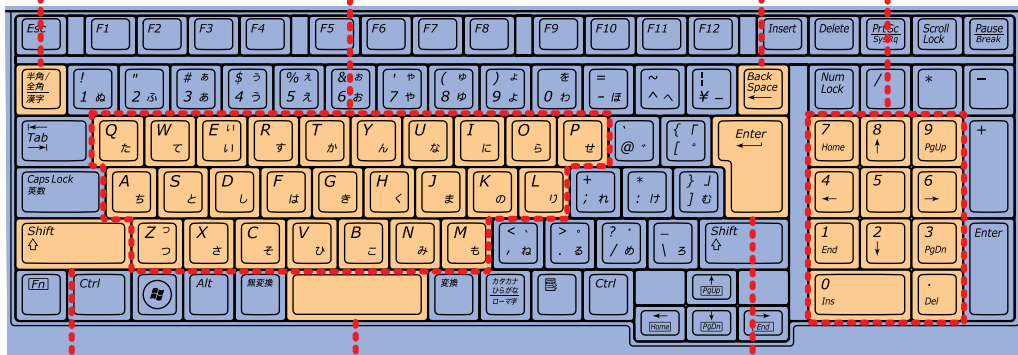
ローマ字入力するときは、キーの左半分を見ればいい

日本語をローマ字で打つために必要なキー

半角/全角キー
日本語を入力するか、英字を入力するかを切り換えるキー。押すたびに切り換わる

ローマ字キー
日本語をローマ字で入力するときに使う。母音(A、I、U、E、O)の位置だけでもおぼえておくと便利

BackSpace(バックスペース)キー
直前の文字を消す

テンキー
(VALUESTARのみ)
数字を入力する

Shift(シフト)キー
キーの上側に書かれた文字を入力するときに文字といっしょに押す(アルファベットでは大文字)

スペースキー
文字を変換するときと、空白を入れるときに使う。横長で棒のようなのでスペースバーともいう

Enter(エンター)キー
変換している文字を表示されている候補に決めるときと、改行をするときに使う

キーボードの形はモデルによって異なります

日本語を入力する準備をしよう

文字の入力を始める前にちょっとした準備をしましょう。
どのように文字を入力するかを言語バーで選びます。

言語バーをさがそう

どんなふうに文字を入力するかは、「言語バー」（左図）で決めます。いま、どういう文字が入力される状態になっているのかも、これを見ればわかります。

六個くらいのアイコンが並んだ横長の帯で、たいていは、パソコンの画面の右下の方にあります。

それぞれのアイコンをクリックすると、メニューが表示されます。アイコンは、メニューではなく「IMEパッド」という画面が表示されます。マウスで手書きで文字を入力したり、一覧表から文字を選ぶことができます。

言語バー。文字の入力のしかたを変えるために使う（設定によって、画面は異なります）

入力方法を切り換えよう

「ローマ字入力」と「かな入力」。どちらにするか決心はつきましたか？

どちらにするかは、一度決めれば、次からその方法で入力できます。もちろん、あとで変えることもできます。

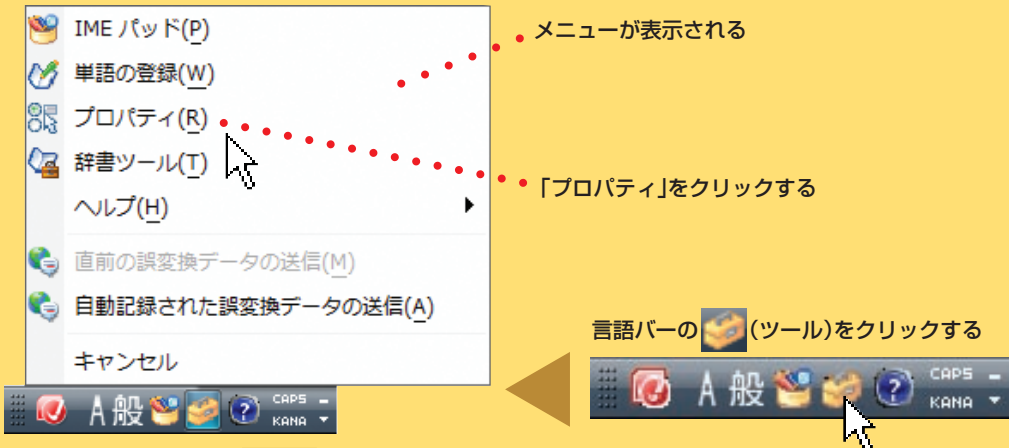
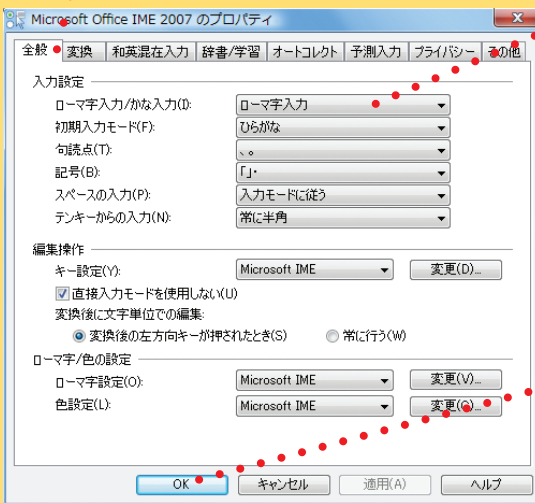
［A ち］キーを押して、「ち」と入力されるときは、「かな入力」になっています。「ローマ字入力」になっていれば、「あ」と入力されます。

左ページの操作をすると「ローマ字入力」に変えられます。

■ ローマ字入力に切り換える

メニューが表示される

「プロパティ」をクリックする

言語バーの(ツール)をクリックする

「全般」をクリックする

ここが「ローマ字入力」になっているときは、すでに「ローマ字入力」に設定されているので、下の操作はしないで、「OK」をクリック
「かな入力」になっているときは、そこをクリックし、表示された一覧の「ローマ字入力」をクリック

「OK」をクリックすると、
ローマ字入力になる

設定によって、画面は異なります

ローマ字変換表

ぱ PA	ば BA	だ DA	ざ ZA	が GA	わ WA	ら RA	や YA	ま MA	は HA	な NA	た TA	さ SA	か KA	あ A
ぴ PI	び BI	ぢ DI	じ ZI・JI	ぎ GI	を WO	り RI	ゆ YU	み MI	ひ HI	に NI	ち TI・CHI	し SI・SHI	き KI	い I
ぷ PU	ぶ BU	づ DU	ず ZU	ぐ GU	ん NN	る RU	よ YO	む MU	ふ HU・FU	ぬ NU	つ TU・TSU	す SU	く KU	う U
ぺ PE	べ BE	で DE	ぜ ZE	げ GE		れ RE		め ME	へ HE	ね NE	て TE	せ SE	け KE	え E
ぽ PO	ぼ BO	ど DO	ぞ ZO	ご GO		ろ RO		も MO	ほ HO	の NO	と TO	そ SO	こ KO	お O

ぁ、ぃ、ゃなどの小さい文字だけを入力するときは、直前に「L」キーか「X」キーを押す。例：ぁ→LA、ゅ→LYU
きゃ、きゅ、しゃなどは、間に「Y」キーを押す。例：きゃ→KYA、きゅ→KYU
（しゃ、しゅ、しょは、間に「H」キーを押しても入力できます）
「ディ」は「DHI」と打つ。「デ」と「ィ」に分けて、「DE」、「LI」と打つ方法もある。また、小さい「っ」は、次の文字を繰り返して打つ。例：きっかけ→KIKKAKE

さあ、文字を入力してみましょう

ここで、実際に文字を入力してみましょう。「地図を送ってください」という短い例文です。

ひとつずつ気楽に、まちがえたってだいじょうぶ。Back Space（バックスペース）キーで消せばいいんです。

文字を入力する練習をしましょう。下のふたつの準備をしたら、左のページの手順をよく見て、文字を入力してみましょう。

準備 1　ワードパッドを開く

「ワードパッド」を開いて、文字を入力してみましょう。

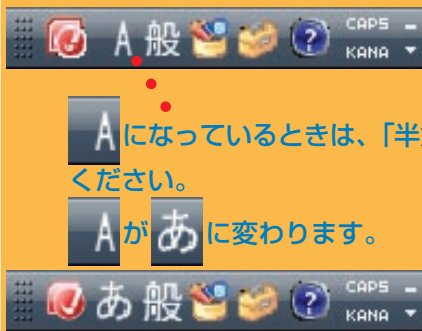
「ワードパッド」の開き方については、「いよいよソフトを開いてみる」（8ページ、9ページ）をご覧ください。

「ドキュメント-ワードパッド」という画面が開き、下の白い長方形の部分の左上に縦棒が点滅します。

準備 2　日本語を入力できる状態にする

言語バーを見てください。

A になっているときは、「半角/全角」キーを押してください。

A が あ に変わります。

日本語入力の変換・確定

ローマ字で文字を入力したら、次のキーを使って変換・確定します。

日本語入力で変換・確定に使うキー		KAと入力してこのキーを押すと
スペースキー または 変換キー	変換の候補を表示する	か、ｶ、課、科、など
F6	ひらがなに変換する	か
F7	カタカナに変換する	カ
F8	半角カタカナに変換する	ｶ
F9	全角英字に変換する	ｋａ、ＫＡ、など
F10	半角英字に変換する	ka、KA、など
Enter（エンター）キー	確定する	

読み方のわからない文字を入力する

「本に出てきた文字、形はわかるけど読み方がわからない」そんなときは、手書きで文字を入力できます。言語バーのをクリックして表示される画面、または「手書きでお助けパッド」(LaVieのみ)で手書き入力ができます。「手書きでお助けパッド」について詳しくは「ソフト＆サポートナビゲーター」-「パソコンの各機能」-「NXパッド」をご覧ください。

■練習■ 「地図を送ってください。」と入力してみましょう。

地図を送ってください。

TI ZU WO O KU TTE KU DA SA I .

操作	画面表示
「T」キー（T か）を押す。	t
「I」キー（I に）を押す。	ち
「Z」キー（Z つ）を押す。	ちz
「U」キー（U な）を押す。	ちず
スペースキー（　）を押す。	地図
Enter（エンター）キー（Enter）を押す。	地図

「ち」は、「TI」でも「CHI」でも入力できる。

スペースキーを押して、それまでに入力した文字をどの文字にするかの候補を表示する。もし、「地図」という字にならなかったときは、「地図」という字になるまで、何回かスペースキーを押してみよう。（行き過ぎたときは、「↑」キーで戻れる）

▼

操作	画面表示
「W」キーを押す。	地図w
「O」キーを押す。	地図を
Enter（エンター）キーを押す。	地図を

「地図」と表示されたら、Enterキーを押して確定する。確定すると、文字の下の線が消える。

▼

操作	画面表示
「OKUTTE」の順にキーを押す。	地図をおくって
「送って」と表示されるまで、スペースキーを押す。	地図を送って
Enter（エンター）キーを押す。	地図を送って

「を」は、これ以上変換する必要がないので、スペースキーを押さずに、Enterキーを押す。

小さい「っ」を入力するときは、その次に入力する文字「T」をもう一度押す。

▼

操作	画面表示
「KUDASAI」の順にキーを押す。	地図を送ってください
Enter（エンター）キーを押す。	地図を送ってください

▼

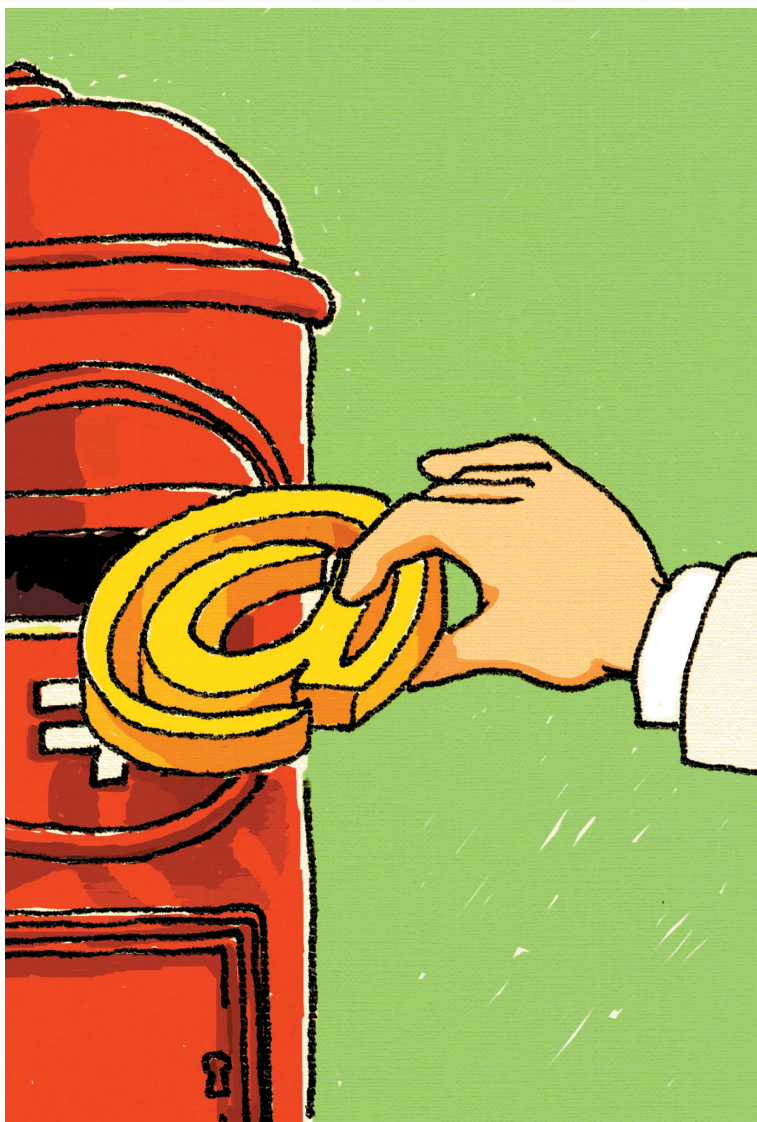
操作	画面表示
「.」キー（> 。る）を押す。	地図を送ってください。
Enter（エンター）キーを押す。	地図を送ってください。

▼

操作	画面表示
Enter（エンター）キーを押す。	地図を送ってください。

Enterキーを押して改行。

「あとでメールください」と言われたけど

「それじゃ、あとでメールください」って言われても、あせることはありません。メールを送るチャンス到来です。

メールアドレスを手に入れよう

ふと見回すと、みんなメールをやりとりしている。でも、自分にも送ってほしいと思ったら、あなたへの送り先＝メールアドレスを、相手に伝えなければなりません。

それでは、メールアドレスはどこに書いてあるのでしょう？　じつは、パソコンには書いてないのです。メールアドレスはパソコンについているのではなくて、「プロバイダ」というところからもらうものだからです。

「プロバイダ」はインターネットのさまざまなサービスを提供する会社です。インターネットのホームページを見たり、メールを使うためには、プロバイダと契約する必要があります。

メールソフトを使う

プロバイダとの契約やインターネットの接続についてはプロバイダのマニュアルを参考にしてください。

プロバイダに加入すると、あなたのメールアドレスが届きます。それ以外に、メールソフトの設定に必要な情報も届きます。重要な情報なので、大切に保管してください。パスワードなど、秘密にしなければならない情報も入っています。

メールソフトというのは、メールを送ったり、受け取ったメールを保存するのに使うソフトです。宛先の住所録を作ったりすることもできます。

Office2007モデルに入っている「アウトルック2007」というソフトには、メールソフトの機能があります。このソフトを使ってメールを出してみましょう。

プロバイダ＝Internet Service Provider(ISP)の略

Outlook 2007をマスターしよう！

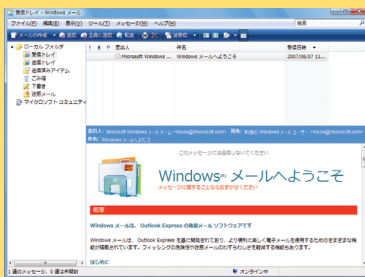
Office 2007が添付されているモデルには、Outlook 2007などの基本操作が楽しく学べる「パソコンのいろは3 Office 2007編」という練習ソフトが入っています。
Outlook 2007の設定はもちろん、メールや予定表（スケジュール表）の使い方を、実際の画面を操作しながらマスターできることが特長です。使い方に困ったら、ぜひここをのぞいてみてください。

「ソフト&サポートナビゲーター」-「ソフトを探す」-「事典・学習・ゲーム」-「Office 2007の基本操作を学ぶ」-「パソコンのいろは3 Office 2007編」の「ソフトを起動」をクリック

Outlook 2007を起動する

ソフト&サポートナビゲーター
▼
ソフトを探す
▼
メール・インターネット
▼
電子メールを送受信する
▼
Outlook 2007の「ソフトを起動」
▼

Windows® メールについて

アウトルック2007が入っていないモデルをお使いのかたは、Windows Live™ メールやWindows® メールというソフトでメールを利用できます。

Windows® メールの使い方は、「ソフト&サポートナビゲーター」-「ソフトを探す」-「50音／英数字から選ぶ」-「Windows メール」をご覧ください。

Windows Live™ メールの使い方は、「ソフト&サポートナビゲーター」-「ソフトを探す」-「50音／英数字から選ぶ」-「Windows Live メール」をご覧ください。

メールを書いて、送信をクリック！

切手も便箋も封筒もいりません。書いて、送信ボタンを押すだけです。さあ、メールを出しましょう！

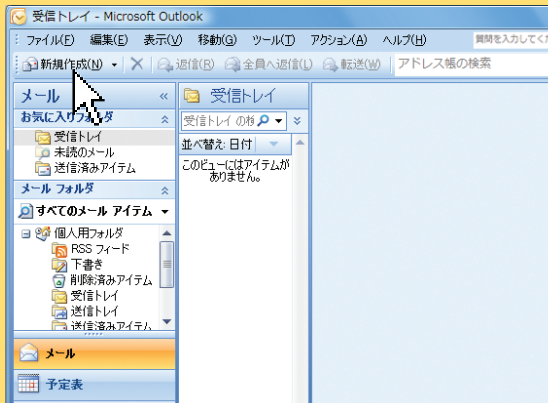
自分宛に送って試してみよう

メールをもらうのはうれしいけど、まず自分が出さないと、相手からも届きません。どんどんメールを書くのが、メール上達のコツです。

メールを書く画面にはいろいろな項目がありますが、宛先、件名、本文の三つさえ書き込めばメールを送れます。

宛先には、真ん中に「@」（アットマーク）の入ったメールアドレスを入力します。携帯電話のメールアドレスでもだいじょうぶ。

うまく届くかどうか、試しに自分のメールアドレスを宛先に入れて、自分にメールを送ってみましょう。自分にメールを出すなんて、ちょっと奇妙な感じですけどね。

メール送信にチャレンジ！

アウトルック2007（左）の「新規作成」をクリックすると、新しいメールの画面が開く（下）。宛先、件名、本文に記入し、「送信」をクリックするとメールが送信される

受信トレイ - Microsoft Outlook
ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 移動(G) ツール(T) アクション(A) ヘルプ(H)
新規作成(N) 返信(R) 全員へ返信(L) 転送(W) アドレス帳の検索
メール
お気に入りフォルダ
受信トレイ
未読のメール
送信済みアイテム
メール フォルダ
すべてのメール アイテム
個人用フォルダ
RSS フィード
下書き
削除済みアイテム
受信トレイ
送信トレイ
送信済みアイテム
メール
予定表
受信トレイ
並べ替え: 日付
このビューにはアイテムがありません。

無題 - メッセージ (HTML 形式)
メッセージ 挿入 オプション 書式設定 活用しよう！アウトルック
貼り付け クリップボ...
MS ゴシック (本 10
基本テキスト
アドレス帳 名前の確認 名前
挿入
フラグの設定 オプション
スペル チェック 文章校正
宛先...
CC(C)...
送信(S)
件名(U):
山口様
山口です。
自分用のテストメールです。
本日は晴天なり。
いえ、冗談です。ほんとは雨なんです。

件名には、メールの題名を書きます。受信したとき、一覧に「件名」として表示されます。自分宛なので「テスト」でいいでしょう。

本文には、用件を書きます。手紙でいうと便箋にあたる部分です。最初に相手の名前と自分の名前を書くと、届いたときにわかりやすく、礼儀正しい印象になります。文字数に制限はありませんが、簡潔な方が好まれます。

書き終わったら「送信」をクリックしてください。これで、送信されます。

さて、メールがどうなったか確認するために、「送信済みアイテム」というフォルダを開いてみましょう。送ったメールがそこにあれば、無事送信されたということです。

読みなおしてから送ろう

「上書き保存」をクリックすると、メールは「下書き」に保存される

普通の設定では、「送信」をクリックすると、メールはすぐ送信されますが、（上書き保存）をクリックすると、書いたメールをすぐ送らずにとっておくことができます。

メールは「下書き」の中に入るので、送信するときに開いて「送信」をクリックすればいいのです。

自分の文章を読み返すと、意外と誤字や勘違いが見つかるものです。送る前に読み返す習慣をつけるといいですね。また、相手に意見をしたり、自分が、怒っていたりあわてているときは、「下書き」に少し寝かせて、落ちついてから送信する方がいいでしょう。メールは、表情や口調が伝わらない分、意図したものより強く伝わって、誤解されることがあるからです。

写真やファイルもいっしょに

文字だけでなく、写真などのファイルをいっしょに送りたいときは、写真などのアイコンをドラッグして、メールの本文の上に載せます。これを添付ファイルといいます。

写真やワープロ、表計算などのファイルを送りたいときは、ファイルをメールの画面にドラッグする

添付ファイルの名前をダブルクリックすると写真が表示される

届いたメールを読む

一日一度は、メールが来ていないかチェックしたいものです。それから、メールが来たら返事を忘れずに。きっと、あの人はあなたの返事を心待ちにしています。

メールはプロバイダに保管されている

メールアドレスは住所のようなものです。でも、メールは郵便のように、あなたの手元のパソコンまで直接届けられるわけではありません。あなた宛に送られたメールは、プロバイダの「受信メールサーバー」という郵便受けの中で、読まれるときを待っているのです。

「アウトルック2007」の画面上部の「送受信」をクリックしてみてください。メールソフトが、あなた宛のメールが届いていないかをチェックして、届いていれば、そのメールをあなたのパソコンまで持ってきてくれます。

新しく届いたメールは、✉マークがついて

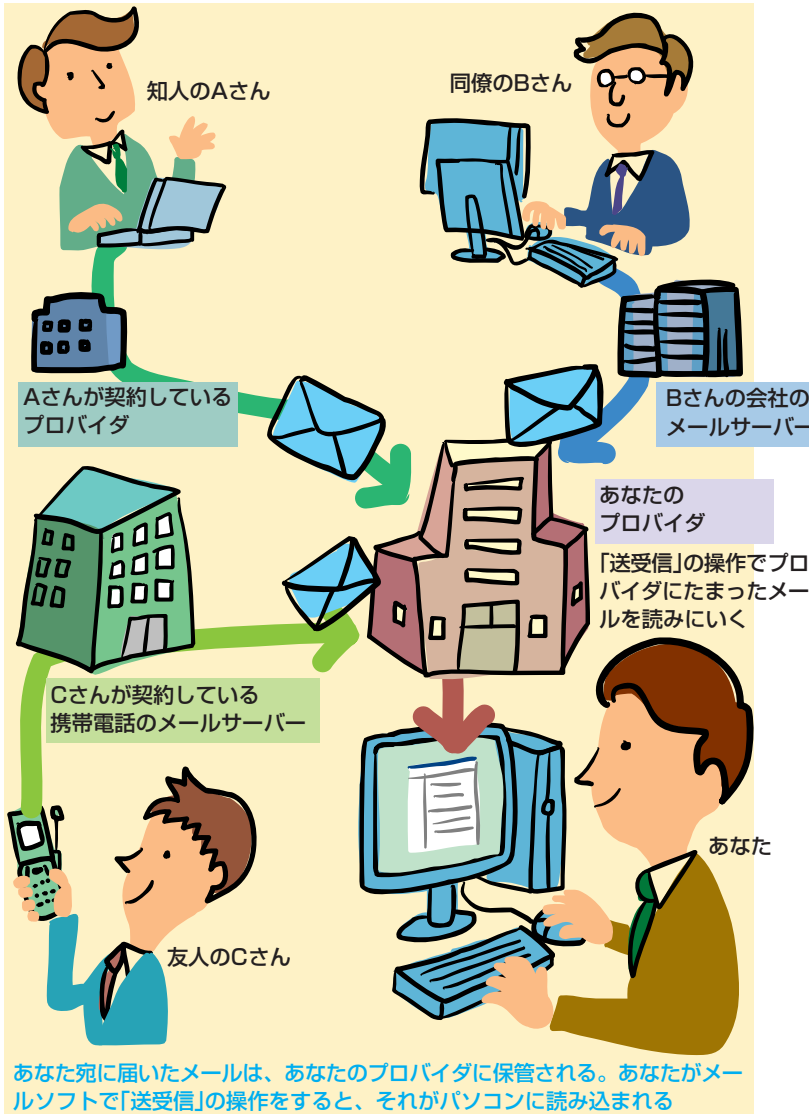
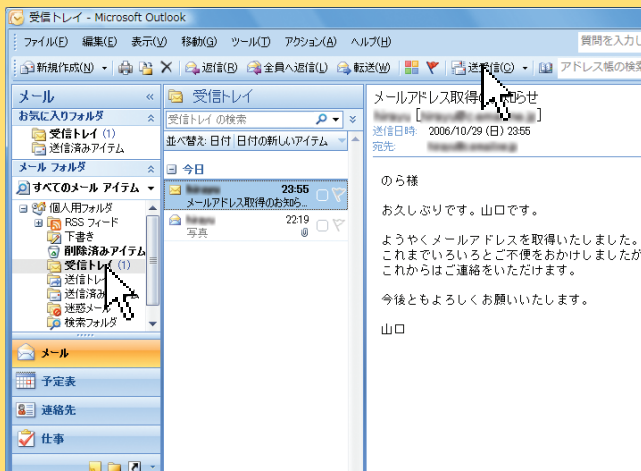
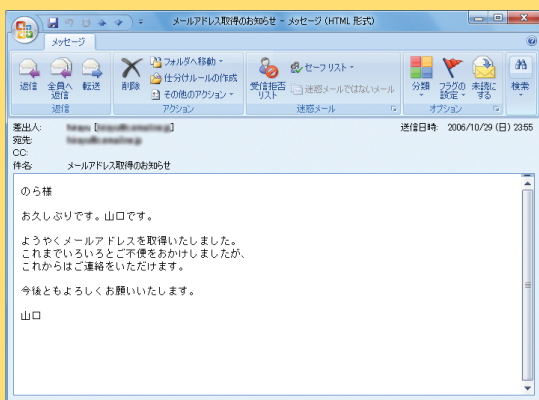
あなた宛に届いたメールは、あなたのプロバイダに保管される。あなたがメールソフトで「送受信」の操作をすると、それがパソコンに読み込まれる

太字になっているのですぐわかります。このメールをダブルクリックすると、別の画面が開いて、メールの本文が表示されます。

メールは、できるだけ毎日読む習慣をつけましょう。急ぎの用件が書かれていることもあるし、すばやくやりとりできるのがメールの利点のひとつですから。

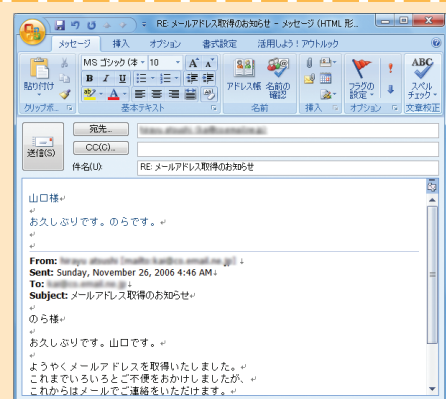
また、メールを読んだら、なるべく早めに返事を出しましょう。メールを送った人は、無事届いたか、気になっているものなのです。

じっくり返信を書きたいときは、とりあえず、「読みました。詳しくは後ほど」というメールだけでも、先に返しておくと親切です。

それから、携帯電話にメールを送るときは、文字数などに制限があるので注意してください。

メールの受信と返信

「送受信」をクリックしよう。新しいメールがあれば、「受信トレイ」に表示される

「受信トレイ」をクリックして、読みたいメールをダブルクリックすると、新しい画面が開き、メールの文面が表示される

返事には、引用をほどよく使って

メールに返事を出すときは、「返信」をクリックします。宛名に送ってくれたもとのメールの差出人、件名に「RE：（もとの件名）」が入った画面が出てきます。この本文に返事を書き込んで送信すればいいのです。

本文には、自動的にもとのメールがまるまる引用されます。必要な箇所を上手に残して、前や後ろや途中に返事を書き込めば、会話のようなやりとりになって、わかりやすく読んでもらえます。

本文には、引用のために、もとのメールが入っている。プライベートでは引用が多いメールは嫌われるが、ビジネスでは確認のために全文を残すこともある

アドレス帳を使えば宛先もラクラク

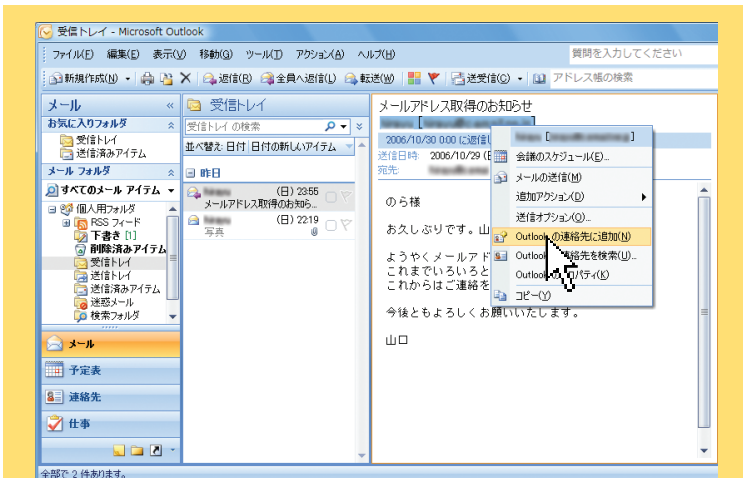
メールアドレスって、長いし、変な記号があって、いちいち入力するのは大変ですね。でも、アドレス帳（連絡先）に登録すれば、次からは選ぶだけですむんです。

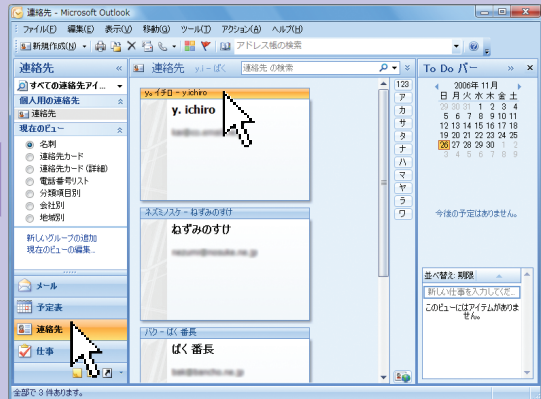
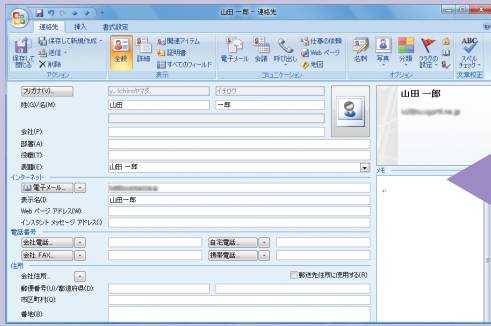
「連絡先」から選ぶだけ

メールアドレスをキーボードで入力するのは、慣れている人にとってもめんどうな作業です。

しかも、一文字間違えると、もう相手に届きません。届かないだけならまだしも、ぜんぜん別の人に届いてしまうかもしれません。

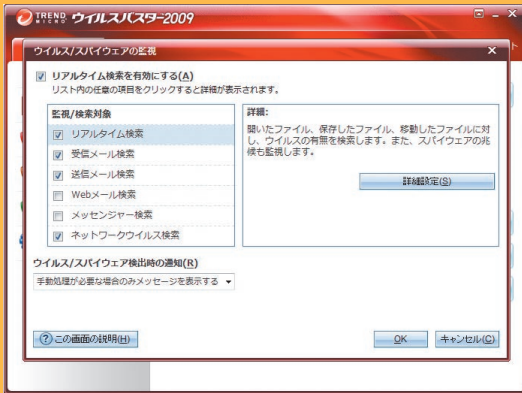
でも、「連絡先」に登録しておけば、そこから選ぶだけです。この方法なら、最初に慎重に登録しておけば、あとは間違いなくメールを送れます。

相手からメールをもらっているなら、そのメールを開いて、差出人にマウスポインタを合わせて右クリックし、「Ｏｕｔｌｏｏｋの連絡先に追加」をクリックすると、簡単に登

メールアドレスを登録するには、メールを開いて、登録したいアドレスを右クリックし、「Outlookの連絡先に追加」をクリックする

■ 連絡先に登録した名前をわかりやすくする方法

全般タブの「姓／名」と「表示名」の部分で「y-ichiro」を「山田一郎」に変えられる。相手のメールアドレスが変わったときもここで書き替える

「連絡先」をクリックし、登録した「y-ichiro」をダブルクリックしてみよう

録できます。

登録された名前などを変えたいときは、「連絡先」をクリックし、その人の名前をダブルクリックして、連絡先を開いてください。たとえば、「y-ichiro」という名前で登録されたものも、「山田一郎」などのあなたが読みやすい名前に変えておけば、次にさがすときに、ずいぶん見つけやすくなります。

ウイルス対策ソフト「ウイルスバスター」。設定によって電子メールの送受信をリアルタイムに監視して、ウイルスの検知と駆除をできる（この画面はアップデートサービスなどによって変更される場合があります）

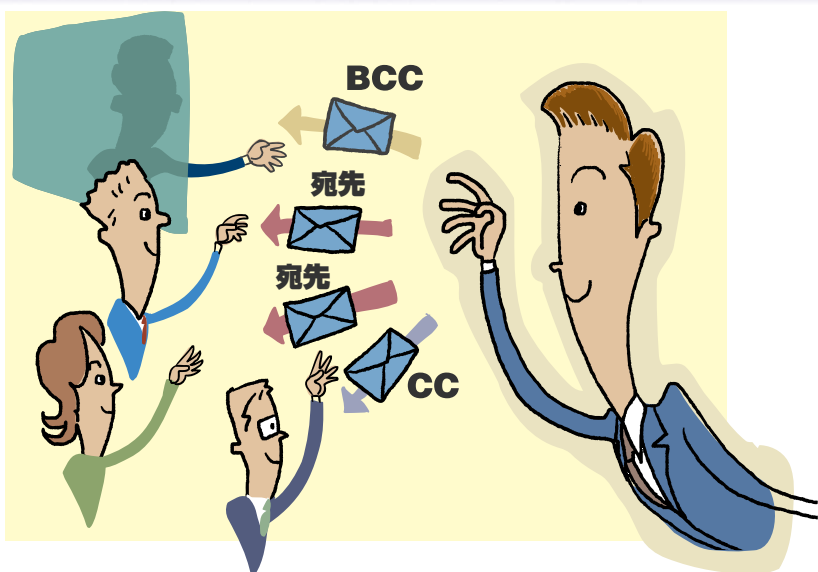
ウイルスに気を付けよう

コンピュータウイルスの多くはメールを介して感染します。特に添付ファイルには注意が必要です。

このパソコンには、ウイルスからパソコンを守ったりウイルスを削除するために、「ウイルスバスター」というウイルス対策ソフトがインストールされていて、ウイルスの特徴を書き込んだウイルスパターンファイルを使って、ウイルスを発見し、パソコンから取り除きます。ところが、ウイルスは日々新種があらわれるので、ウイルスパターンファイルもどんどん新しいものが発表されます。

「ウイルスバスター」のウイルスパターンファイルは、「オンラインユーザ登録」して、アップデートをおこなってから90日間はインターネットを使って無料で新しいものに更新（アップデート）できます。ぜひ製品版を購入し、継続して使ってください。詳しくは、「しっかりセキュリティであんしんインターネット」（38ページ）をご覧ください。

たくさんの人に出しても手間は同じ

パーティーの連絡で、何度も同じ内容の電話をかけて、うんざり……。メールならそんなめんどうはありません。たくさんの人に同時に同じ内容を送ることができるんです。

「同報メール」で幹事の達人に！

楽しいパーティーや懐かしい同窓会。でも、幹事は大変ですね。参加者が多くなるほど、連絡や調整に時間をとられます。

ところが、メールを使えば、人数が多くてもまるで平気。宛先欄に全員のメールアドレスを指定するだけで、一度に送れます。

このように、たくさんの人に、一斉に同じメールを送ることを、「同報メール」と呼びます。

メールを受け取った人は「返信」を選ぶと、送信してきた人だけに返事を送ることができます。また、「全員へ返信」を選ぶと、宛先に併記された全員に同じ文面のメールを返信できます。

参加者全員が「全員へ返信」でやりとりすれば、同報メールが「会議」や「打ち合わせ」になります。誰が何を書いたか、記録が残るのでなかなか重宝します。

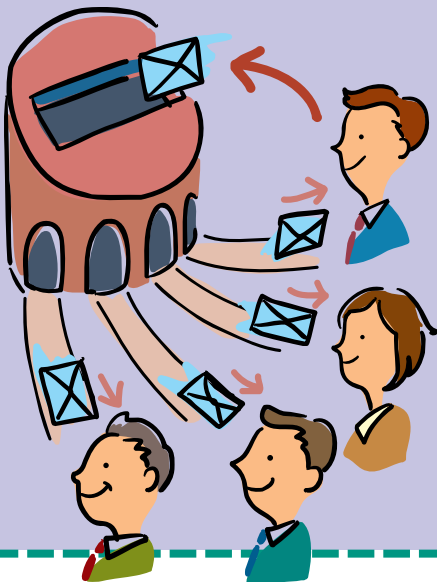
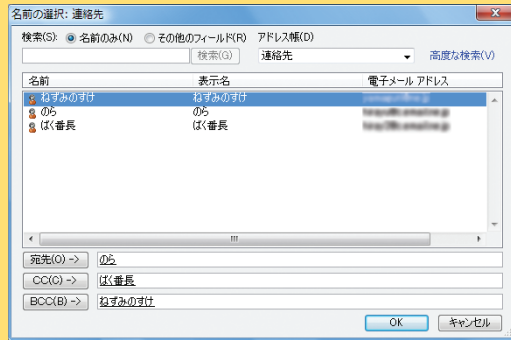
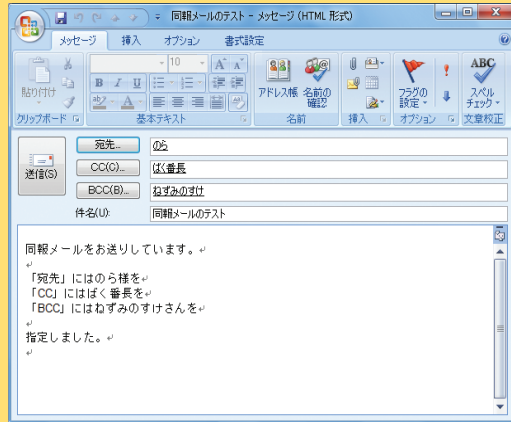
回覧板やお知らせ、会報にも使えます。

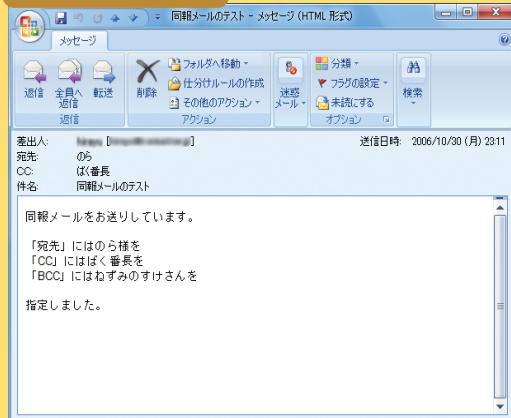
「宛先」の下には「CC（シーシー）」という欄もあります。「CC」はカーボンコピーの略で、直接の相手ではないけれども、一応内容に目を通しておいてほしい人の宛先を入力します。

「宛先」をクリックすると出てくる「名前の選択」画面には、もうひとつ「BCC（ビーシーシー）」という欄があります。ブラインドカーボンコピーの略で、この欄に入力した宛先は届いたメールに表示されません。内緒でメールを同報したい人に使います。

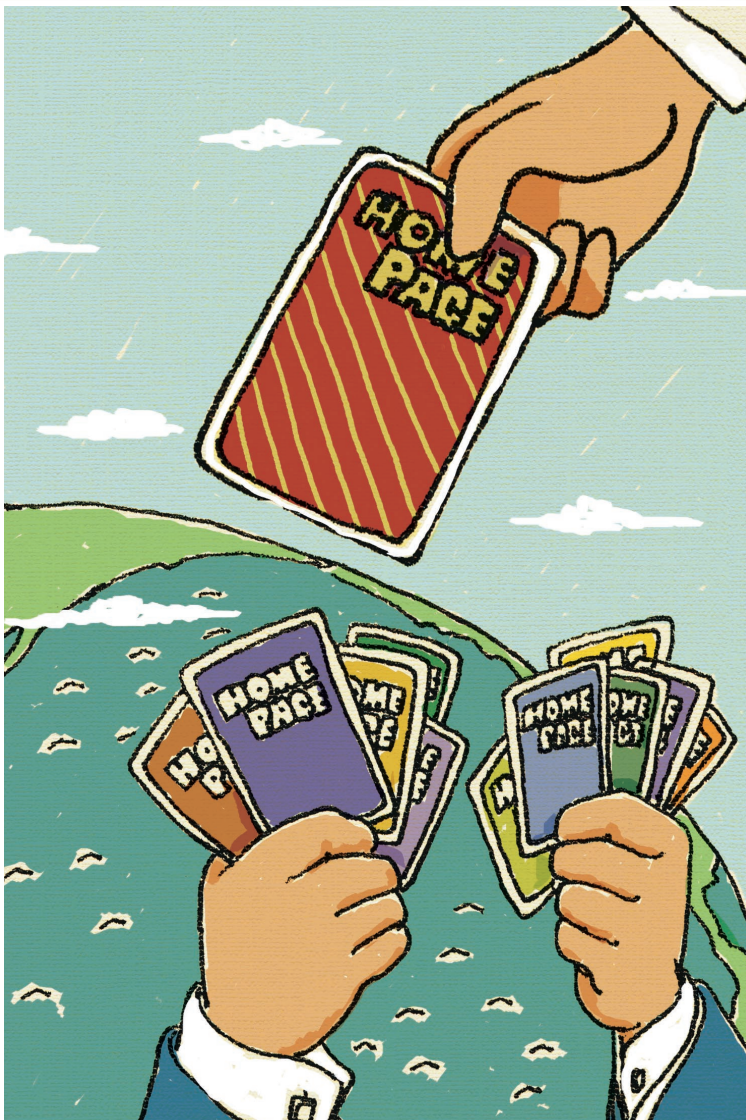
グループでメールを交換する

同報メールを使いやすくした、メーリングリスト（略して、ML（エムエル））というものもあります。ある特定のメールアドレスにメールを送ると、そのメールが登録した人全員に届く仕組みです。興味のある事柄をいろいろな人と語りあったり、情報を共有したりできます。検索エンジン（30ページ）でさがすといろいろなメーリングリストが見つかります。プロバイダなどのサービスを使えば自分でも主宰できます。「メーリングリスト　無料」で検索すると無料で利用できるサービスも見つかります。決まったメンバーだけで使っても、仲間を一般公募してもかまいません。

雑誌のように、自分が書いたものをたくさんの人に配りたいときには、メールマガジンというよく似たシステムもあります。

同報メールの設定方法

メールを書く画面で「宛先」をクリックすると、「名前の選択」の画面があらわれる。名前をクリックして、「宛先」「CC」「BCC」をクリックする操作を繰り返すと、アドレスが指定されていく。選び終えたら「OK」をクリック

「宛先」「CC」「BCC」の欄にそれぞれメールアドレスを入れた。このメールを送信すると……

送信先に届いたメール

「宛先」と「CC」の名前は表示されるが、「BCC」の名前は表示されない

世界中のホームページをのぞいてやろう

ホームページは誰もが自由に作って公開できるので、世界中で日々増加しています。そのホームページをあなたのパソコンに映し出すには、こうすればいいのです。

ホームページは情報の宝庫

わからないことがあったら本で調べろ。それでもダメなら人に聞け。この二つは情報収集の鉄則でしたが、最近は「本」の前に「インターネット」が来るようになりました。

インターネットにはホームページという情報を人に見せる仕組みがあります。

ホームページは、誰でも作って、公開することができます。そのため、あっという間に全世界に広がりました。

ホームページは「ブラウザ」を使って見ます。このパソコンにはInternet Explorer（インターネットエクスプローラー）というブラウザが入っています。

ホームページ＝正確にはWorld Wide Web。略してWeb。「サイト」ともいいます。

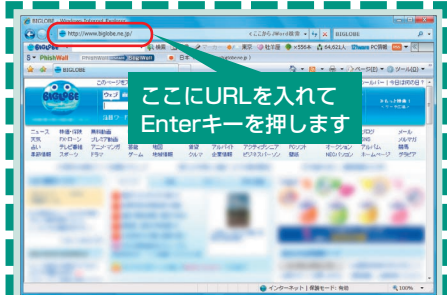
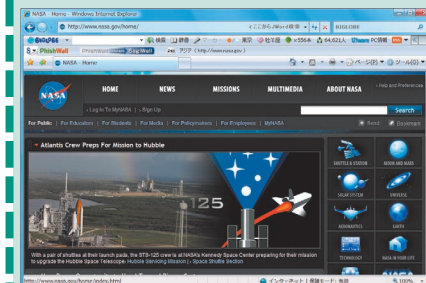
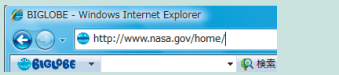
URLを入力してホームページを見る

ホームページには、住所（アドレス）があります。URL（ユー・アール・エル）と呼ばれるものです。

最近は、新聞、雑誌、テレビ、製品のパッケージなど、あらゆる場所でURLを見たり聞いたりするようになりました。それだけさまざまなホームページが作られているということです。

ホームページを見るには、ブラウザのアドレスバーにこのURLを入力して、Enterキーを押せばいいのです。

とはいえ、URLには長いものも多く、アンダーバーのようにふだん使わない記号も出てきます。

一字違っても「Not Found」（見つかりません）と返されてしまうので、直接入力するときは、慎重に。

たとえば、「http://www.nasa.gov/home/」と入力して、Enterキーを押す

これがNASAのホームページ

記号	読み方	半角入力で下のようにキーを押します
:	コロン	[*: け]を押す
/	スラッシュ	[? ・ / め]を押す
.	ドット、ピリオド	[> 。. る]を押す
~ ※	チルダ、ニョロ	Shiftキーを押しながら[~ ^ へ]を押す
-	ハイフン	[= - ほ]を押す
_	アンダーバー	Shiftキーを押しながら[_ \ ろ]を押す

※お使いのフォントによっては、行の中央に表示される場合があります

「リンク」でページをめくる

ホームページは雑誌のようにページ単位で作られています。でも雑誌とは違った読み方をします。「リンク」をクリックして「リンク先」のページを表示するという方法です。

ホームページには、本文と別の色（たとえば青）になっている文字やボタンの形をした部分があります。これらをクリックすると、そこにつながるページが表示されるのです。これが紙の本の「めくる」に相当します。

もとのページに戻るときは、ブラウザの左上の（戻る）をクリックします。

ホームページの中でリンクされている部分にマウスポインタを置くと、手の形に変わる。クリックすると、そのリンクの指し示すページに切り換わる

パソコンのいろは3 「10章インターネットの基本操作」

初心者道場④ホームページ編

検索エンジンで宝の山をさがしだす

あのコトについてもっと知りたいとき。どんな方法で調べます？
インターネットなら、こんなに簡単にいろんな情報が！

ネットの検索は「検索エンジン」で

情報をさがすなら、何といっても検索エンジン！ それは、ホームページを検索できるからです。

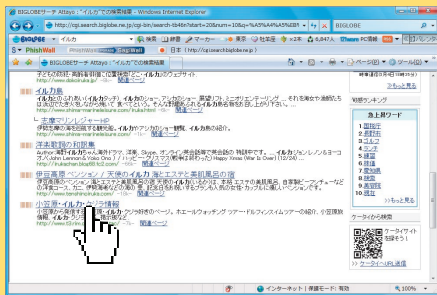
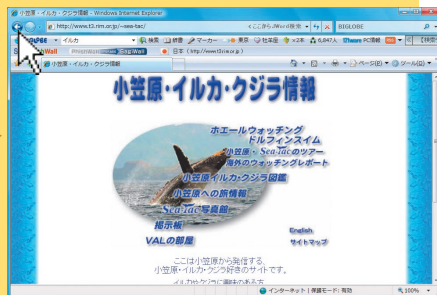
検索の便利さは本と比べるとよくわかります。本は、一度読んだことがあっても、なにかの情報を見つけるには、ページをめくって見当でさがしたり、索引から調べなおさないといけません。ましてや、読んだことのない本に何が書いてあるかは、カンで判断するしかありません。

ところが、検索エンジンなら、キーワードを入れるだけで、その言葉が書かれているホームページの一覧が表示されます。一覧にはホームページの名前だけでなく、概略も表示されますから、必要な内容かどうかを判断するときの参考になります。

あとは、見たいホームページをクリックするだけ。そのホームページが表示されます。

検索エンジンは、インターネット全体の便利な索引なのです。

検索エンジンにチャレンジ

「スタート」-「インターネット」をクリックして、Internet Explorerを開く。キーワードを入力して、Enterキーを押す

表示された一覧の青い文字をクリックすると、そのページが表示される

一覧に戻るときにはツールバーの ボタンをクリックする

キーワードを入力してEnterキーを押すと、そのキーワードを含むホームページが検索されます。

絞り込みこそ腕の見せ所

よく使う言葉でホームページを検索すると、感動的なほどたくさんのホームページが見つかりますが、じつはこれがネット検索最大の難点なのです。膨大すぎてほんとうに必要なホームページが見つからないのです。

たとえば、「イルカ」で検索すると、八十万件以上のホームページが出てきてしまいます。とても全部を見ることはできませんし、無関係なものも多そうです。

必要なページだけが表示されるようにするためには、賢いキーワードが必要なのです。これが検索のワザ。

たとえば、「イルカ」を「イルカショー」に変えて検索すると、一気に絞り込まれます。なるべく具体的な名前を入力すればいいのです。

単語と単語の間をスペースで開けてふたつ以上のキーワードを入力する方法もあります。入力したすべてのキーワードを持つホームページが検索されます。

たとえば、「イルカショー　関東」と入力すると、さらに半分以下に絞り込まれます。

絞り込み検索してみよう!!

「イルカ」で検索

ウェブ	画像	動画	ブログ	ニュ

イルカ

関連検索: イルカ交通, どこイルカ, イ

約818000件中　1〜10件目を表示

約818000件

「イルカショー」で検索

ウェブ	画像	動画	ブログ	ニュ

イルカ ショー

関連検索: 水族館 イルカショー, みさ

約276000件中　1〜10件目を表示

約276000件

「イルカショー　関東」なら!!

ウェブ	画像	動画	ブログ	ニュ

イルカショー 関東

関連検索: 水族館 イルカショー 関東

約96000件中　1〜10件目を表示

約96000件

※上の数字は、この本を作ったときの検索結果です。

画像を探したいときは

「あの俳優の顔が思い出せない」、「オミナエシってどんな花だったっけ?」なんていうとき、画像検索が便利です。

検索して、「画像」タブをクリックすると、入力したキーワードに関連する画像が表示されます。

「タブ」機能を使ってみよう

「タブ」ってちょっと聞きなれない言葉ですね。でも「タブ」機能を使えばこんなに便利！

「タブ」を使えば一目瞭然

ホームページを見ているとき、画面の上のほうに、そのホームページの名前が突き出すように表示されていますね。厚い本や資料の重要なページに貼り付けた目印の紙のようなもの、これが「タブ」です。

タブは、いろいろなホームページを手軽に切り換えて見ることができる機能です。複数のタブで異なるホームページを開いておき、タブをクリックすることで、見たいホームページをすぐ表示させることができるのです。興味のあるホームページをたくさん開いて見比べるときなどに便利ですね。

Internet Explorerを起動したときはタブが2つ表示されています。必要に応じて新しいタブを開くこともできます。

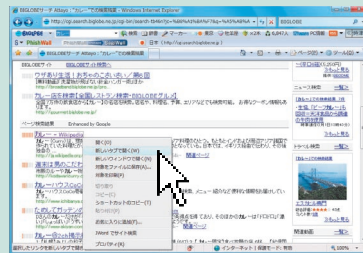
検索エンジンで面白そうなホームページがたくさんみつかったときはタブ機能を活用するチャンス！

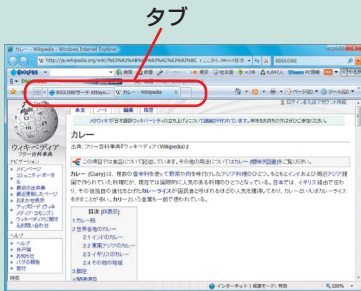
検索結果で見たいホームページを右クリックし、表示されたメニューの「新しいタブで開く」をクリックすると、選んだホームページが新しいタブで開きます。

はじめに見ていた検索結果も別のタブとして表示されています。ここをクリックすれば、新しいホームページをタブで開いたまま、検索結果に戻ることができるしかけです。

どんどんホームページを開いていっても、それぞれの名前がタブで一覧できるから、いま開いているホームページが一目でわかるというわけ。

ツールバーのボタンで一覧に戻るよりもお手軽です。

リンクを「タブ」で開いてみよう

検索結果の一覧のリンクを右クリックして、「新しいタブで開く」をクリック

タブ

リンク先のページが新しいタブで開く。タブをクリックすればページの切り換えも簡単

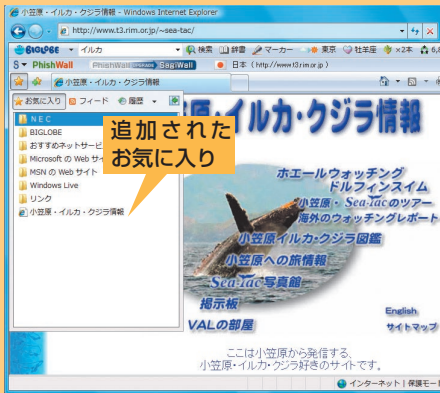
よく見るページはお気に入りに登録！

Internet Explorerには、気に入ったページを記憶しておく「お気に入り」という機能があります。

（お気に入りに追加）をクリックして「お気に入りに追加」、「追加」をクリックすると、今、開いているホームページが登録されます。次に見るときは、いちいちリンクをたどったりしなくてすみます。

お気に入りがたくさんたまったら、フォルダを作って整理しましょう。

登録したいページを開いて、、「お気に入りに追加」の順にクリックし、「お気に入りの追加」画面が開いたら、「追加」をクリックする

追加されたお気に入り

次にそのページを見るときは、（お気に入りセンター）をクリックすると、下のほうに登録したホームページの名前が表示されるので、それをクリックする

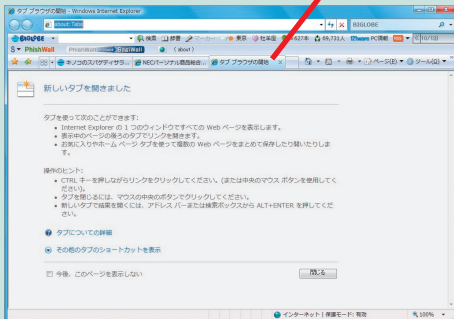
新しい「タブ」を開いてみよう

料理のレシピを調べている最中に今日の野球の結果が気になったら。そんなときもタブ機能の出番です。

あらかじめ新しいタブを作って、そこに別のホームページを表示させましょう。ニュースを確認したあと、すぐ調べものに戻れます。

いろいろなレシピのページを比較するときも、タブを使えば便利ですね。

ここをクリックすると

新しいタブが開く

便利で役立つホームページがいっぱい！

インターネットには、役立つ情報や便利なホームページがたくさんあります。上手に使いこなしてくださいね！

おトクな情報がこんなにそろう

世界中にあるホームページの数は一億を超えているそうです。作られた目的はさまざま。ニュースや情報発信、便利なサービス、企業の宣伝、品物を販売するページもあれば、個人の日記もあります。それらを上手に使い分け、暮らしに役立てましょう。

たとえば、東京タワー観光に出かけるとしましょう。

検索エンジンに「東京タワー」と入力すると、数十万件の結果が出てきました。東京タワーのホームページを見ると、基礎知識から最近のニュース、行き方までわかります。

グーグルマップなどの地図サイトで検索すると、現地の地図も確認できます。電車で出

たとえば、東京タワー観光に行くなら

乗換案内(http://www.jorudan.co.jp/)。出発駅と到着駅を記入して検索。到着や出発予定の時間を指定して調べることもできる

目的地

東京タワー(http://www.tokyotower.co.jp/)。展望台の入場料や交通案内だけでなく、「東京タワーの秘密」コーナーにはトリビアネタも満載

Googleマップ(http://www.maps.google.co.jp/)。地図検索サイト。「航空写真」をクリックすると地図が写真に切り換わる

楽天トラベル(http://travel.rakuten.co.jp/)。場所、予算、設備など、さまざまな条件にあった宿泊施設を検索して、予約することができる

かけるなら、路線も調べたいですね。「乗り換え案内」なら自宅からの鉄道路線だけでなく、所要時間や金額もわかります。これで、現地までのスケジュールを組むことができますね。飛行機や車での移動を調べられるホームページもあります。

旅先で宿泊するなら、出発前に宿も決めておくと安心ですね。宿の予約ができる「楽天トラベル」といった旅行関係のサービスもあります。

今夜のディナーは「ぐるなび」をチェック。場所や予算・雰囲気などの希望にあったレストランを探せて、オトクな割引クーポンも入手できます。

仕事や勉強の調べものにも、ホームページが役立ちます。新聞社などのニュースサイトには、時々刻々と新しいニュースが掲載されています。

もっと詳しく調べてみたいと思ったら、百科事典もネットにあります。博物館や美術館などのページには、さらに専門的な情報が掲載されています。検索に慣れれば、必要な情報を上手に探せるようになるでしょう。

ぐるなび(http://www.gnavi.co.jp/)。レストラン・飲食店を検索して予約することができる。割引クーポンも入手できる

BIGLOBEニュース(http://news.fs.biglobe.ne.jp/)。読売新聞や時事通信、サンケイスポーツ、夕刊フジなどのニュースを読める

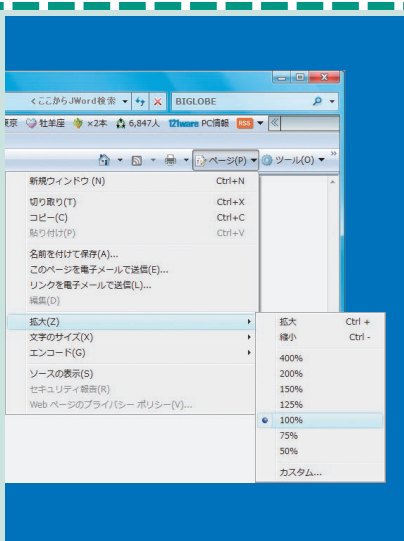
ウィキペディア(http://ja.wikipedia.org/)。利用者が自由に執筆できるインターネット上のフリー百科事典

ホームページの画面や内容は、ここに掲載したものと異なることがあります

ホームページの字が小さくて読みにくいときは

ホームページの文字が小さくて読みにくいときは、「ページメニュー」の「拡大」で、「125%」や「150%」を選んで拡大してみましょう。一部分だけをうんと拡大してみたいときは、「200%」や「400%」を選びます。ただし、画像は拡大しすぎると粗くなるのでご注意を。

Ctrlキーを押したまま、「+」キーまたは「-」キーを押して、拡大・縮小することもできます。

もとの表示に戻したいときは、「100%」を選んでください。

ブログを書いてみよう

個人の情報発信ツールとして、手軽に更新できるブログが注目されています。あなたの日記や考えていることを、ブログにしてみませんか。

登録すれば、あとは書くだけ

あなたは日記を書いていますか？　あなたの文章を、たくさんの人に読んでもらいたいと思いませんか？

最近は、アイドルから政治家まで、自分の仕事や日記、雑感などをブログに書く人が増えました。ブログというは、ウェブ（つまり、ホームページ）のログ（日誌）を縮めた言葉で、旅行記、オリジナル料理のレシピ、趣味の研究など、テーマもさまざま。人気のブログが本になることもあります。

ブログは、ブログサイトに登録すれば、誰でも作ることができます。最初にブログのタイトルやページデザインなどいくつかの設定をして、その後は自分専用の管理ページで、見出し、本文などを記入して更新すれば出来上がり。写真を掲載したり、ケータイから更新できるようになっているサイトもあります。ホームページほどの自由度はありませんが、テンプレートと呼ばれるページのデザインを変えたりして、自分らしさも出せます。

ブログの特徴的な機能のひとつに「トラックバック」があります。あるブログに自分のブログからリンクをはったとき、相手にそれを知らせる仕組みです。ブログの記事の下に、文章の一部とURLのリストができていることがありますが、それがトラックバック。トラックバックされたサイトには「この記事を参照している記事一覧」が自動的に作られ、どこでどのように引用されているか、わかるわけです。

ブログは、不特定多数の人が読むので、個人情報を掲載しないなどの注意が必要です。内容にも責任を持って楽しみましょう。

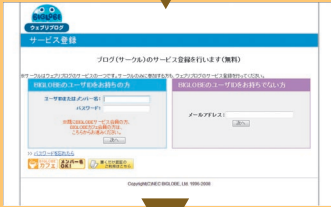
「今作成した記事を見る」をクリックすると、できあがったブログが開く。あなたも書いてみませんか

ウェブリブログで作ってみよう

無料で利用できるBIGLOBEのウェブリブログに登録してみましょう。

登録（登録内容入力）時にブログのタイトルや希望するURLなどを記入するので、あらかじめどんなブログにしたいのか考えておくとスムーズです。もちろん、タイトルやデザインは、あとで変えられます。気軽にはじめるのが、長続きのコツかもしれません。

左の「新規登録」をクリック

BIGLOBEのIDかメールアドレスを記入

ブログ名（タイトル）や希望するURL、ニックネームなどを記入

管理ページにログインをクリック

ウェブリブログのアドレス
http://webryblog.biglobe.ne.jp/

新しい記事を作るときは、「ブログ」の「新規作成」をクリック。過去記事を編集するときは、「編集」をクリック

記事のタイトル、本文を入力。画像や音声、文字の修飾、背景のデザイン（テンプレート）、トラックバックの設定などもここで

デザインを選ぶ。記事ごとに変えたり、ランダムに表示させることもできる

ウェブリSNSに参加しよう

日記をインターネット全体に公開するのはちょっと……、というかたは、ウェブリSNSはいかがでしょう。ウェブリSNSはBIGLOBEが提供するSNS（ソーシャルネット・サービス）。メンバーはそれぞれ利用登録してから参加しているので、安心してコミュニケーションを楽しめます。日記の公開範囲を指定できるから、「友達だけに公開する」なんて設定もOKです。

ウェブリSNSのアドレス
http://webrysns.biglobe.ne.jp/

趣味の合うメンバーの集まり「コミュニティ」に参加して情報交換したり、仲間同士でメッセージのやりとりも

日頃の注意が効いてくる

しっかりセキュリティで あんしんインターネット

●パソコンを買ったら、まずインターネット！　でも、ちょっと待って。セキュリティは大丈夫？
　せっかく建てた家が、窓も戸も開けっ放し、鍵もかからないってことになっていませんか？
●そう、いろんな情報が公開され、ショッピングも手軽なインターネットの世界ですが、
　ウイルスや個人情報の流出、ネット詐欺など、とってもせちがらい世界でもあるのです。
●でも、基本的な防犯対策さえ続けておけば、危険性はぐっと減るんです。

あなたのパソコンを襲う危険な罠

ウイルスっていったい何?

世間を騒がすコンピュータウイルス（以下、ウイルスと略）のことは、聞いたことがありますか?

ウイルスというのは、パソコンの中で不正な動きをするプログラムのことです。インフルエンザなどのウイルスのように、パソコンからパソコンへ伝染して症状をひきおこすことからこう呼ばれています。

ウイルスに感染すると、ハードディスクの内容が書き替えられたり消されたりする、画面に覚えのないアイコンやメッセージが表示されて使えなくなる、インターネットに接続できなくなるなど、ウイルスの種類によっていろんな症状が出ます。

勝手にメールソフトのアドレス帳をのぞいて、記入されているアドレス宛に自分自身を送りつけて増殖する、ワームタイプと呼ばれるウイルスもあって、知らないうちにたくさんの知人に迷惑をかけてしまうこともあります。信用にかかわる問題ですね。

逆に、知人から来たメールに、ウイルスが添付されていたからといって、その知人を責めてはいけません。その知人とあなたをアドレス帳に登録している別の人のパソコンに潜むウイルスが、知人のアドレスを差出人にして送ってきたかもしれないからです。

ウイルスに対抗するには?

まず、心当たりのないメールの添付ファイルは開かないで削除する、むやみにファイルをダウンロードしないというのが基本です。

ところが、Windows（このパソコンの基本ソフト）などのセキュリティの弱点、いわゆる、セキュリティホールをついて、勝手に入り込んでくるウイルスも増えています。

これらに対抗するには、Windowsを最新のセキュリティ対策がなされたものにアップデート（更新）して侵入を防ぎ、さらに、ウイルス対策ソフトでパソコンの中にウイルスがいないかをチェックして、駆除する必要があります。

これだけは
やっておこう！ 1

Windows Update

セキュリティホールを修復する

このパソコンの基本ソフト、Windowsを発売しているマイクロソフト社は、Windowsに問題点が発見されると、修正用のプログラムをホームページで無料配布します。

これを、「ウィンドウズアップデート」といいます。

また、パソコンに入っているWindowsには「セキュリティセンター」という機能があって、インターネットを使って定期的に重要な修正がないかを調べて、重要な修正があると、「ウィンドウズアップデート」を使って、自動的にアップデート（更新）してくれます。

発売時には発見されていなかった問題点を攻撃する新種のウイルスはつねに発生していて、その対策は、こまめに継続しておこなう必要があります。

この「セキュリティセンター」を有効にして、インターネットに接続できる状態にしておくと、自動的に問題点が修正されるので、手間もかからないし、安心です。

Windows Update
デスクトップの「スタート」-「すべてのプログラム」-「Windows Update」の順にクリックすると表示される。「更新プログラムの確認」をクリックすると、Windowsの問題点を修復するプログラムをダウンロードできる。この画面からさらに「他の製品の更新プログラムを取得します」をクリックすると、Microsoft Updateのページが表示される。「Microsoft Update」をインストールすると、Windowsだけでなく Office製品の更新プログラムもダウンロードできるようになる
（画面は予告なく変更される場合があります）

セキュリティセンターの「自動更新」が有効になっているか確認してみよう

「スタート」-「コントロールパネル」-「セキュリティ」-「セキュリティセンター」をクリック

これだけはやっておこう! 2 ウイルス対策ソフト

医者を常駐させる

Windowsをアップデートしても、ウイルスに感染する危険がゼロになったわけではありません。ウイルス対策ソフトで、定期的にパソコンを診察してウイルスの有無をチェックし、感染していたらすぐに治療しましょう。

このパソコンには、「ウイルスバスター」というウイルス対策ソフトが入っていて、ウイルスの侵入をいつもチェックするように設定されています。

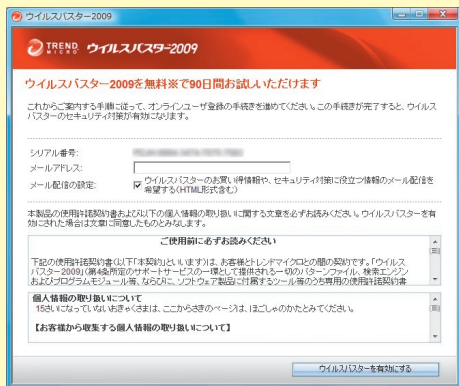
ただし、ウイルスには、頻繁に新種が発生するので、このウイルス対策ソフトも、そのつどアップデートしなくてはいけません。新種の情報や駆除法を取り込まないと、新種のウイルスは駆除できないのです。

インターネットにつないだら、まず「オンラインユーザ登録」して、アップデートをおこなってください（パソコンが作られてから、あなたの手に届くまでの間にも、新しいウイルスが出回っているかもしれません）。

このときから、90日間は無償サポート期間なので、無料でアップデートできます。90日を過ぎると、「ウイルスバスター」のすべての機能が使用できなくなります。90日過ぎてしまう前に、ダウンロード販売やパッケージなどで製品版を購入したほうがいいでしょう。

デスクトップ右下の をダブルクリックして、「ウイルスバスター」を起動しよう

メイン画面の「検索開始」をクリックすると、ウイルスの検索を開始します

ウイルスバスター2009を無料※で90日間お試しいただけます

デスクトップに表示されている「ウイルスバスターの登録」アイコンをダブルクリックすると、この画面が表示されます
「オンラインユーザ登録」して、アップデートをおこなった日から、90日間は無償でアップデートできます
（画面は予告なく変更される場合があります）

セキュリティ

こんなことにも
注意しよう！ 1

個人情報を守るために

気軽に個人情報を書かないこと

インターネットでは、住所や電話番号、クレジットカード番号、暗証番号などの個人情報の扱いにも気を付けなければいけません。

まず、個人情報をホームページなどに書かないこと。不特定多数の人が見る掲示板では、本名やアドレスの公開にも慎重さが必要です。クレジットカードを不正利用される、身におぼえのない請求書を送りつけられる、無言のいたずら電話の標的にされる、などのトラブルに巻き込まれることがあります。

アンケートや懸賞を装って個人情報を収集し、不正利用するサイトもあります。

怪しいメールには、返事を出さないこと。機械的にメールアドレスを作って送りつけてくる迷惑メールに返事を出すと、アドレスが実在することがわかって、迷惑メールが増えることもあります。配信を解除する操作と見せかけてメールアドレスをだまし取る手口もあります。

金融会社などを装ったメールからホームページを開くよう誘導し、そこで口座番号や

暗証番号、IDなどを入力させるフィッシング詐欺も増えています。メールには素直にしたがわず、電話などで確認しましょう。

ネットショッピングにも要注意

ネットショッピングなどの、クレジットカード番号の入力にも注意が必要です。

重要なことは、信頼できる業者を利用すること。さらに、入力した個人情報が暗号化して送られるようになっているかも確認してください。暗号化されていないと、情報を盗聴されてしまうことがあります。

暗号化された接続なら、Internet Explorerの画面の上部のアドレス（URL）表示に🔒マークが表示されます。

ファイル共有ソフトの危険性

winnyなどのファイル共有ソフトも、とても危険です。その仕組みを利用するウイルスによって、パソコンの中の文書やメール、写真などをインターネットでつながっているほかの利用者に流出させることがあります。

こんなことにも注意しよう！ 2

無線LANを使うとき

傍受されないように設定が必要

無線ＬＡＮにも、危険な落とし穴があります。電波は意外と広い範囲に届くので、家の外でも傍受できてしまうことがあります。近所の人のパソコンの中身が見えてしまうというのも、よく聞く話です。

そこに悪意があれば、パソコン同士のやりとりが盗聴されたり、ハードディスクの中身を見られたり、消されたりすることもあります。あなたのパソコンが、勝手にインターネットへの接続に使われたりすることもあります。

こうならないようにするためには、ＬＡＮのデータのやりとりを暗号化したり、接続するパソコンを限定したり、ＬＡＮの存在を外部からわからないようにしたりするなどの対策が必要です。

無線ＬＡＮを使うときは、「ソフト＆サポートナビゲーター」‐「使う」‐「安全に使うためのポイント」‐「ワイヤレスＬＡＮのセキュリティ」を見て、しっかりと設定してください。

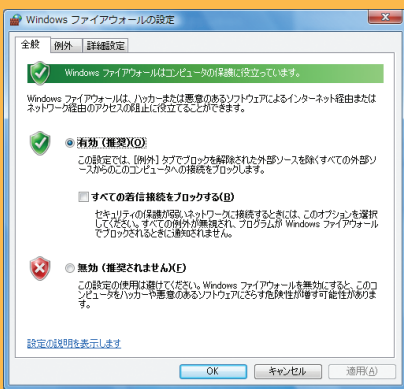
最終兵器!? ファイアウォール(防火壁)がインターネットからの不正侵入をくいとめる

外部(インターネット)からの不正侵入を防ぎ、情報の流出を防ぐ機能を、ファイアウォールといいます。

このパソコンには、「Windowsファイアウォール」と「ウイルスバスター」というファイアウォールの機能を持つソフトが入っています。

ただし、ファイアウォールのソフトを二つ以上同時に使うと干渉しあってうまく働かないことがあります。どちらかを選んで使ってください。

また、ソフトの設定によってはLANの共有ファイルなどが使えなくなることがあります。設定を変更するなどの対処をしてください。「ソフト&サポートナビゲーター」-「使う」-「不正アクセスの防止」に、詳しい説明があります。

インターネットの接続に、ファイアウォール機能があるルータを使うと、さらに効果的です。(多くのルータには、ファイアウォール機能があります)

「Windowsファイアウォールの設定」の画面。有効にするときは、この画面で「有効」を選ぶ

「ウイルスバスター」のパーソナルファイアウォール機能の設定

「パソコンのいろは3」を使ってみよう！

対話型のパソコン練習ソフト、「パソコンのいろは3」を使って、パソコンの達人を目指しましょう！

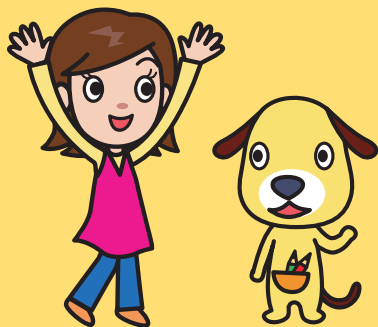
使いながら覚える「パソコンのいろは3」

パソコンの操作は、実際にやってみたほうが、ずっと早く身につきます。難しく考えずに、まずはやってみることが一番！

でも、最初はどこをどうしたらいいかわからないし、ちょっとしり込みしてしまいますよね。

そんなときはぜひ「パソコンのいろは3」にチャレンジしてください。

「パソコンのいろは3」は、マウスやキーボード、Windows Vistaの基本的な使い方から、インターネット、メールの使い方まで、パソコンで練習しながら覚えていけるトレーニングソフトです。

デスクトップの「パソコンのいろは3」をダブルクリックすると！

ポッケくんと、アイコ先生が登場します。

Windows Vistaやメールソフトなどを、実際と同じように操作して練習できます。

目次は前後編のふたつの画面に分かれています。練習したい項目をクリックしましょう。
（はじめてパソコンにさわるかたは、最初の項目から順番にやってみることをおすすめします）

それぞれの項目を、アイコ先生がひとつずつやさしく教えてくれます。

画面に表示されるガイドを見ながら、実際に自分の手で操作することで、パソコンの使い方を自然に覚えることができます。

Office 2007の学習もできる！（Office 2007が添付されているモデルのみ）

このマニュアルでもワード2007（Word 2007）、エクセル2007（Excel 2007）、アウトルック2007（Outlook 2007）といったソフトについて紹介していますが（52ページ・19ページ）、「パソコンのいろは3 Office 2007編」でも、Office 2007の基本操作を学習することができます。

本を読むより、実際に画面を操作しながら操作を覚えたい…という方は、このソフトを使ってみてください。

「ソフト＆サポートナビゲーター」-「ソフトを探す」-「事典・学習・ゲーム」-「Office 2007の基本操作を学ぶ」-「パソコンのいろは 3 Office 2007編」の「ソフトを起動」をクリック

「ソフト&サポートナビゲーター」を活用しよう

パソコンを操作していて困ったとき、使うソフトが分からないとき、あなたを助けてくれる頼れる味方。それが「ソフト&サポートナビゲーター」です。

パソコンの案内役

パソコンは本当にいろんなことができますね。メールを書いたり、年賀状を作ったり、デジタルカメラの写真を整理したり。

でも実際には、どのソフトを使ったらいいかわからなくてあきらめてしまったり、操作の途中でちょっとしたことにつまずいて放り出してしまったことがあるかもしれません。

そんなときは「ソフト&サポートナビゲーター」にお任せください。

「ソフト&サポートナビゲーター」は、目的に合ったソフトを探したり、パソコンの基本的な使い方や困ったときの対処方法を調べることができるソフトです。

デスクトップのをダブルクリックすると、パソコンの案内役「ソフト&サポートナビゲーター」が起動します。

ソフトを探そう

メールを出すときはなんてソフトを使うのかな？　音楽を聴きたいときは？

わからないときこそわかるようになるチャンス！　さっそく「ソフト&サポートナビゲーター」を起動してみましょう。

まずは「ソフトを探す」をクリック。左の欄からやりたいことを選び、真ん中の欄でさらに目的を絞り込んでください。

右の欄に、目的に合ったソフトの説明が表示されます。

これだ！と思ったら「ソフトを起動」をクリックしましょう。

同じような機能を持つソフトがいくつも用意されているときは、「その他ソフト」をクリックして、それぞれの特徴を比較することもできます。

■ ソフトを探すには

まずはここをクリック！

目的を絞り込むと…

ソフトが表示されます

ソフトを起動！

画面で見るマニュアル

パソコンを使っているときのちょっとした疑問やトラブルって、なんとももどかしいものですよね。詳しい人に教えてもらえたら簡単に解決しそうなのに！

そんなときこそ「ソフト&サポートナビゲーター」の出番です。

パソコンの設定やセキュリティなどについて調べたいときは「使う」を、使い方がわからなくなったりトラブルが起こったときは「困った」をクリックしてください。

ソフトを探すときと同じように、画面の左側から関係のありそうな項目をクリックしていけば、必要な情報にたどり着けるようにできています。パソコンの画面で見るマニュアルというわけです。

「パソコンの各機能」をクリックして、お使いのパソコンの機能に関する詳しい説明を読むこともできます。

わからないことがあったら、「ソフト&サポートナビゲーター」でどんどん調べて、パソコンをより便利に使いこなしてください。

検索してみよう

「ソフト&サポートナビゲーター」に表示される項目をたどっていっても、必要なソフトが見つからない、疑問やトラブルの解決策が見つからない。

そんなときは、キーワードや質問文を入力して、情報を検索することもできます。

画面上段の入力欄に知りたいことを文章で入力して「検索」をクリックしてください。関連する情報の一覧が表示されます。

起動する方法はひとつじゃない

パソコンは、いろんなソフトを使うことで、いろんな目的に使えます。ソフトを使いこなすことが、パソコンを使いこなすということだと言っていいでしょう。

ワープロソフトやメールソフトなどのソフトはパソコンに入っています。

パソコンの電源を入れてデスクトップが表示された状態では、ソフトは動いていません。ソフトを動かすことを「起動する」といいます。もっと簡単に「開く」ということもあります。

ソフトは、「ソフト&サポートナビゲーター」を使って起動します。（8ページ）

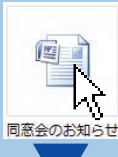
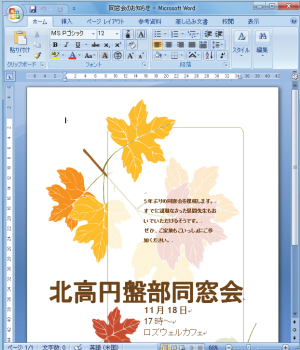
でも、ソフトを起動する方法は、ほかにもあります。ここでは、代表的なふたつを紹介しましょう。

ひとつは、そのソフトで作って保存したファイルをダブルクリックして、ソフトを起動しながら、ファイルも開く方法。もうひとつは、スタートボタンからメニューで選んで起動する方法です。

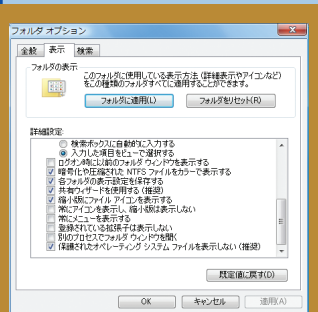
ファイルをダブルクリックすると ソフトが起動してファイルが開く

「ワード2007」で「同窓会のお知らせ」という文書を作って保存すると、ファイルはワードのアイコンで表示されます。

この「W」のマークがついたアイコンは、「ワード2007」で作ったファイルだという印で、ダブルクリックすると、「ワード2007」が起動し、そのファイルが開きます。

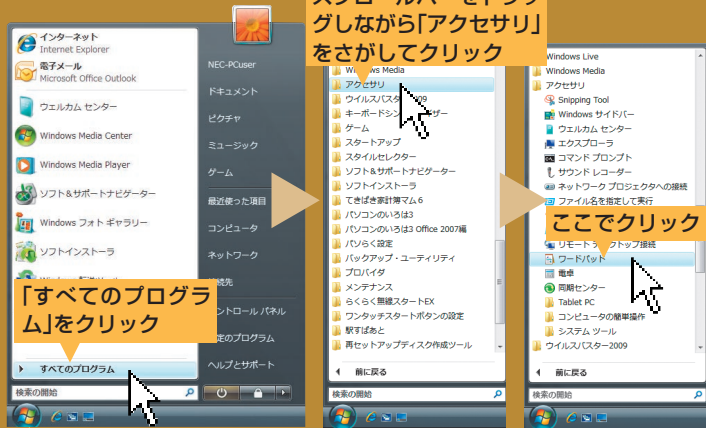
実は、普通は表示されませんが、ファイル名の後ろには、拡張子という、作ったソフトを示す名前がつけられていて、その拡張子にしたがって、アイコンが表示されているのです。

「W」の印のついたワードの文書ファイルをダブルクリックすると、ワードが起動する

同窓会のお知らせ

起動したワードで「同窓会のお知らせ」が開く

北高円盤部同窓会

拡張子を表示するには
フォルダを開いて、「整理」メニューから「フォルダと検索のオプション」を開き、「表示」、「詳細設定」の「登録されている拡張子は表示しない」のチェックを外す

まず、画面左下のボタン（スタート）をクリック

「すべてのプログラム」をクリック

スクロールバーをドラッグしながら「アクセサリ」をさがしてクリック

ここでクリック

スタートボタンから ソフトを起動する

デスクトップの左下の丸いボタン。ここをクリックすると、ボタンの上にメニューがあらわれます。これを「スタートメニュー」といいます。

ここには、パソコンの中の文書などをさがすときに使う「検索」や、設定を変えるときに使う「コントロールパネル」など大切なものが集まっています。

「スタート」のすぐ上には「すべてのプログラム」があって、ここにソフトが登録されています。たくさんのソフトが登録されているので、ものによってはいくつかの階層になっています。

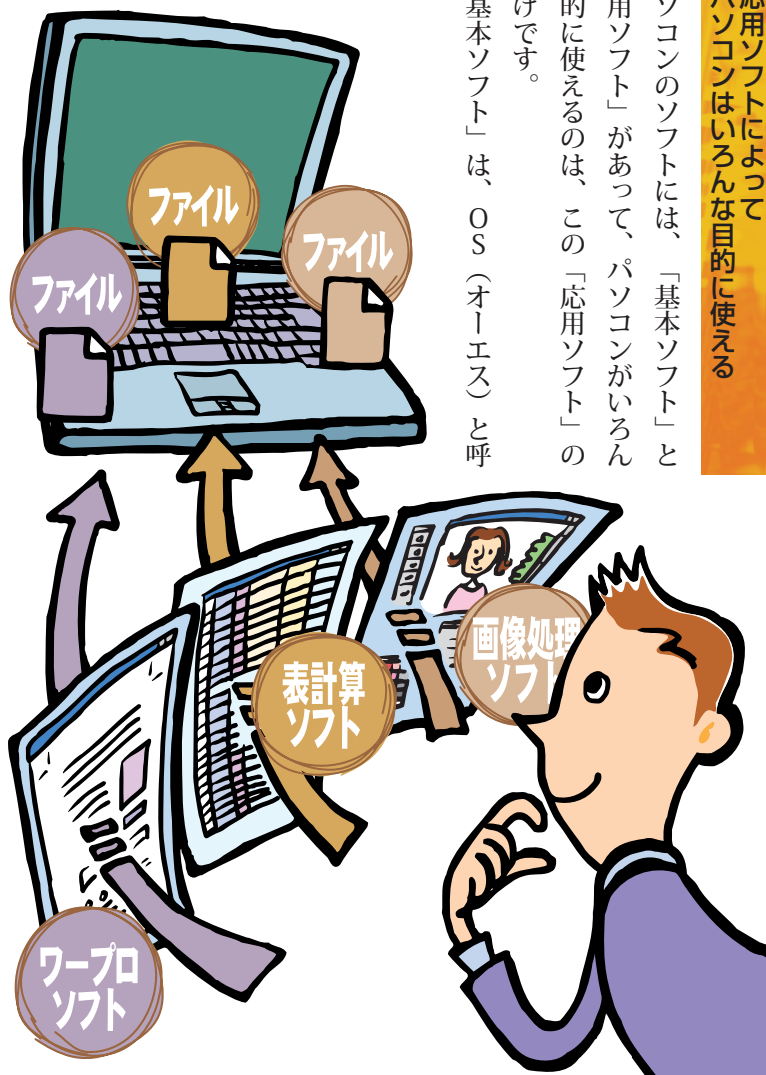
「ワードパッド」（簡易ワープロソフト）を開いてみましょう。（上図参照）

「スタート」をクリックする→「すべてのプログラム」をクリックする→「アクセサリ」をクリックする→「ワードパッド」をクリックする……と操作すると、ワードパッドが開きます。

好きなソフトをインストールしよう

パソコンのいちばんの特長は、いろいろな目的に使えることです。計算も、ビデオ編集も、作曲も一台のマシンでできてしまうのです。そのために、新しいソフトを追加することもできるのです。

応用ソフトによってパソコンはいろんな目的に使える

パソコンのソフトには、「基本ソフト」と「応用ソフト」があって、パソコンがいろんな目的に使えるのは、この「応用ソフト」のおかげです。

「基本ソフト」は、OS（オーエス）と呼ばれるもので、ハードウェアの制御やファイルの操作などをする縁の下の力持ちです。このパソコンには、「Windows Vista」という基本ソフトが入っています。

具体的な目的のために使う「応用ソフト」は、「基本ソフト」の上で動きます。わたしたちは、応用ソフトを使って、パソコンの中にあるファイルを扱うことで、パソコンをいろんな目的に使えるのです。

ソフトは、パソコンショップの店頭やホームページなどで購入します。

また、雑誌の付録のCDやインターネットのホームページには、フリーソフト（無料で使えるソフト）やシェアウェア（試用した上で、使うと決めたら料金を払うソフト）もあります。

インストールは、パソコンに新しいソフトを追加すること

ソフトをパソコンに追加して、使える状態にすることを「インストール」といいます。

「ソフト＆サポートナビゲーター」に出てくるソフトには、まだ、インストールされていないものもあります。

インストールされていないソフトは、「ソフトを起動」をクリックすると、自動的にソフトがインストールされたあと、起動します。次に使うときは、もうインストールの必要はありません。

BIGLOBEの「SOFTPLAZA（ソフトプラザ）」では、さまざまなソフトの購入や、無料体験版のダウンロードがオンラインで手軽におこなえます。

もちろん、「ソフト＆サポートナビゲーター」に入っていないソフトもインストールできます。インストールのしかたは、それぞれのソフトのマニュアルをご覧ください。

ただし、不審なソフトはインストールしないよう十分に注意してください。

いらなくなったソフトを削除する

インストールしたソフトを削除することを「アンインストール」といいます。

「ソフト＆サポートナビゲーター」の「ソフトインストーラでソフトを追加・削除する」から起動する「ソフトインストーラ」で削除します。

自分でインストールしたソフトは、ソフトに専用の削除用のソフト（アンインストーラ）がついているときはそれを使って、専用のソフトがついていないときは、コントロールパネルの「プログラムのアンインストール」で削除します。

「SOFTPLAZA」の画面。さまざまなソフトの購入や無料体験版のダウンロードができる

ソフトインストーラでソフトを追加・削除する

「ソフトインストーラ」で、削除したいソフトの左側の「削除」をクリックして、「次へ」をクリックする

定番のオフィスソフトを使ってみよう

パソコンソフトの定番といえば、ワープロソフト。紙に印刷することを前提にして文書を作成するソフトです。「ワード2007（Word 2007）」で見栄えのする文書を作ってみましょう。

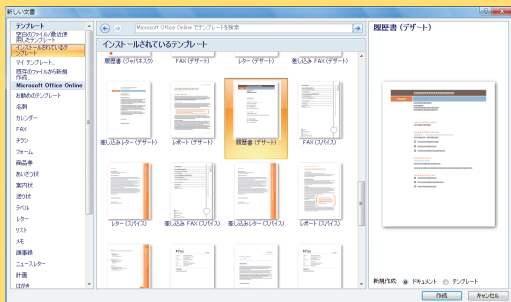
文章と図を組み合わせるワープロソフト

「ワード２００７」は、書類を作って印刷するためのソフトです。手紙などの文章を書くことはもちろん、文字の形や大きさを変えたり、図を入れたりすることができます。

ワード２００７の画面はそのままＡ４サイズの白紙だと思っていいでしょう（もちろん、ハガキなど、ほかのサイズの紙も指定できます）。

その白紙のなかに、見出しや本文、図版、表など、いろいろな部品を適切に配置していく作業を「レイアウト」と呼びます。

いちいちレイアウトするのがめんどうな人のためには、テンプレート（ひな形）が用意されています。さまざまな社内文書、社外文書のテンプレートが用意されているので、文書を書き替えたり、図版を入れ替えるだけで、きれいに整った文書を作ることもできるのです。また、作った文書をインターネットのホームページの形で保存することもできます。

ワード２００７の使い方は、ワード２００７のヘルプをご覧ください。

テンプレートを使いたいときは、左上の ボタンから「新規作成」を選び、左側のメニューでテンプレートを選ぶ

テンプレートを選ぶと、そのままワードの編集画面に取り込まれる

表を使って計算する表計算ソフト

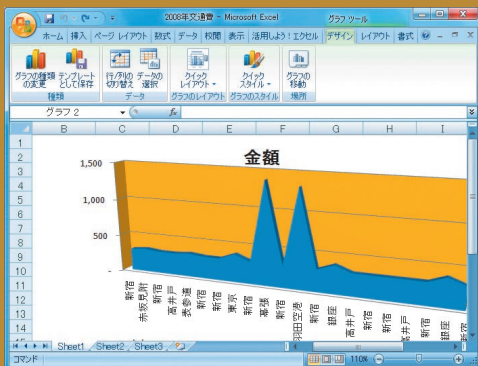
交通費など、毎月集計しなければならない単純作業はとてもめんどうなものです。

「毎日、数字だけ入力すれば、自動的に集計ができるようにならないだろうか……」こんなときにぴったりなのが表計算ソフト「エクセル２００７（Excel 2007）」です。

表計算ソフトの基本はセルと呼ばれるマス目です。行は数字で、列はアルファベットで数えます。たとえば、左上から五列三行目に当たるセルは「E３」と呼びます。

ずらりと並んだセルの中に項目名や数値を入力すると、表が完成します。表は簡単にグラフにすることもできるし、セルの中に計算式を入れて自動的に計算もできます。さまざまな関数が用意されているので、複雑な計算もできます。

表やグラフはそのまま印刷することもできるし、ワード２００７に取り込んで文書の中に配置することもできます。

エクセル２００７の使い方は、エクセル２００７のヘルプをご覧ください。

表は、必要な部分だけ選んで、グラフ化できる。グラフ機能は「挿入」メニューの中にある

	A	B	C
1	日付	行き先	金額
2	2008/1/3	新宿	300
3	2008/1/6	赤坂見附	320
4	2008/1/7	新宿	300
5	2008/1/8	高井戸	300
6	2008/1/8	表参道	320
7	2008/1/9	新宿	300
8	2008/1/10	新宿	300
9	2008/1/11	東京	380
10	2008/1/12	新宿	300
11	2008/1/13	幕張	1,380
12	2008/1/14	新宿	300
13	2008/1/15	羽田空港	1,320
14	2008/1/19	新宿	300
15	2008/1/20	銀座	380
16	2008/1/21	高井戸	300
17	2008/1/22	新宿	300
18	2008/1/25	新宿	300
19	2008/1/26	高井戸	300
20	2008/1/27	新宿	300
21	2008/1/28	銀座	380
22	2008/1/29	新宿	300
23	小計		8,680

1か月間の交通費を入力したエクセル2007の画面。小計の右側のセルには計算式が埋め込まれているので、自動的に合計が表示される

「パソコンのいろは3 Office 2007編」を使ってみよう

「パソコンのいろは3 Office 2007編」は、Word 2007やExcel 2007についての基本操作を楽しく学習できるトレーニングソフトです。

WordやExcelの使い方をナビゲーションに沿って実際に操作していくので、すぐに使い方をマスターできます。イラストや写真入りの文書や見やすいグラフや表などがラクラク作成できるようになりますよ。

「ソフト＆サポートナビゲーター」-「ソフトを探す」-「事典・学習・ゲーム」-「Office 2007の基本操作を学ぶ」-「パソコンのいろは3 Office 2007編」の「ソフトを起動」をクリックする

餅は餅屋、年賀状には年賀状ソフト

ソフトにはイラストを描くためのソフト、音楽を作るためのソフトなど、目的を絞ったソフトがあります。たとえば、年賀状を作るための専用ソフトもあるのです。

年賀状のデザインや素材が豊富

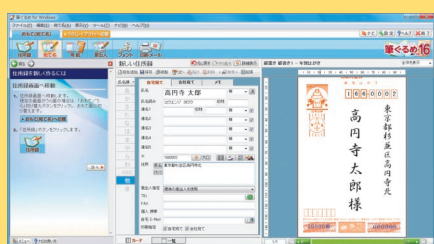
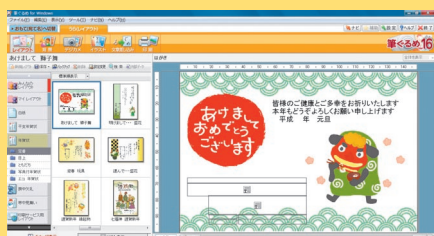
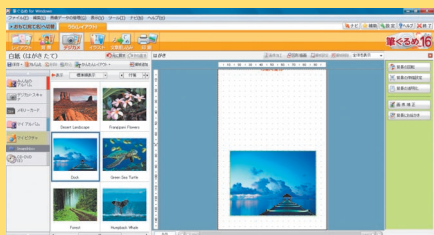
年賀状などのハガキの印刷はワープロソフトでもできますが、年賀状ソフトを使うともっと簡単に美しく仕上げられます。

なぜかというと、年賀状ソフトには、多くの基本デザインが用意されているからです。イベントや季節に合わせたイラストなどの素材も豊富です。

こうした素材を織り交ぜ、文章を付け加えるだけで見栄えのするハガキがあっという間にできあがるのです。

さらに、年賀状ソフトは表書きの機能も強力です。ふつうに名前と住所を入力するだけで、バランスのとれた表書きが完成します。

一度入力した氏名、住所は住所録として管理されるので、何度でも使えます。

また、行書体や草書体などの書体も用意されているので、文字の形も好きなものを選べます。筆ぐるめの使い方は、筆ぐるめのヘルプをご覧ください。

年賀状ソフト「筆ぐるめ」の住所録作成画面。郵便番号を入力するだけでわかるかぎりの住所が自動入力されるなど、工夫が凝らされている

暑中見舞いやクリスマスカードなどのレイアウトが用意されている

ハガキに自分で撮った写真などを載せたいときは、「デジカメ」のリストから画像を選ぶ

画面はモデルによって異なる場合があります。

次の操作で起動

▼

ソフト＆サポートナビゲーター

▼

ソフトを探す

▼

文書・はがき作成

▼

はがきを作る

▼

筆ぐるめの「ソフトを起動」

プリンタを使えば、何倍も楽しい

「チラシができた」「ハガキができた」「さて、印刷しよう」。でもそのためには、プリンタが必要です。プリンタがあれば、ワープロ、年賀状ソフト、表計算ソフトなどの印刷機能を使えるようになります。

用紙サイズの設定には注意しよう

パソコンにプリンタをつなぐと、自分で作った書類やインターネットのホームページを印刷することができます。

プリンタにはさまざまな種類がありますが、現在、もっとも普及しているのはインクジェット方式の製品です。パソコンショップへ行けば、数万円で十分な性能の製品を購入できます。

印刷できる用紙も、機種によって、普通の紙だけでなく、シールやCD、DVDに印刷できるもの、アイロンプリント用の印刷ができるもの、透明なシートに印刷できるものなどがあります。

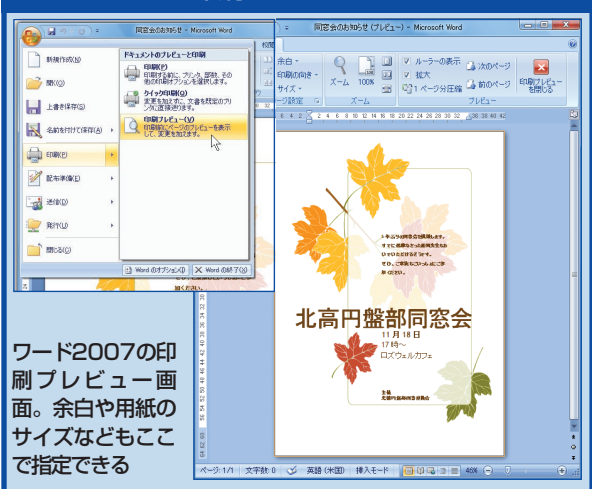
また、スキャナ（写真などをパソコンに読み込む周辺機器）やカラーコピーがいっしょになった複合機もあります。

一般にプリンタはUSBケーブルを使ってパソコン本体と接続します。

付属のCD-ROMからドライバソフトとユーティリティーソフトをインストールすれば、用意は完了です。機器の接続とソフトのインストールの順番はプリンタによって違うので、マニュアルにしたがってください。

実際に印刷するには、ソフトの「ファイル」メニューで「印刷」や「プリント」という項目をクリックします。

気を付けたいのは、印刷のプレビュー（実際に印刷する前に、どのように印刷されるかを画面に表示すること）機能があるときは、プレビューで確認することと、ソフトで設定した用紙サイズと同じサイズの紙をプリンタにセットすることです。

印刷のプレビュー

ワード2007の印刷プレビュー画面。余白や用紙のサイズなどもここで指定できる

SmartPhotoで写真を楽しむ

どんどん増えるデジタルカメラの写真。楽しみも増えるけれど、整理するのもひと苦労ですね。
そんなときは「SmartPhoto」の出番です。SmartPhotoには、デジタルカメラから写真を取り込んで整理したり、より美しく補正したりするための便利な機能がいっぱい！
撮りためた写真をアルバムにまとめてDVDに保存して友達に配ったり、整理した写真をまとめて印刷できます。
ここでは、SmartPhotoの機能を簡単にご紹介します。詳しい使い方は、SmartPhotoのヘルプをご覧ください。

思い出の写真をパソコンでもっともっと楽しもう

シンプルな操作で編集・整理！

デジタルカメラから写真を取り込む

一枚の用紙に写真を並べてインデックス印刷

コメントをつけた印刷も

お気に入りの写真をまとめて、アルバムを作ることもできる

DVD

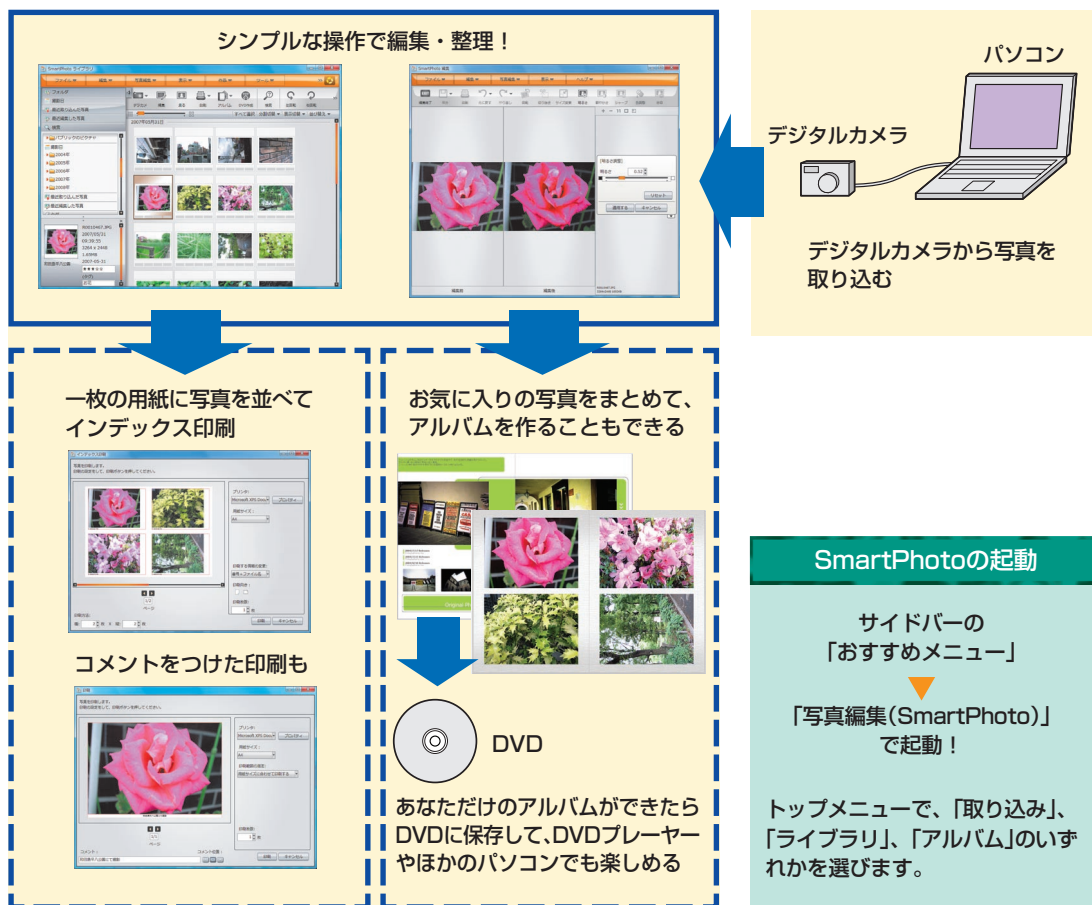
あなただけのアルバムができたらDVDに保存して、DVDプレーヤーやほかのパソコンでも楽しめる

SmartPhotoの起動

サイドバーの「おすすめメニュー」

▼

「写真編集（SmartPhoto）」で起動！

トップメニューで、「取り込み」、「ライブラリ」、「アルバム」のいずれかを選びます。

SmartPhotoで写真を楽しむ

写真を取り込む

まずは接続して……

デジタルカメラをパソコンにつなぐか、メモリーカードをパソコンに差し込むと、複数の写真を自動的に切り換えて楽しめる「ぱっと観スライドショー」が自動で始まります。

パソコンに写真を取り込みたいときは、マウスポインタを画面右に動かしてメニュー画面を表示させ、画面の「すべて取り込み」または「写真を選んで取り込み」をクリックしてください。

※リモコンのサブメニューボタンでも表示できます。

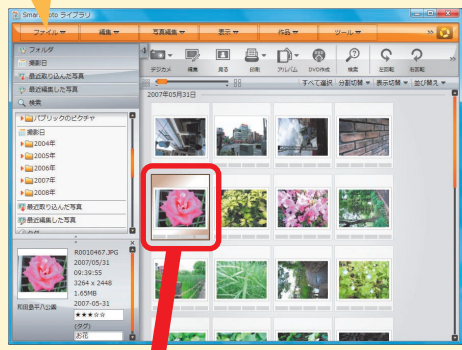
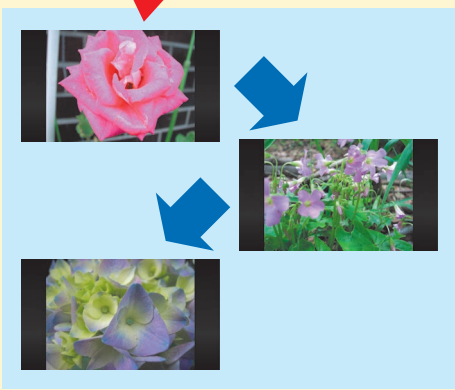
写真を選んで取り込む

「ぱっと観スライドショー」のメニュー画面で、「写真を選んで取り込み」を選ぶと、取り込み画面が表示されます。取り込みたい写真を選んで「取り込み開始」をクリックすると、写真がパソコンに取り込まれます。

写真を見る

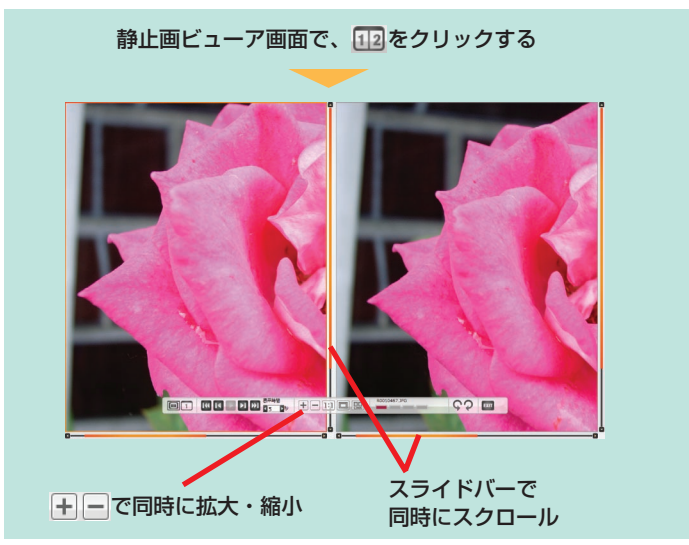
スライドショーで楽しむ

ライブラリで写真を選び、「見る」ボタンをクリックして静止画ビューア画面にすれば、写真を拡大して見ることができます。複数の写真を見る場合は、スライドショー（自動送り）で鑑賞するといいでしょう。

写真を選んで「ファイル」－「スライドショー」をクリック
または、写真を右クリックで「スライドショー」

スライドショーがスタート

スライドショー中に、マウスポインタを画面右側に動かしたり、リモコン（リモコンが添付されたモデルのみ）のサブメニューボタンを押すと、メニュー画面と操作ボタンが表示される

二枚並べて比較する

写真を二枚並べて表示させ、同時に拡大・縮小したり、スクロールしたりすることもできます。

同じシーンの写真を見比べて、どっちの写りがいいかな？と検討するときに便利ですね。

静止画ビューア画面で、[1|2]をクリックする

[+][−]で同時に拡大・縮小

スライドバーで同時にスクロール

SmartPhotoで写真を楽しむ

写真を整理する

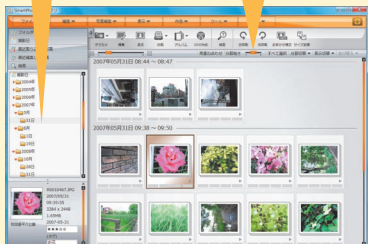
写真を整理するための便利な機能

取り込んだ写真の整理もSmartPhotoにお任せください。ライブラリ画面では、撮影した写真を年・月・日や撮影時間で自動的に分類してグループ分けするだけでなく、一枚の写真から似たような写真を探し出して集めたりすることができます。

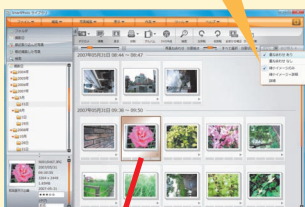
また、集合写真などで「もう一枚とるよー！」といったことがありますね。そうした予備の写真（同じ日に撮った同じシーンの写真）をまとめて管理することもできるのです。

■ 撮影したタイミング（日時）で分類する

①「撮影日」から日付を選ぶ

②「分割粗さ」スライダーをドラッグ

時刻で分類する際の細かさを調節できる。

■ 同じシーンの写真は重ね合わせて

「表示切替」で「重ね合わせ あり」をクリック

メニューバーの「編集」-「重ね合わせ写真の展開」で一覧することも

よく似た写真を検索！

写真を選び、メニューバーの「編集」-「類似写真を検索」で、似た写真を検索できる。

「顔」で検索する

人物の写真を選び、同じ人物が写っている写真を検索できます。

これは、画像に含まれている人物の「顔」を認識し、同じ人かどうか判断する機能。あの人が写っている写真だけ探したい、そんなときにうってつけですね。

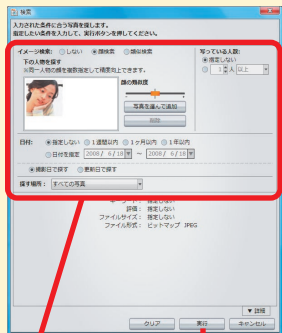
写真を選ぶ ▶ メニューバーの「編集」▶「この人物の写真を検索」

①検索する人を選んで「追加」をクリック

②「OK」をクリック

③条件を指定して

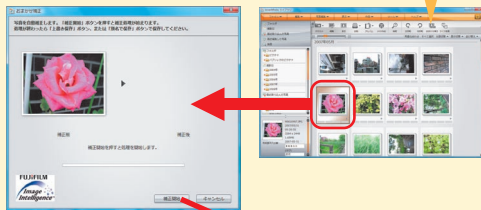
④「実行」をクリック

SmartPhotoで写真を楽しむ

写真を編集する

手間いらずの「おまかせ補正」

せっかくの写真が逆光気味。明るさを調節したいけれど、画像編集ソフトは難しくて……。そんなときは「おまかせ補正」の出番です。写真を解析してバランスよく自動補正してくれます。

結果がお気に召さないときは、「写真編集」の「オリジナルに戻す」をクリック。編集前の状態に戻ります。

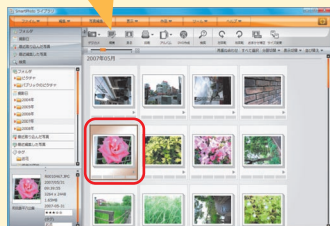
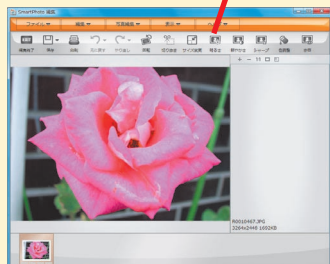
写真を選んで「おまかせ補正」ボタンをクリック

「補正開始」ボタンをクリック！

「上書き保存」または「別名で保存」ボタンをクリック

細かい編集もシンプルな操作で

もちろん「明るさ」や「鮮やかさ」などを個別に調節することもできます。結果を確認しながら、納得がいくまで編集してみましょう。

■ 編集操作の例（「明るさ」の調節）

写真を選んで「編集」ボタンをクリック

「明るさ」ボタンをクリック

①スライダーで調整して

②「適用する」をクリック

写真のサイズを変更する

写真のサイズが大きすぎると、メールで送ったりブログに載せたりするとき不便ですね。「サイズ変更」ボタンをクリックすれば、手軽に写真のサイズや保存形式を変更できます。

複数の写真を選んで、まとめてサイズを変更することもできます。

SmartPhotoで写真を楽しむ

印刷する／アルバムを作る

ライブラリでは物足りないあなたへ

撮りためた写真を編集したり整理したら、もうひと手間加えてみませんか？

パソコンにプリンタを接続したら、整理した写真を一枚の用紙に並べてインデックス印刷したり、写真にコメントをつけて印刷できます。

整理した写真を使って、パソコンの中にアルバムを作ることができます。表紙や台紙のデザインを決めて、表紙に載せる写真を決めて、それから写真を貼り付けるレイアウトを選んで……。あなただけのオリジナルアルバムができあがります。

写真を選んで「印刷」-「インデックス印刷」をクリック

※プリンタの接続方法は、プリンタのマニュアルをご覧ください。

プロ級のかっこいいアルバムを作る

もっとかっこいいアルバムが作りたいなら、「デザイナー作品例」から使いたいサンプルを選んで「アルバムのコピー」でコピーを作って編集してください。

SmartPhotoにはプロのデザイナーが作ったサンプルアルバムが12種類用意されているので、これをもとに写真やテキストを編集すれば、簡単にかっこいいアルバムが作れます。

■アルバムができるまで

①アルバムに載せる写真を選ぶ

▼

②「アルバム」ボタンの右の▼をクリックし

▼

③「デザインを選んでアルバムを作成」をクリック

▼

あとは画面を見ながら作るだけ

できあがったアルバムにクリップアート、テキストなどを追加することも

基本とヒント

見つかるさがせる簡単ファイル整理術

あのファイルはどこへ？作った書類は積極的にリサイクル

あなたは、今までにどのくらいの数のファイルを作りましたか？　それらのファイルはすぐに出てきますか？

パソコンでは、ワープロの文書も、表計算ソフトで作ったスケジュール表も、デジタルカメラで撮った写真も、なんでもファイルという形で保存します。

ファイルはどこにでも保存できるので、いいかげんに名前をつけて行き当たりばったりに保存していると、すぐにどこに行ったかわからなくなります。

どうしてもそのファイルが必要になったら、ファイルをひとつずつ開いて中身を確認しながらさがさなければなりません。

見つからないものはしかたがないとあきらめるのも潔くていいんですが、一度作った書類を何度も印刷できることや、ちょっとなおして新しい書類を作れることがパソコンのいいところなのです。リサイクルの精神です。せっかく作った書類をみすみす埋もらせておく手はありません。

手がかりを見つけてとにかく検索してみよう

さがし方の基本は、一、名前でさがす、二、場所でさがす、のふたつです。

どんなファイル名で保存したか覚えていれば、そのファイル名ですぐに検索できます。ファイル名の一部やファイルの中の言葉、ファイルを作った日付でもさがせます。ただ、同じ名前のファイルがたくさんあると、全部検索されてしまうので、絞り込むのがやっかいです。

「ドキュメント」フォルダなど、保存した場所がわかっていればそのフォルダを開いてさがします。これが、場所でさがす方法。

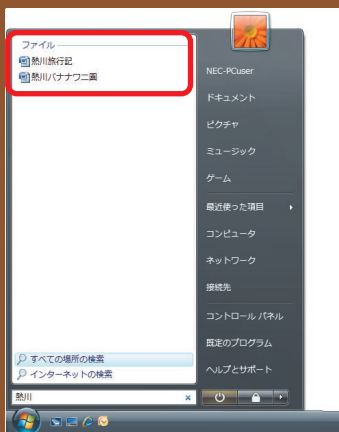
このほかに、使って間もないファイルなら、スタートメニューの「最近使った項目」で見つかるかもしれませんし、ワード、エクセルのファイルなら、ボタンをクリックすると表示されるかもしれません。

あとはまちがってごみ箱に捨てていないか確認するぐらい。やっぱり、普段から、見つけやすいように保存しておくのが大切です。

基本はファイル名で「検索」

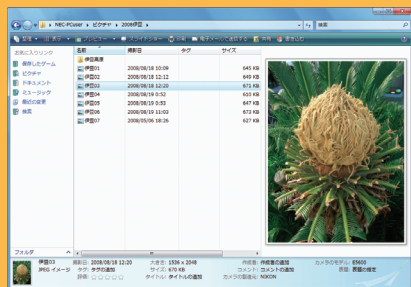
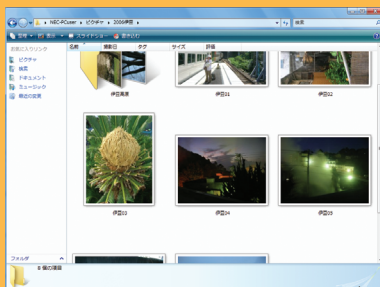
をクリックし、

検索するファイル名の一部を入力する

熱川の開始

みつかったファイルの一覧が表示される。ファイル名がキーワードを含むファイルだけではなく、内容の文中に含むものやメールも検索される

写真は表示を使い分けてさがす

フォルダの中身の表示は、「表示」メニューで切り換えます。をクリックして選んでください。

それぞれの絵柄が大きく表示される「特大アイコン」、更新日付や容量も表示される「詳細」などがあります。さがし方によって使い分けましょう。

「詳細」表示にすると、「撮影日」や「サイズ」がわかる。上の項目名をクリックして、その順番に表示することができる。「整理」メニューの「レイアウト」で「プレビューペイン」を有効にすると、右に写真が表示される

「特大アイコン」表示にすると、写真の絵柄が大きく表示される

秘訣1　さがしやすい名前をつけよう

ファイル(文書)の名前のつけ方を決めてそれを守る。
これが、第一の秘訣です。
ルールをちゃんと守っていれば、
手のかかるファイルさがしがグッとラクになります。

見つけにくい名前はあとで苦労する

新しく作ったファイルを保存しようとすると、「名前を付けて保存」という画面が出ます。ファイル名の欄には、文章の書き出しの部分や「文書1」などの名前が入っていて、このまま「保存」をクリックすると、この名前で保存されます。

急いでいるときはしょうがないとしても、あとでさがすことを考えると、いかにもまずい。

「文書1」、「文書2」なんていう名前では、開いて中を見るまで何のファイルだかわかりません。書き出しのファイル名も同じです。「拝啓、時下ますます」では、手紙だということしかわかりません。

ほかのファイルとの違いをファイル名にすると、さがしやすくなります。

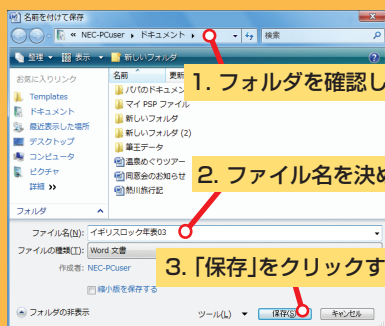
名前をつけるいちばん普通で確実な方法は、ファイルの内容から拾い出したキーワードを組み合わせて名前にする方法です。同じキーワードのファイルがいくつかあるときは、連番もつけます。

たとえば、「イギリス」の「ロック」の「年表」の三つめだから、「イギリスロック年表03」といった具合です。

ひとつだけのものでも、のちのち、同じ内容のファイルができることを見越して、最初から連番をつけておくと確実です。

キーワードを考えるのがめんどうなら、単純に日付と連番という手もあります。08年04月20日に伊豆高原で撮った三枚目の写真を「0420-03」という名前にして、「2008伊豆高原」というフォルダに入れておきます。

■ファイルを保存する画面

1. フォルダを確認して
2. ファイル名を決めて
3. 「保存」をクリックする

※ ファイル名やフォルダ名を日本語でつける場合、環境依存文字(日本語変換で一覧に「環境依存文字」と表示される文字)は使用しないでください。ソフトによっては、正しく動作しなくなります。

ルールを決めて継続するのがポイント

さがしやすい名前にするコツは、ルールを決めてそれを継続することです。キーワードもすぐに思いつくような言葉にかぎります。それも、できるだけワンパターンな拾い方がいいのです。ナゾナゾのようなファイル名では、すぐに思い出せません。

作ってから時間がたったファイルも、同じルールで名前がつけられていれば、ファイルをさがすときに、自分がどういう名前をつけたか推測しやすいでしょう。

もちろん、ファイル名はあとで変えることもできます。増えてきたら、見分けやすい名前につけなおしてもいいのです。

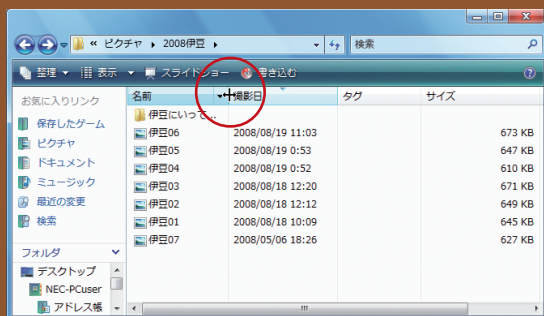
ただ、いくつか注意してほしいことがあります。

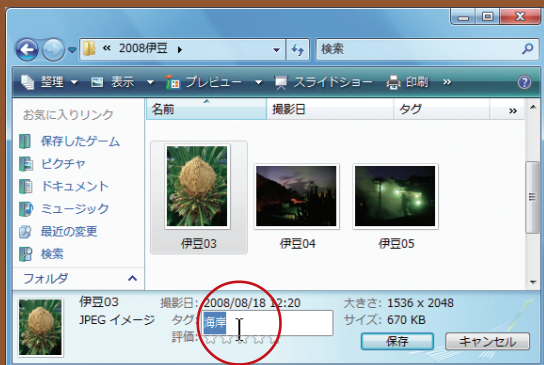
あまり長い名前にすると、詳細表示や縮小表示のときに後ろのほうが表示されません。全角なら十文字程度、半角なら二十文字程度までにしたほうがいいでしょう。

また、半角の「/」や「¥」、「*」、「?」は、ファイル名に使えません。ひとつのフォルダに、同じ「種類」で同じ名前のファイルを入れることもできません。

■ ファイル名を変更する

表示を「大アイコン」にした画面。ファイルの名前を変えたいときは、ファイルを一度クリックして、しばらくしてから、ファイルの名前の部分をクリックすると、入力できるようになる。すぐに続けてクリックするとファイルが開いてしまうので、少し間隔をあけてクリックしよう

■ ファイル名の見えない部分を表示する

表示を「詳細」にした画面。ファイル名の後のほうが隠れているときは、「名前」の右側の縦の区切り線を右側にドラッグする。10個以上のファイルに連番をつけるときは、「03」のように、一桁の数字も前に0をつけておけば「3」が「10」の後ろに並んでしまう心配もない

■ タグ(キーワード)をつける

写真などのファイルは、画面下部の「タグの追加」をクリックするとタグをつけられる。タグをつけておけば、ファイル名だけでなく、そのタグをキーワードにして検索できる

秘訣2 分類ごとにフォルダで整理

会社では同じ内容の書類ごとにバインダーに綴じて保管したりしますね。
パソコンのフォルダも似ていますが、
フォルダの中にフォルダをしまうこともできるのです。

「ドキュメント」フォルダに集めよう

パソコンの中にはいろんなファイルが入っています。買ったときから入っているものもあって、勝手に消すわけにはいきません。そういったものと自分が作ったファイルを混ぜてしまっては混乱のもとです。

ファイル整理の鉄則は、「一か所に集めて、フォルダで分類する」。フォルダというのは、ファイルを分類するための入れ物。なんでも入る整理箱みたいなものです。

では、どこに集めればいいのでしょう。そのために「ドキュメント」というフォルダが準備されています。

大事な書類を、あちこちに置いていてはワケがわからなくなります。自分で作ったファイルは、全部「ドキュメント」に保存すると決めましょう。

整理整頓のカギは、この「ドキュメント」の中。ここにどんなフォルダを作って、どんな基準で整理するかが工夫のしどころです。

フォルダを作るのは簡単です。フォルダを開いて、そのフォルダの、アイコンなどが何もないところで右クリック。「新規作成」にマウスポインタを合わせ、「フォルダ」をクリックすると新しいフォルダができます。名前はファイルと同じ方法で変えられます。

ワードなどのソフトでファイルを保存するときにも、「名前を付けて保存」の画面でフォルダを作れます。「新しいフォルダ」をクリックすればいいのです。でも、保存のついでに作ろうとすると、名前もいい加減なものになりがちです。先に作っておいたほうがいいでしょう。

「スタート」をクリックして、「ドキュメント」をクリックすると、「ドキュメント」が開く。写真用の「ピクチャ」や音楽用の「ミュージック」もある

一か所に集めて、フォルダで分類しよう

ファイルがたまってきたら、どういうフォルダを作るか考えてみましょう。

机の上を整理する方法と同じです。写真、ハガキ、名刺など、仲間同士を同じ箱にしまいますね。

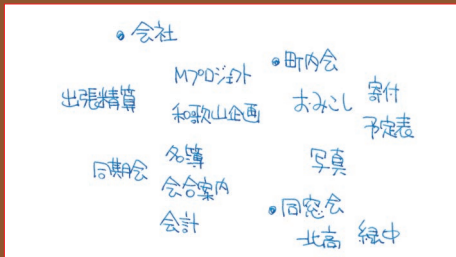
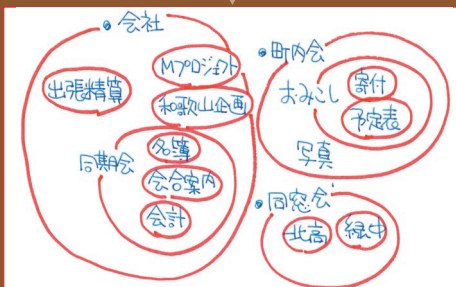
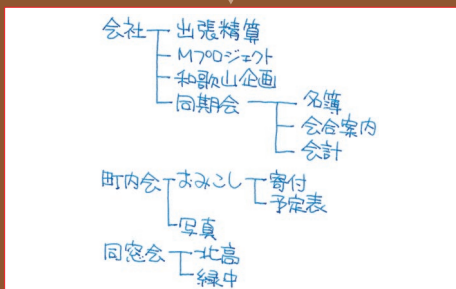
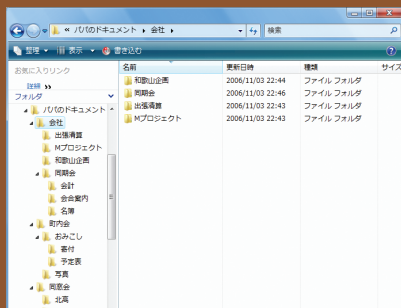
そういう具合に、右の図のように、あなたがどんなことにパソコンを使っているか、どんな種類のファイルがあるか書き出して、丸で囲んでグループ分けします。この丸のひとつひとつに該当するフォルダを作ればいいのです。

これを、家系図やトーナメント表みたいな書き方にすることもできます。

こんな書き方の図をパソコンの画面で見たことはありませんか？

フォルダの画面の左下にある「フォルダ」をクリックすると表示される、あの図によく似ています。

ひとつのフォルダの中に、いくつかのフォルダがあって、さらにそのフォルダの中に、またフォルダがある……入れ子になっているフォルダの全体構成を見るときに便利な、あの画面です。

あなたが書き出した用途の分類と同じ構成のフォルダを作れば、あなたがこれから作るファイルをうまく分類していけるのです。

パソコンをどんなことに使うかを書き出す

丸で囲って分類する。このようにフォルダを作れば、これから作るファイルを収めやすい

家系図を横にしたように並べてみる

フォルダの階層図と見比べながらなら作りやすい

フォルダ

ファイルやフォルダを表示している画面の左下にある、「フォルダ」をクリックすると、その上に、パソコンの中のフォルダの構造図が表示され、今表示されているフォルダが、そのうちのどこに位置するかがわかる

秘訣3　いらないファイルは捨てる

フォルダを作って整理したら、
いらないファイルもでてきました。
こんなときには、思いきって、ごみ箱に捨ててしまいましょう。

うっかり必要なものを捨ててもダイジョウブ！

いろいろやっているうちに、フォルダはファイルであふれてしまいます。もういらないファイルも混じっていませんか。

　パソコンの画面のすみっこには「ごみ箱」があります。ここに捨ててしまえばいいのです。いらない物が多いと必要なものが見えなくなりますしね。

　いらないファイルやフォルダのアイコンをドラッグして、そーっとごみ箱まで移動します。そして、ごみ箱の上でマウスのボタンを離すと、ファイルがごみ箱に入ります。

　ファイルやフォルダはごみ箱に捨てただけでは消えません。ごみ箱に入った状態で保存されていますから、心配はいりません。

　試しにファイルをどれかごみ箱に入れてみましょう。入れたらごみ箱をダブルクリックして開いてみましょう。

　さっき捨てたファイルがここに入っているはずです。このファイルを右クリックして「元に戻す」をクリックすると、ファイルはもとの場所に戻ります。

いらなくなったファイルは、ごみ箱へドラッグ。空っぽのごみ箱にファイルやフォルダが入ると、アイコンも少し変化する

ごみ箱をダブルクリックして開き、捨てたファイルをクリックして、ごみ箱画面上部の「この項目を元に戻す」をクリックしても、ファイルはもとの位置に戻る

※テレビ番組の録画データは、「ごみ箱」を使わず、テレビを録画するソフトで削除してください。

本当にファイルを消したいときは

逆に、本当にファイルを消したいときは、ファイルをごみ箱に入れた後、ごみ箱画面上部の「ごみ箱を空にする」をクリックします。

たとえば、ハードディスクがいっぱいになったときは、本当にファイルを消さないと、ファイルを保存したり、ほかからコピーしたりすることができなくなります。また、ごみ箱にあまりたくさんのファイルやフォルダが残っていると、もとに戻そうと思ったときに、そのファイルをさがすのがたいへんです。

「ごみ箱を空にする」と、ファイルは完全に消えてもとに戻せなくなります。残しておきたいときは、CDやDVDなどに保存してから、削除してください。

仮のごみ箱を作っておくと安心

いずれいらなくなりそうだが、まだ保管しておかなくてはいけないファイルは、「09年10月削除予定」といった名前のフォルダを作ってそこに入れておく手もあります。その時期が来たら、フォルダごと捨ててしまえばいいので安心です。

便利な右クリックメニュー

ごみ箱がウィンドウ（画面）に隠れてどこにあるかわからないときやファイルとごみ箱が離れていてドラッグするのがたいへんそうなとき、意外に重宝するのが右クリックメニュー。

ファイルやフォルダを右クリックすると、その場所にペロッと垂れ幕のようにメニューが出ます。その下のほうに「削除」というのがあるので、今度はそこをクリックする。「ファイルの削除」という画面で「はい」をクリックする。

こうすると、ごみ箱までドラッグしたのと同じように、ファイルやフォルダがごみ箱の中に入ります。

大事なファイルは大切に保管する

消えてしまったファイルはさがしようがありません。
いざというときのために、データの
こまめな保存とバックアップを心がけましょう。

削除や上書きは慎重に

ここまで、ファイルのさがし方やさがしやすい整理のしかたを見てきましたが、これは、存在しているファイルの話です。消えてしまったファイルは、さがせません。ファイルが消えないようにする工夫も必要です。

いろんな作業をしていると、どうしても、うっかり削除してしまったり、上書きしてしまうことがあります。

上書きというのは、もともとあったファイルの上に、ほかの新しいファイルを保存して、もとのファイルを消してしまうことです。

たとえば、同じフォルダに、同じソフトで作った、同じ名前のファイルを保存しようとして、「上書き」を選ぶと、もともとあったファイルは消えて、新しいファイルだけが残ります。

こういったことで、時間をかけて作った書類や絵が消えてしまうことがあります。

どうすれば、こういう問題を避けることができるでしょう。ダメージを最小限に抑えることができるでしょう。

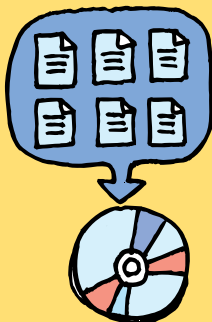
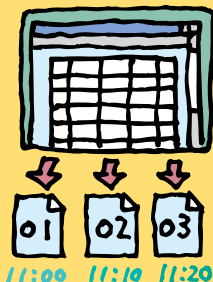
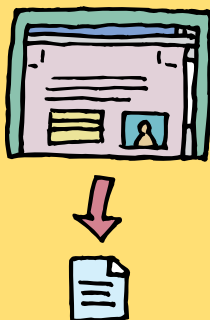
作業中だからこそこまめに保存

まず、作業中のデータはこまめに保存すること。

ワープロや表計算ソフトで書類を作っているときは、つい熱が入って、少しでも先へ進むように、我を忘れて作業を続けてしまうことがあります。そんなときも、十分とか二十分おきに、や「ファイル」メニューの「上書き保存」を選んでください。ハードディスクに保存されている文書が、作業中の最新の状態に更新されます。メニューから選ぶのがめんどうであれば、「Ｃｔｒｌ」キーを押しながら、「Ｓ」キーを押す方法もあります。

制作の各段階の履歴ファイルを残しておくと、さらに、安心です。

たとえば、このマニュアルの原稿もパソコンで書いていますが、多くの人と相談しながら、何度も書きなおしています。何度も書きなおすうちには前のものに戻そうということもあるので、古いファイルが役に立つのです。

履歴を残すためには、メニューや「ファイル」メニューで「名前を付けて保存」を選ん

で、ファイル名を少しずつ変えて、同じフォルダに保存しておけばいいのです。

ファイル名に番号をつけておいて、古いものから順に「ファイル整理術01」、「ファイル整理術02」……という具合に番号を増やしていくだけなので、簡単なことです。

■ 三段階でファイルを守る

①こまめに保存する

②履歴を保存する

③まとめてバックアップする

バックアップがデータを守る

ハードディスクのデータが壊れたり消えたりしたときのために、ハードディスクに入っているデータをCDやDVDに保存しておくことを、「バックアップを取る」といいます。

定期的にバックアップを取っておけば、いざというときに、そのCDやDVDに保存したデータをもとに戻せば、バックアップを取ったときの状態まで復帰することができます。

万一のための備えです。

このパソコンには、「バックアップ・ユーティリティ」という、データのバックアップを取るためのソフトが入っています。

また、当分使いそうにないデータは、まとめてCDやDVDに保存して、ハードディスクからは消してしまったほうが、整理しやすい(あとでさがしやすい)こともあります。CDやDVDに書き込むときは、「Roxio Creator LJ」を使います。

■ バックアップ・ユーティリティでデータをまとめて保存する

ソフト&サポートナビゲーター

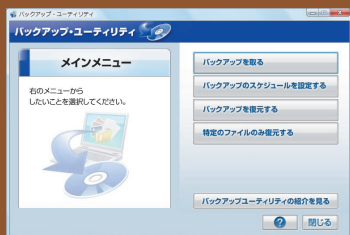
ソフトを探す

安心・サポート・便利

データをバックアップ/復元する

▼

バックアップ・ユーティリティの「ソフトを起動」

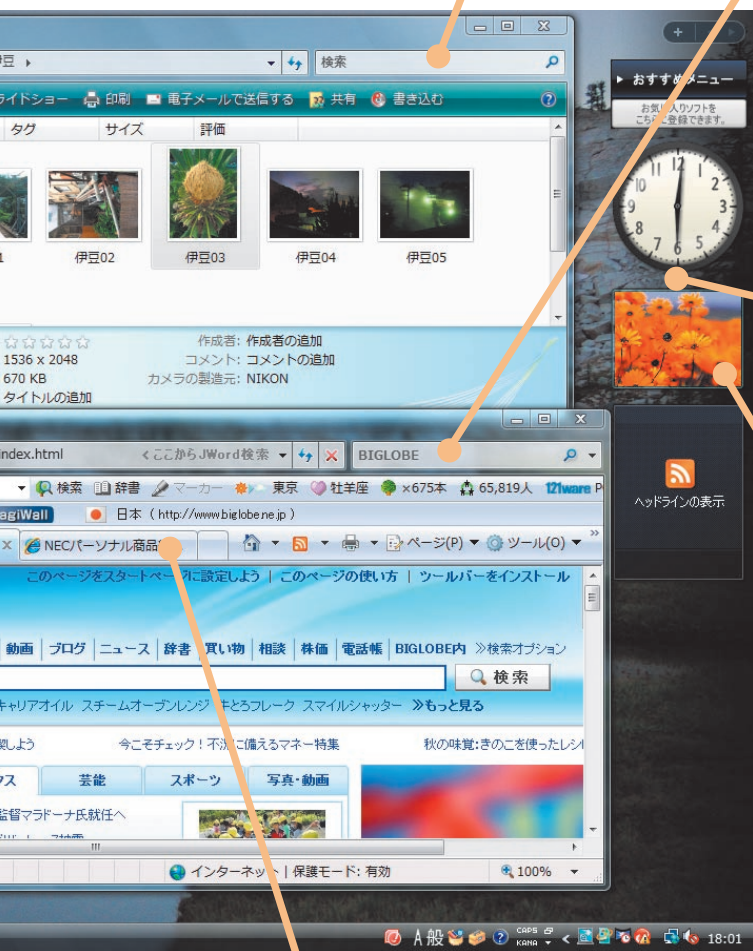
▼

この画面でしたいことを選びます。
スケジュールを決めて、自動的にバックアップを取るよう設定することもできます(たとえば毎晩決まった時刻に自動でバックアップを取る、など)。
詳しくは「バックアップ・ユーティリティ」のヘルプをご覧ください。

※著作権保護された音楽データは、購入に利用したソフトでバックアップしてください。

いろんな場所に用意された検索欄

後ろが透けて見える透明なウィンドウ

サイドバー

手軽で便利なガジェット

Internet Exprolerの画面はタブで切り換える

このパソコンには、Windows（ウィンドウズ） Vista（ビスタ）（以下、Vista）というOS（基本ソフト）が入っています。Vistaは、Windows XP（以下、XP）の後継OSです。

VistaとXPの違いはどこでしょう。

まず、透明感があって立体的な画面に目を奪われます。

ウィンドウが透明で下のウィンドウやデスクトップが透けて見えたり、ボタンをクリックするとウィンドウが斜め方向から立体的に表示されたり、タスクバーのウィンドウ名をポイントするとそのウィンドウが表示さ

Windows

これがVistaだ！

透明なウィンドウに透明なサイドバー。
強力な検索機能と強化されたセキュリティ対策。
新OS、Windows Vistaをご紹介します。

れたり、操作をわかりやすくする斬新な試みが随所に見られます。（Windows Vista Home Basicモデルでは、これらは表示されません）
　でも、それだけではありません。検索機能やセキュリティ機能の強化、エンタテインメント機能の充実、サイドバーとガジェット、データ移行やスケジュール管理、写真のアルバムソフトなどの便利なソフトの搭載など、いろんな新しさが満載です。
　それでは、XP登場から約五年ぶりに発売された新しいOSについて、じっくりと見てみましょう。

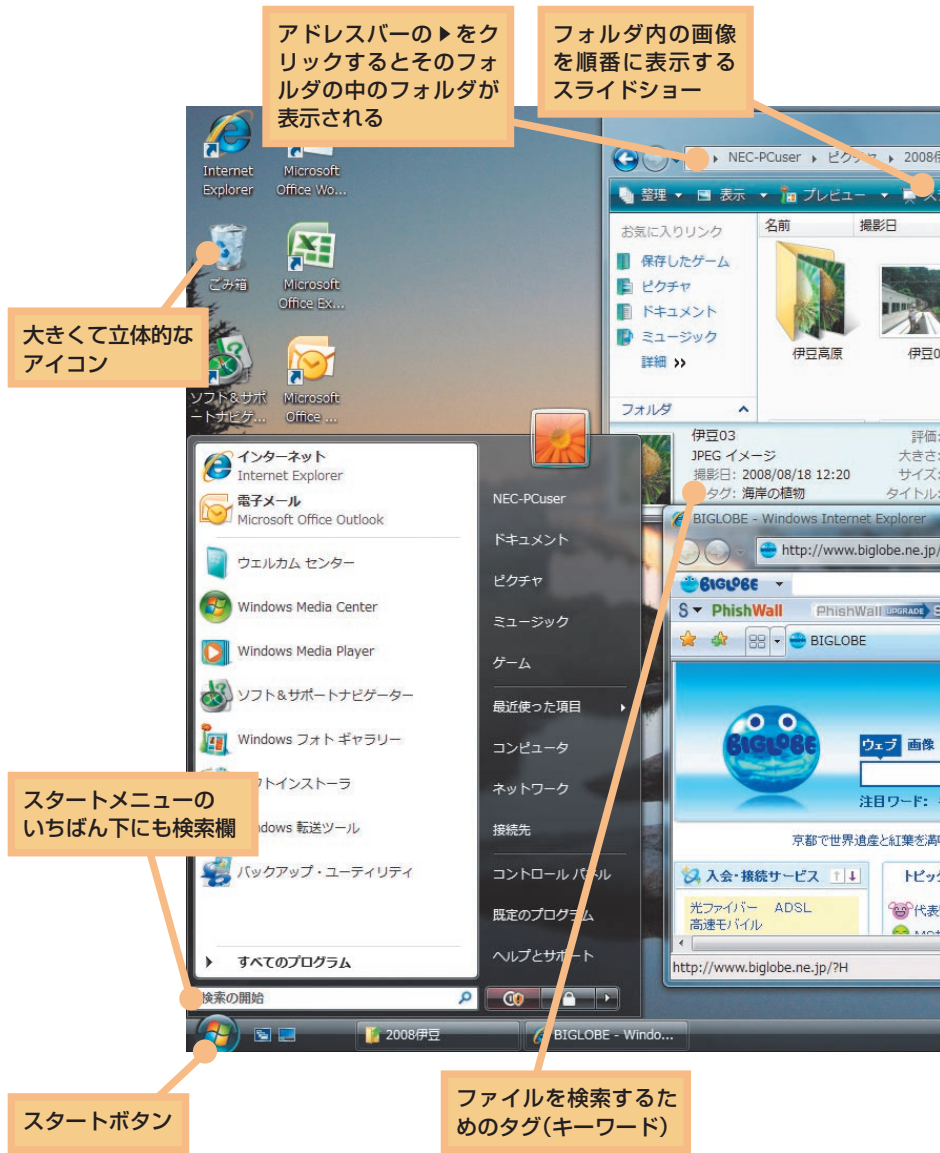
アドレスバーの▶をクリックするとそのフォルダの中のフォルダが表示される

フォルダ内の画像を順番に表示するスライドショー

大きくて立体的なアイコン

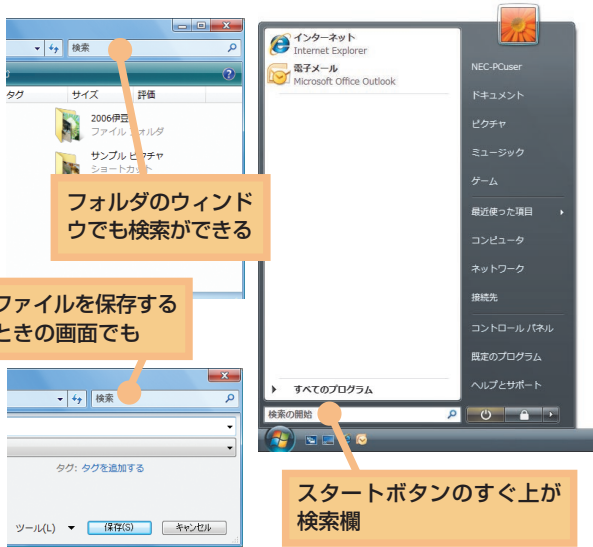
スタートメニューのいちばん下にも検索欄

スタートボタン

ファイルを検索するためのタグ（キーワード）

Windows Vista

これがVistaだ！

ファイルの中身もメールも検索

いろんなウィンドウで、いろんな形の検索ができます。
写真、映像、音楽、メール、書類と日々増えていくデータを扱うために、ファイルだけでなく、メールや書類の中身まで検索できるんです。

スタートメニューにも検索欄

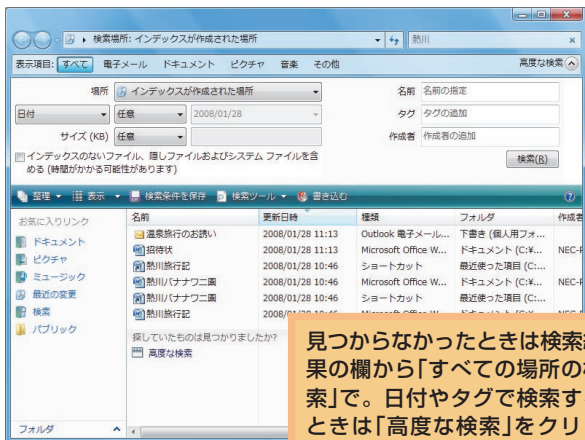
スタートメニューのいちばん下に検索の欄があります。しかも、検索のキーワードを一文字入力するごとに、検索がおこなわれ、絞り込まれていきます。このすばやい検索は、パソコンがあいている時間に作られる検索用データベースによるものです。
フォルダのウィンドウやファイル保存のウィンドウにも検索欄がつきました。

フォルダのウィンドウでも検索ができる

ファイルを保存するときの画面でも

スタートボタンのすぐ上が検索欄

ファイルの中身やタグも

メールやワード、エクセルなどのソフトの文書の中身も検索できるようになりました。
また、ファイルには、検索や分類のためのタグを付けられるようになりました。
デジタルカメラで撮られた写真のほとんどには、撮影日時、撮影機種などのデータが登録されていますが、パソコンに取り込むだけで、これらのデータもタグになります。

見つからなかったときは検索結果の欄から「すべての場所の検索」で。日付やタグで検索するときは「高度な検索」をクリック。「インターネットの検索」では、検索エンジンでの検索結果が表示される

これがVistaだ!

ソフトの切り換えも立体表示で

ウィンドウをいくつも開いて作業するときは、ウィンドウを探すのも、切り換えるのもたいへん。
切り換えをカンタンにする工夫もあります。
（Windows Vista Home Basicモデルを除く）

重なったウィンドウは斜めから

スタートボタンの右側の▣ボタンをクリックすると、デスクトップにウィンドウが重なっている様子を、斜めの方向から眺めることができます。たくさん重なっているウィンドウを全部見わたせます。

使いたいウィンドウが見つかったらそれをクリックすると、前面に表示されます。

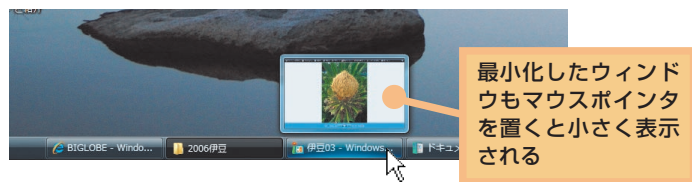
キーボードの←、→キーを押すと順序を入れ替えることができる

▣ボタンをクリックすると、デスクトップを斜め方向から表示した画面になる

使いたいウィンドウをクリックすると、もとの画面にもどる

タスクバーでも縮小表示

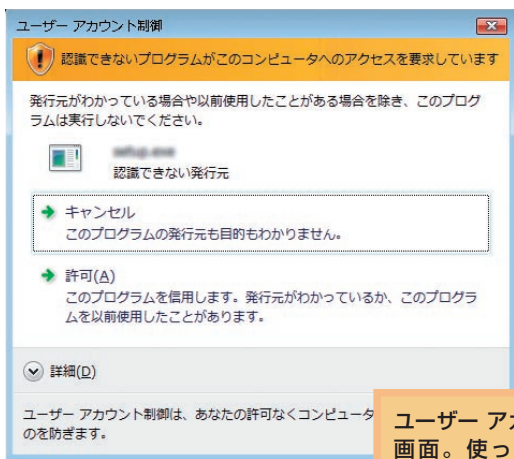
タスクバーには、今開かれているウィンドウに対応したボタンが並んでいますが、これに[カーソル]を合わせると、ウィンドウを小さく縮めたものが表示されるようになりました。

ソフトを切り換えるときも、それぞれのウィンドウを縮小したものが表示されます。

最小化したウィンドウもマウスポインタを置くと小さく表示される

AltキーとTabキーを押してソフトを切り換えるときも、ウィンドウの縮小表示が

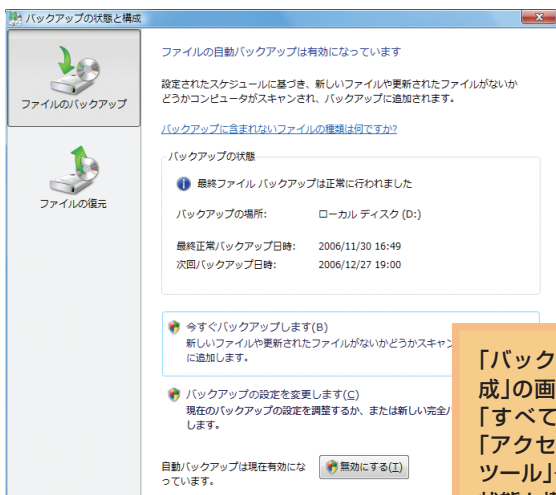
パソコンを使っていて気になるセキュリティ。Ｖｉｓｔａでは、さまざまな場面でセキュリティが強化されました。また、自動バックアップなどパソコンを安心して使うための機能も増えています。

設定変更の前に確認画面

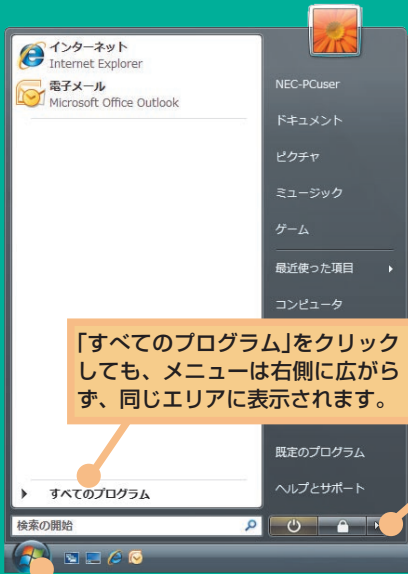
管理者として使っているときも、インストールや重要な設定変更のときに確認画面（ユーザー アカウント制御）が表示されます。ウイルスなどの悪質なプログラムによって、勝手にインストールがおこなわれたり、設定を変えられたりしないようにするためです。

※ プログラムによっては、メッセージが異なることがあります。

ユーザー アカウント制御の画面。使っている環境によって別の画面が表示されることも

上書きしたファイルも復元

システムツールに新たに追加されたのが、「バックアップの状態と構成」。この画面で、普段から自動的にバックアップをとるようにしておくと、まちがって消してしまったファイルを復元できます。

「バックアップの状態と構成」の画面。「スタート」→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「システムツール」→「バックアップの状態と構成」で表示される

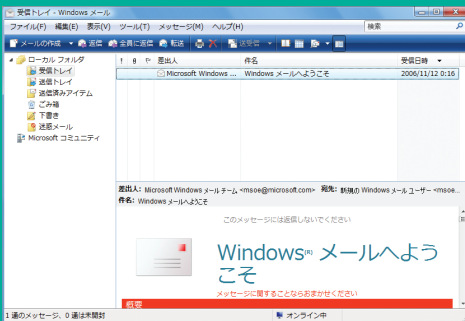
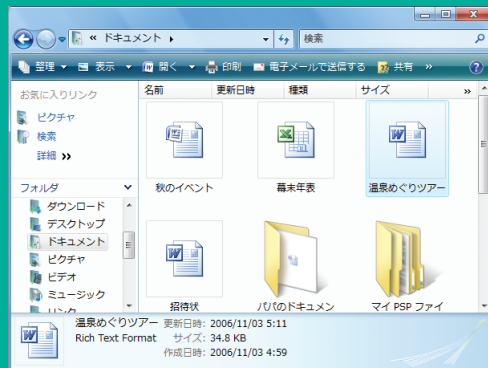
使いなれたXPの機能、どこにいったの?

XPを使いなれていると、その変貌ぶりにとまどうかもしれません。
XPと外見が変わったり、名前が変わったために、
どこに行ってしまったのか迷いそうな機能もあります。
ここでは、おぼえておくと迷わないVistaのよく使う機能を紹介しましょう。

「すべてのプログラム」をクリックしても、メニューは右側に広がらず、同じエリアに表示されます。

をクリックすると、「スリープ」状態に
をクリックすると、「スリープ」という状態になります。すばやく起動できて、しかも完全に電源が切れても復帰のためのデータが失われません。XPの「スタンバイ」のすばやさと「休止状態」のデータ保持の確実性の両方を生かすため、メモリとハードディスクの両方に復帰のための情報を保持します。
(ハイブリッドスリープの場合)

再起動やシャットダウン(完全に電源を切る)のときはメニューから

ユーザーの切り替え(W)
ログオフ(L)
ロック(O)
再起動(R)
スリープ(S)
シャットダウン(U)

スタートボタンとスタートメニュー
スタートボタンは、 になりました。クリックするとスタートメニューが表示されますが、すぐ上に検索欄ができました。「ファイル名を指定して実行」は、「すべてのプログラム」の「アクセサリ」に移動しましたが、この検索欄でも指定できます。

「Outlook Express」は「Windows® メール」に
メールソフト「Outlook Express」は、「Windows® メール」という名称に変わりました。

マイドキュメント
「マイ」がとれて「ドキュメント」になりました。「マイコンピュータ」や「マイピクチャ」も同様です。

Windows Vista

これがVistaだ！

サイドバーに手軽なガジェット

デスクトップの右側には、サイドバーが表示されます。

ここに並んでいる「ガジェット」は、手軽に使えるソフトです。一般のソフトとは違う特殊なソフトです。取り替えたりすることもできます。

サイドバーに時計やおすすめメニュー

サイドバーには、時計やおすすめメニューなどのガジェットが登録されています。

写真が表示されているのは、「スライドショー」（写真を順番に表示すること）というガジェットです。をクリックすると、どのフォルダの画像を表示するかや切り換えの速さを変えられます。

ガジェットの取り付け、取り外し

ガジェットは、サイドバーにあるものだけではありません。ほかのガジェットを入れたり、外したりすることができます。

サイドバーの上のをクリックすると、ほかのガジェットが表示されます。サイドバーに追加したいときは、ここからサイドバーにドラッグします。

ガジェットのアイコンをサイドバーにドラッグするとサイドバーに追加できる。サイドバー上でもドラッグして並び順を変えることもできる

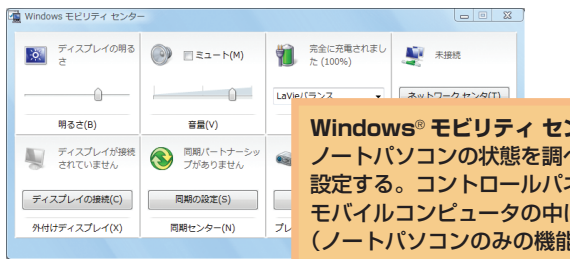
これがVistaだ! 新規追加された便利なソフト

新しいパソコンへのデータ移行ソフトなど、いくつかのソフトが新しく追加されています。
これまで別々の場所でおこなっていた設定を、「センター」という名称で、ひとつに集めたものもあります。

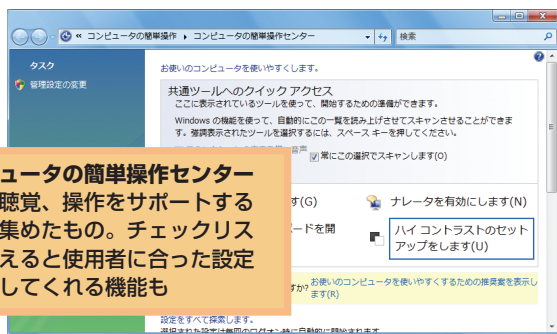
新しいパソコンへデータを移行

新しいパソコンのインターネットやメールの設定は面倒なものですが、古いパソコンの設定をそのまま移せば、すぐに使えるようになります。
Windows® 転送ツールは、これらの設定や、音楽、画像などのデータ、ホームページのお気に入り、ユーザーアカウントなどを、パソコンからパソコンへ移すソフトです。

Windows® 転送ツール
「スタート」→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「システムツール」に入っている。CD、USBメモリ、ケーブルなどのどれかを使ってデータを移行する

Windows® モビリティ センター
ノートパソコンの状態を調べたり設定する。コントロールパネルのモバイルコンピュータの中にある（ノートパソコンのみの機能）

散らばった設定を「センター」に集中

ノートパソコンの充電や無線LANの状態を調べたり設定する機能を集めたのが「Windows® モビリティ センター」。
「コンピュータの簡単操作センター」は、拡大鏡や音声読み上げ、画面の調整、音声入力など、視覚や聴覚や操作をサポートする設定を集めたものです。

コンピュータの簡単操作センター
視覚や聴覚、操作をサポートする設定を集めたもの。チェックリストに答えると使用者に合った設定を提案してくれる機能も

Windows Media Centerでデジタルメディアを制覇しよう

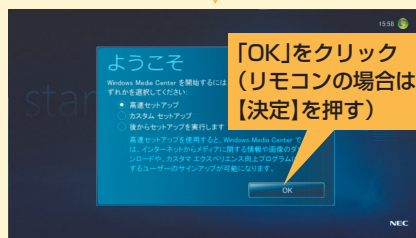
Windows Media Centerは、写真、音楽、映像などをかんたんに楽しめるソフトです。ここでは、このWindows Media Centerを中心に、写真や音楽やテレビ・ビデオをパソコンで楽しむ方法を紹介します。
ソフトを起動すれば、あなただけ(または、あなたと家族だけ)の専用劇場の開幕です。

※ Windows Media Centerは、Windows Vista Home BasicモデルとWindows Vista Businessモデルでは利用できません。

初めて使うときは「高速セットアップ」

Windows Media Centerを初めて使うときには、「ようこそ」と書かれた画面が表示されます。「高速セットアップ」が選ばれているのを確認して、「OK」をクリック。すぐにWindows Media Centerが使えるようになります。

■ 準備は簡単

「スタート」▶「Windows Media Center」をクリック(リモコンの場合は、 を押す)

準備完了

どんな操作も基本は同じ

Windows Media Centerの操作は、すべて「メインメニュー」からスタートします。ここから、楽しみたいものを順番に選んでいけば、お目当てのデータを再生できるのです。
写真、音楽、映像、どのデータでも基本的な使い方は同じ。
データごとに操作を覚える必要がないのも、Windows Media Centerの魅力です。

これが、「メインメニュー」。Windows Media Centerを使っているときはいつでも、画面左上のをクリックするか、リモコンのを押してこの画面を表示できます。

設定を変更するには

Windows Media Centerの設定を変更したいときは、メインメニューの「タスク」→「設定」を選びます。ここから、データが自動的に登録されるフォルダの追加・変更などができます。
Windows Media Centerの設定について詳しくは、「ヘルプとサポート」をご覧ください。

●ご購入時に「ミュージック」、「ピクチャ・ビデオ」に登録されているフォルダ
- 「パブリック」の「ミュージック」、「ピクチャ」、「ビデオ」フォルダ
- ログインしているユーザーの「ミュージック」、「ピクチャ」、「ビデオ」フォルダ

■ 使い方の基本は同じ

例えば、音楽を聴くなら…

メインメニュー

ミュージック

音楽ライブラリ

リストから曲を選ぶ

再生開始

リモコンでラクラク操作

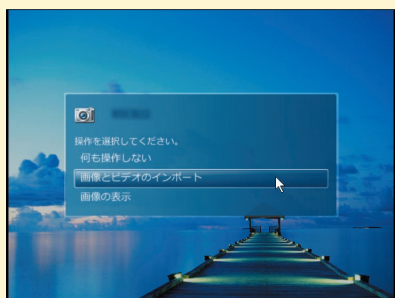
リモコンが添付されたモデルなら、Winsows Media Centerをリモコンで操作できます。テレビやビデオと同じ感覚で、デジタルメディアを楽しみましょう。
リモコンでは主に、【矢印】ボタン、【決定】ボタン、ボタンで操作します。
Windows Media Centerの項目を【矢印】ボタンで選んで【決定】を押す。これが、リモコン操作の基本です。また、パソコンが起動しているときにボタンを押せば、いつでもメインメニューを表示できるのも便利な機能ですね。

写真を見る

メモリ（メモリーカード）いっぱいに撮ったデジタルカメラや携帯電話の写真。パソコンに取り込めば、大きい画面で見られます。

デジタルカメラの写真をパソコンに取り込む

Windows Media Centerを起動し、下図の方法でデジタルカメラかメモリーカードをパソコンにつなぐと左の画面が表示されます。「画像とビデオのインポート」を選ぶと写真がパソコンに取り込まれて、Windows Media Centerで見ることができるようになります。

■ パソコンとカメラをつなぐと

「画像とビデオのインポート」を選んで、「取り込み」を選ぶと写真がパソコンに取り込まれる

①USBケーブルで接続する方法

デジタルカメラの機種によってはパソコンに「ドライバ」をインストールする必要があるものもある

②メモリーカードをセットする方法

メモリーカードに対応したスロット（搭載されている場合）

PCカードスロット（搭載されている場合）

PCカードアダプタ

SDメモリーカード　スマートメディア　コンパクトフラッシュ　メモリースティック　xD-ピクチャーカード　など…

画面いっぱいに写真を表示して楽しむ「スライドショー」

フォルダなどに入っている写真を、一枚ずつ次々と画面いっぱいに映すことを「スライドショー」といいます。

Windows Media Centerだけでなく、「ピクチャ」のフォルダの「スライドショー」ボタンやWindows® フォトギャラリー、サイドバーの「スライドショー」などのソフトでもスライドショーができます。

■ スライドショーで写真を楽しむ

「ピクチャ・ビデオ」の画像ライブラリで「スライドショー」を選ぶか、「すべて再生」を選ぶ。リモコンで ►（次の写真）、◄（前の写真）、■（停止）などの操作ができる。「ミュージック」で音楽を流しながら、スライドショーを表示することもできる

写真を活用したいなら

「デジタルカメラで撮った写真をもっと楽しみたい！活用したい！」そんなときはSmartPhotoがおすすめです。

SmartPhotoは、たくさんある写真の整理・分類のほか、画像の自動補正や素敵なオリジナルアルバム作成などが、このソフト1本でおこなえることが特長です。

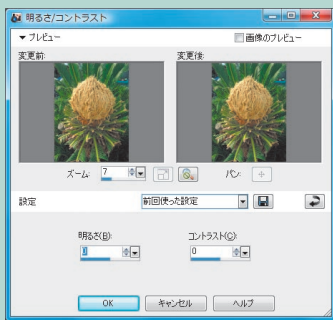
SmartPhotoならではの便利な機能については、56ページをご覧ください。

サイドバーの「おすすめメニュー」か、ソフト&サポートナビゲーター▶ソフトを探す▶写真・画像▶写真を整理・編集する▶SmartPhotoの「ソフトを起動」

そのほかの画像ソフト

Smart PhotoやWindows Media Centerにも色合いなどを自動で調節する機能がありますが、多機能グラフィックソフトCorel（コーレル）Paint Shop Pro Photo（ペイント ショップ プロ フォト）なら、明るさやコントラスト、色あいなどを細かく調節できます。

鉛筆画や油絵のタッチに変換する機能（「効果」→「アートメディア効果」）などもあって楽しめます。

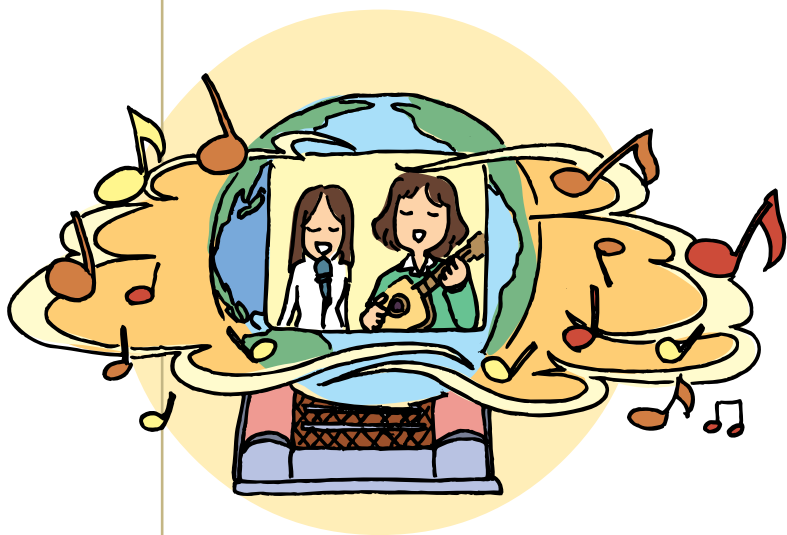
ソフト&サポートナビゲーター▶ソフトを探す▶写真・画像▶写真を整理・編集する▶その他ソフト1▶Corel Paint Shop Pro Photoの「ソフトを起動」

Corel Paint Shop Pro Photoで、写真を選んで、「調整」→「明るさとコントラスト」→「明るさ/コントラスト」を選ぶとこの画面が表示される。「明るさ」「コントラスト」のスライドバーをドラッグすると、変更後を確認しながら調節できる

音楽を聴く

パソコンにCDを入れると音楽を聴けます。それだけではありません。CDや音楽配信サイトから音楽をパソコンに取り込めば、携帯音楽プレーヤーやCDに書き出すこともできます。パソコンが音楽のライブラリーになるのです。

CDの音楽をパソコンに取り込んで再生すれば

Windows Media Centerを起動してから、CDをセットすると、プレイビューの画面が表示され、CDに入っている音楽が再生されます。

プレイビューの画面の「取り込み」を選ぶと、曲の取り込みの作業が始まります。

■ CDを入れると演奏が始まる

Windows Media Centerを起動して、CDをセットすると、自動的にこの画面になり、CDの演奏が始まる。曲をパソコンに取り込みたいときは、「取り込み」を選ぶ

・音楽CDなど、市販のCDは、著作権によって保護されています。個人で楽しむ以外の目的で複製することはできません。
・コピーコントロールCDなど一部の音楽CDは使用できない場合があります。

インターネットの音楽配信サービスで音楽を購入する

インターネットの音楽配信サイトでは、インターネットを使って音楽を購入し、パソコンにダウンロードすることができます。

アルバム単位での販売だけでなく、一曲ずつ買うことができるものもあり、使い方によってはずいぶんお得です。

■ インターネットで音楽を買う

モデルによって画面が異なる場合があります

Windows Media Centerでは、「ミュージック」の「音楽ライブラリ」か「すべて再生」の画面で曲を選び、「音楽の購入」を選ぶ

携帯音楽プレーヤーで音楽を持ち歩く

携帯音楽プレーヤーや音楽携帯で音楽を持ち歩いて聞くときもパソコンが活躍します。

CDから取り込んだり、インターネットで購入した音楽を、パソコンから転送できます。

一般には、専用のソフトを使います。そのプレーヤーのマニュアルをご覧ください。

Windows Media Centerでは、「タスク」の「同期」で、転送をおこないます。

好きな曲を集めてお気に入りCDを作る

好きな曲を集めてCDを作りたいときは、空の書き込みができる新しいCDをセットして、「ミュージック」の「音楽ライブラリ」か「すべて再生」の画面で右クリックをするか、リモコンのサブメニューボタンを押して、「書き込み」を選んでください。

あなたの音楽ライブラリーの中から、CDに入れたい曲を選んでCDを作れます。

■ CDに書き込む

メニューで「書き込み」を選ぶと、CD書き込みの操作が始まる。この画面は書き込む曲目の一覧

このソフトでも音楽を聴けます

音楽を聴くソフトは、Windows Media Centerだけではありません。

このパソコンに入っているWindows Media Player※やBeatJamなどのソフトで音楽を聴くことができます。音楽配信サイトからの音楽の購入や、CDの制作などができます。あなたが使いやすいソフトをさがしてみてください。

※リモコンで操作することはできません。

ソフト&サポートナビゲーター▶ソフトを探す▶音楽▶音楽を楽しむ▶Windows Media Playerの「ソフトを起動」

▼

Windows Media Playerの画面

ソフト&サポートナビゲーター▶ソフトを探す▶音楽▶音楽を楽しむ▶その他ソフト2▶BeatJamの「ソフトを起動」

▼

BeatJamの画面

テレビ・ビデオを見る

■ここに掲載している内容の中で、テレビに関する記載は、テレビ機能が搭載されているモデルのみの機能です。詳しい使い方は『テレビを楽しむ本』をご覧ください。

パソコンでテレビを見てみましょう。

タイムシフトを利用すれば、見ている番組のうち一定時間分がハードディスクに記録されているので、その分、巻き戻しもできます。このパソコンでテレビを見たり、録画をするには、SmartVisionというソフトを使います。

アンテナと初期設定ができたら さっそくテレビを見てみよう

アンテナ線の接続とテレビ機能の初期設定ができていれば、テレビを見ることができます。アンテナ線の接続については『準備と設定』、テレビ機能の初期設定については『テレビを楽しむ本』をご覧ください。

普通のテレビと同じように、リモコンでチャンネルを選んだり、音量を調節することができます。もちろんマウスを使って操作することもできますよ。

リモコンの録画ボタンを押して、見ている番組を録画することができます。番組は、パソコンのハードディスクに録画されます。録画を終わるときは■（停止）ボタンを押してください。

パソコンの画面に表示される番組表でお気に入りの番組をチェックして、予約録画することもできます。

録画を再生するときは録画番組の一覧から

録画した番組は、録画番組の一覧に表示されます。それぞれの番組には、番組情報にしたがって番組のタイトルや放送された日時などが表示されます。

リモコンで選んで再生してみましょう。普通のビデオデッキやDVDプレーヤーのように、リモコンのボタンで再生や停止、早送り、早戻しなどの操作をすることができます。

「ニュース」や「音楽」、「スポーツ」などのジャンル別に番組を表示させることができます。番組のタイトルや出演者の名前をキーワードにして、番組を検索することもできます。これならたくさん録画しても「あの番組が見つからない！」なんてことにはなりませんね。

あなたがテレビ放送や録画物などから取り込んだ映像や音声は、個人として楽しむほかは、著作権上、著作権者に無断で使用できません。

ディスクに保存すればプレーヤーでも楽しめる

ハードディスクがいっぱいになると、録画やパソコンのほかの作業ができなくなります。必要な映像、保存しておきたい映像は、こまめにDVDやブルーレイディスクに保存して、ハードディスクの映像は削除しておきましょう。

ディスクには、左の図のように、多くの種類があります。DVDプレーヤーなど、ほかの機器で再生するときは、機種によって再生できるディスクが違うので気を付けてください。

■ SmartVisionで書き込めるディスクの種類※1

・CPRM対応DVD-R（1層/2層）※2
データの書き込みは1回だけ。書き替えはできない。

・CPRM対応のDVD-RAM※2
データの書き替えができる。

・BD-R
データの書き込みは1回だけ。書き替えはできない。デジタル放送をそのままの画質で保存することができる。

・BD-RE
データの書き替えができる。デジタル放送をそのままの画質で保存することができる。

■保存できる時間

ディスクに保存できる時間は、ディスクの種類や録画した番組によって異なる。

※1：使用できるディスクは、モデルによって異なります。
※2：SmartVisionで録画したデジタル放送を保存するには、CPRM対応のディスクが必要です。必要に応じて、番組を変換して保存します。

DVDをパソコンにセットすると再生がはじまる

DVDをパソコンにセットすると、WinDVD for NEC※が起動して、DVDが再生されます。早送りや前後のチャプターへのジャンプなどの操作はリモコンでできます（DVDによってはできない機能があります）。

マウスで操作するときは、マウスでどこかをクリックすると、画面の上下に操作用のボタンが表示されます。

※モデルによって起動するソフトが異なります。

■ DVDを再生するソフト

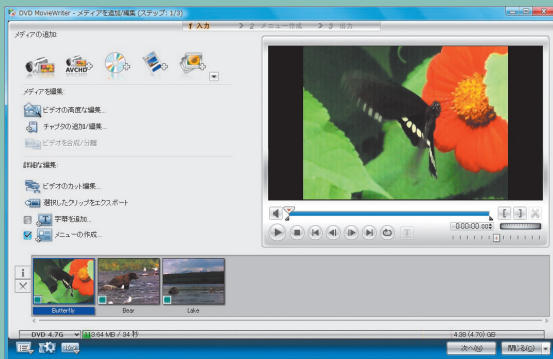
DVDを再生するソフトは、モデルによって異なります。再生できるディスクなどについて詳しくは、「ソフト&サポートナビゲーター」-「パソコンの各機能」-「ブルーレイディスク/DVD/CDドライブ（または「DVD/CDドライブ」）をご覧ください。

ソフト	DVD-Video	ブルーレイディスク（BDMV/BDAV）
WinDVD BD for NEC※	○	○
WinDVD AVC for NEC※	○	×
WinDVD for NEC	○	×

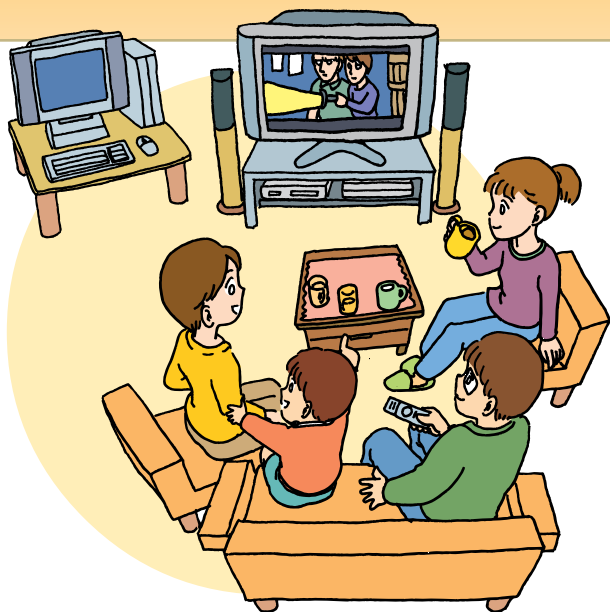
※SDメモリーカードに保存したAVCHD形式の映像も再生できます。詳しくは、ソフトのヘルプをご覧ください

ビデオの編集に挑戦！

旅行や子どもの運動会のビデオ、思い出に残しておいても、撮りっぱなしで編集なしでは、見るのもひと苦労。でも、デジタルビデオカメラをパソコンにつないで、映像を取り込めば、かんたんに編集できるんです。

※デジタルビデオカメラとパソコンの接続方法については、デジタルビデオカメラのマニュアルをご覧ください。

DVD MovieWriter for NECを使うと、タイトルや音楽もかんたんにつけられる

つないで楽しむ

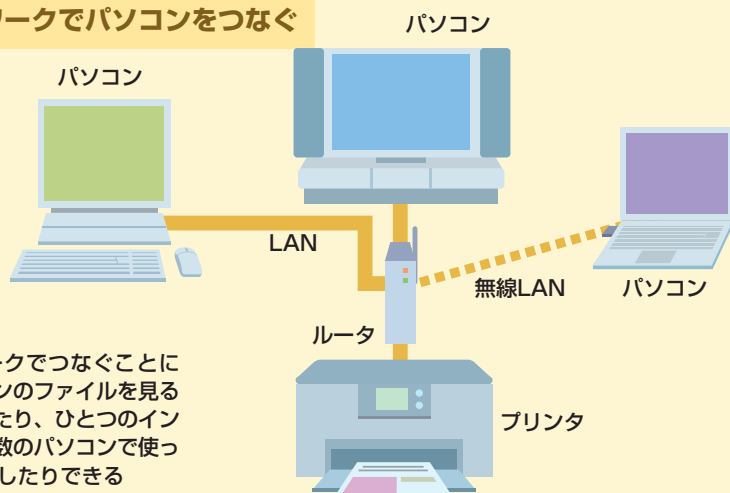
書斎のパソコンに入れた音楽をリビングのオーディオで聴きたい。リビングのビデオデッキに録画したテレビ番組を寝室で見たい。そんなふうにできたらいいなと思ったことはありませんか?

ホームネットワークでパソコンをつなぐ

家庭内にいくつかのパソコンがあれば、それをホームネットワーク(家庭内LAN)でつなぐことができます。

ホームネットワークでパソコンをつなげば、全てのパソコンからインターネットを見たり、お互いのパソコンに保存されたデータを共有したりとパソコンをさらに便利に使うことができます。

ホームネットワークでつなぐには、「ルータ」という機器が必要です。ルータには、無線LANに対応したものや、モデムにルータ機能がついているものなどいろいろな種類があります。

ホームネットワークの設定方法について詳しくは、お使いのルータ(またはルータ機能付きモデム)のマニュアルをご覧ください。

■ ホームネットワークでパソコンをつなぐ

パソコンをネットワークでつなぐことによって、ほかのパソコンのファイルを見ることができるようにしたり、ひとつのインターネットの回線を複数のパソコンで使ったり、プリンタを共有したりできる

DLNAがパソコンやAV機器をつなぐ

NECのパソコンのWindows Media Centerは、DLNAという規格で、パソコンやAV機器をつなぐことができます。

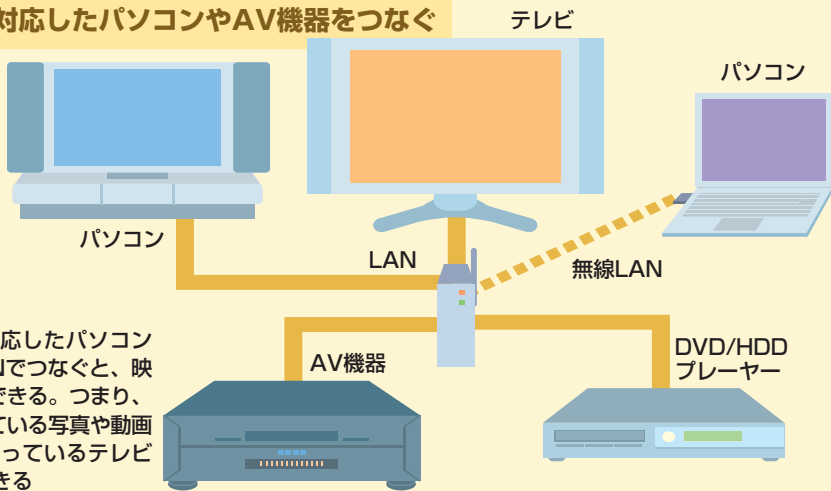
DLNA（Digital Living Network Alliance）は、ホームネットワークを使って、ほかのパソコンやAV機器に保存されている映像や音楽を見たり聴いたりできるようにする規格です。

パソコンやホームサーバー、DVD／HDDレコーダーなどは映像や音楽を蓄積する「サーバー」に、テレビやAVコンポ、パソコンはそれらの映像や音楽を再生する「プレーヤー」になります。

2005年10月以降に発売され、MediaGarageがインストールされているNECのパソコンもDLNAに対応しています。

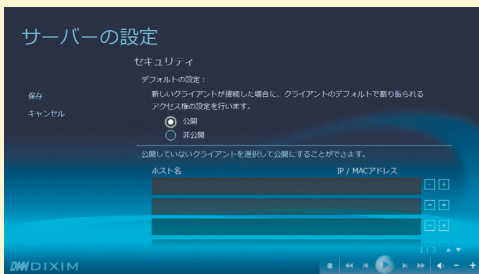
DLNAに対応した機器をホームネットワークでつなぐと、書斎に置いたパソコンに入っている写真や動画を、リビングのテレビで見るといったことができるのです。

■ DLNAに対応したパソコンやAV機器をつなぐ

テレビ
パソコン
パソコン
LAN
無線LAN
AV機器
DVD/HDD プレーヤー

DLNA規格に対応したパソコンやAV機器をLANでつなぐと、映像や音楽を共有できる。つまり、パソコンに入っている写真や動画をLANでつながっているテレビで見ることができる

コンテンツを公開して Windows Media Centerで楽しむ

パソコンなどの機器は、ネットワーク上のほかの機器からはすぐに利用できないように保護されています。DLNAに対応した機器に保存されている、音楽、画像、映像といったコンテンツも「公開」という手続きをしないと、ほかの機器から見ることはできません。

コンテンツを公開すると、Windows Media Centerの「ホームネットワーク」で、視聴できるようになります。

■ コンテンツを公開する

コンテンツの公開は、「Windows Media Center」の「ホームネットワーク」でおこなう

おすすめ機能① ネット映像

【「ネット映像」はインターネットの映像図書館】

いつでも何度でも好きなときに見られる新しい形のテレビ

インターネットに接続したら、ぜひ試してほしいのが、「ネット映像」です。

これは、総合動画サイト「BIGLOBEストリーム」という無料映像ライブラリに、リモコンでカンタンにアクセスする仕組みです。

たとえば、レシピを見て料理しているときに、突然出てきた「ニンジンの色紙切り」。いったいどんな切り方なのか見当がつかない。知人に聞いても、電話じゃよくわからない。でも、映像で見るとすぐにわかります。

リモコンのネット映像ボタンを押して、一覧から選ぶだけ。「ニンジンの色紙切り」は、「ライフスタイル」の中の「料理の基本」の「野菜の切り方」にあります（メニューは変更になる場合があります）。

最新のニュースや天気予報、映画の予告編やドラマ、アニメ、レジャー情報など、いろんなジャンルの情報がつまっています。BIGLOBEの会員でなくても、いつでも何度でも好きなときに見ることができます。

おすすめ機能① ネット映像

リモコンで操作するとき

ネット映像ボタンを押す

マウスで操作するとき

ソフト&サポートナビゲーター

ソフトを探す

映像

ネット映像（BIGLOBEストリーム）を見る

ソフトを起動

Windows Media Centerの「おすすめ」からも「ネット映像」を表示できます。

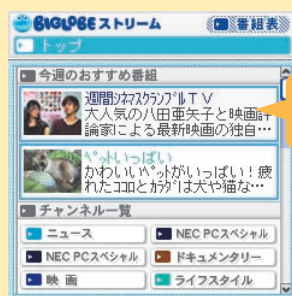
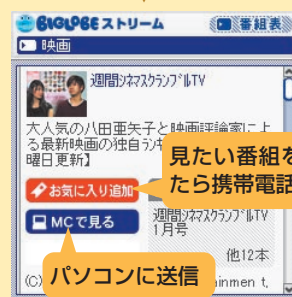
番組表	番組表を表示する
標準画質 / 高画質 / 超高画質	優先する画質を標準画質、高画質、超高画質から設定する

映像が再生されます

映像の部分を選んで決定ボタンを押すと映像が画面いっぱいに表示されます（マウスの場合はクリック）

番組表の画面

◀◀	巻き戻し
▶▶	早送り
❚❚	一時停止
▶	再生

画面デザインやメニューは、予告なく変更になる場合があります。
ネット映像が対応している画面解像度は、1,024×768以上です。

携帯電話で番組を探して、赤外線で送信したら、今度はリモコンに（リモコン添付モデルのみ）

「ネット映像」の番組は、携帯電話でもさがせます。たとえば、外出中におすすめ番組をチェックして、携帯電話のお気に入りに登録。帰宅してその番組の情報を赤外線機能でパソコンに送信すると、番組を見ることができます。さらに、携帯電話はリモコン代わりにも使えます。

※「BIGLOBEストリームiアプリ」のダウンロードと、携帯電話の対応機種については、「BIGLOBEストリームモバイル」(http://bst.kbg.jp/)でご確認ください。
※「BIGLOBEストリームiアプリ」と「BIGLOBEストリームモバイル」の利用料は無料です。（パケット通信料は別途必要です）

「ネット映像」はインターネットの映像図書館

趣味▶ペットいっぱい！▶チワワ、ポメラニアン、プードル、アメリカンショートヘアなどのペットの日常、かわいいファッション、健康チェックなど。ウサギ、ハムスター、熱帯魚も

天気予報も「ネット映像」ボタンを押して選ぶだけ

リモコンのネット映像ボタンを押すと、ネット映像の番組表の画面になります。天気予報を見たいときは、リモコンの▲▼◀▶ボタンを使って「天気」を選び、決定ボタンを押すと、映像が表示されます。全国の天気や地域別の天気などがあるの

「ネット映像」には、たとえばこんな映像が　（内容は変更されることがあります）

ジャンル	内容
ニュース	分野別のニュースと、そのヘッドライン、株式市場、各地の天気予報など最新のニュースをお届けします
映画	映画の予告編、メイキング映像や監督や出演者のインタビュー、週間ランキングなど、映画の情報・映像がいっぱい
ドラマ	韓国ドラマや中国ドラマなどのドラマ映像や、インターネットでしか見られないオリジナルドラマなど
音楽	ビデオクリップやアーティストのインタビュー、メッセージ映像、カラオケ情報など
バラエティ	芸能ニュース、俳優や映画監督の記者会見、インタビューから、未確認動物、怪奇現象まで、いろんな映像がぎっしり
アニメ	アニメ・特撮のいまどきのおすすめ作品、懐かしの作品、プロモーション映像など。さらに、ゲーム情報、FLASHゲームも
趣味	占星術などの占い、将棋の対戦・棋譜解説、モーターショーや新車の試乗レポート、ペット、競馬・ギャンブル、写真など
スポーツ	バレーボール、ラグビー、ゴルフ、格闘技、マリンスポーツなどの試合や選手インタビューなど
ショッピング	家電、音楽、DVDなどの直販番組をはじめ、旬のお取り寄せグルメなど幅広くご紹介
ライフスタイル	韓国語講座から、メイク・ヘアアレンジ、おしゃれ、100円インテリア、住まい、料理、慶弔マナーなど。バラエティに富んだ品揃え
旅行・地域	海外･国内旅行のガイド､行楽･トレンディースポット情報など､世界の旅行情報と自然の映像満載
グラビア	人気アイドルのプロモーション映像やインタビューなど、アイドルの映像や情報がいっぱい

●映像に関するお問い合わせ先

「BIGLOBEカスタマーサポート」 お問い合わせフォーム　http://support.biglobe.ne.jp/ask.html

「BIGLOBEカスタマーサポート インフォメーションデスク」

通話料無料 0120-71-0962 携帯電話・PHS・CATV電話の場合 03-3945-0962（通話料お客様負担）

9:00～21:00 365日受付

で、▼ボタンで選んで決定ボタンを押すと、見たい映像が表示されます。

見ている映像が終わると、自動的に次のタイトルの映像が表示されます。

旅行・地域▶日本の鍋料理▶地域の鍋料理の紹介、調理法、特産品の使用、家庭でも簡単にできる鍋料理など

旅行・地域▶国内外の観光地情報やレジャー・グルメ情報など。トレンディースポットから潮干狩り、季節のおもてなしレシピも

これらの映像の画面は、イメージ画像です。
実際に配信されているものではありません。
内容も異なることがあります。

メディアオンラインのネット映像（Windows Media Center）

Windows（ウィンドウズ） Media（メディア） Center（センター）の「メディアオンライン」には、また別の「ネット映像」があります。

「メディアオンライン」の「ギャラリー」は、音楽や映画、ソフトウェアなどのオンデマンドオンラインコンテンツを集めたメニューです。

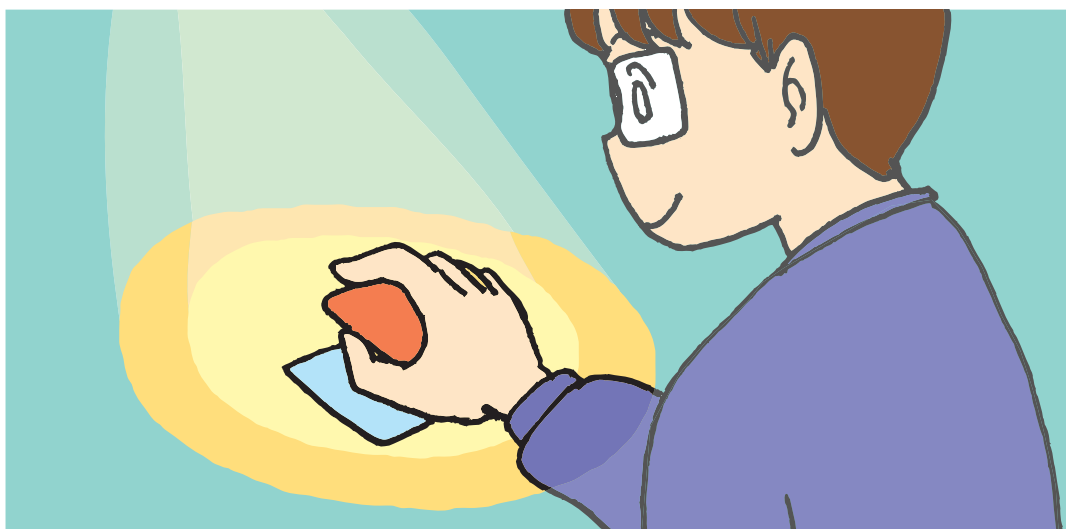
（コンテンツにより、視聴には別途料金がかかることがあります。）

Windows（ウィンドウズ） Media（メディア） Center（センター）のスタートボタン

メニュー画面
リモコンの▼▲ボタンで選んで決定ボタンを押します

※Windows Media Centerのセットアップについては「Windows Media Center でデジタルメディアを制覇しよう」（80ページ）をご覧ください。

おすすめ機能❷ FeliCa(フェリカ)ポート

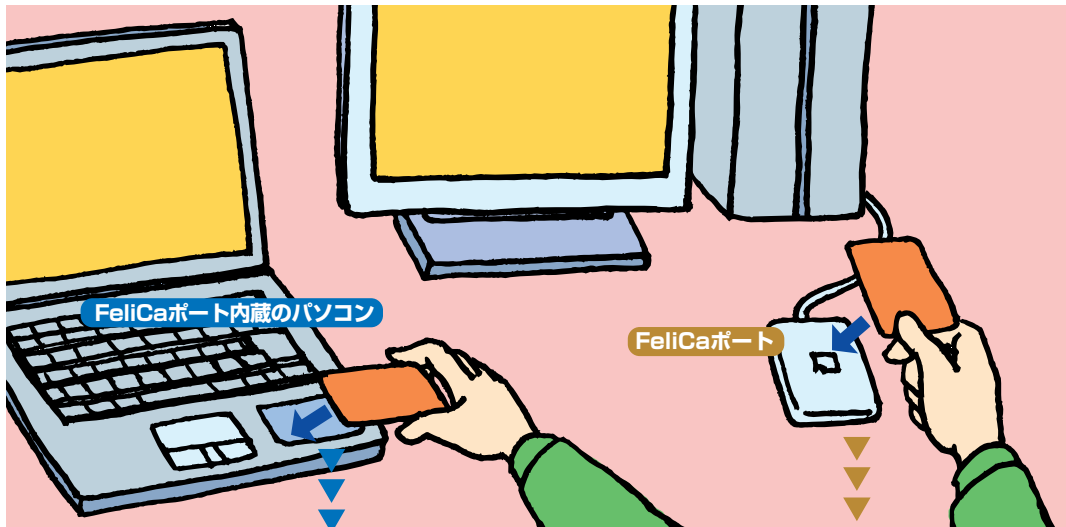
【パソコンでも活躍する便利なFeliCa】

FeliCaって聞き慣れないけどホントはもうあちこちで使われている

FeliCa(フェリカ)という聞き慣れない言葉ですが、JR東日本のSuica(スイカ)やJR東海のTOICA(トイカ)、JR西日本のICOCA(イコカ)、電子マネーのEdy(エディ)カード、おサイフケータイのことは聞いたことがありませんか?

これらは、みんなFeliCaなんです。カードや携帯電話の形をしていますが、仕組みは同じ。中に入っているIC回路によって、持ち主の識別ができて、お金をあずけて財布がわりに使えるなどの機能があります。

パソコンにFeliCa機能があればネットの支払いや残高照会ができる

電子マネーのEdyカードは、店で買い物をするときに使えますが、パソコンにFeliCa機能があれば、インターネットで買い物をするときにも使えます。クレジットカードで支払い(決済)をするためには、クレジット

おすすめ機能② FeliCa(フェリカ)ポート

「FeliCaポート」にFeliCa対応カードをかざすと、この「かざしてナビ」の画面が表示される。この画面から、FeliCaを使ったいろんな機能を使える(FeliCa対応モデルのみ)

「FeliCaポート」を使うための設定については、『準備と設定』をご覧ください。「かざしてナビ」の使い方、および「かざしてナビ」から起動するソフトの使い方については、「ソフト&サポートナビゲーター」をご覧ください。

カードの番号や名前などの入力が必要ですが、Edyカードなら、「FeliCaポート」にかざすことで、支払い(決済)ができます。

また、交通機関のカード（SuicaやICOCAなど）は、現状では支払い（決済）はできませんが、残高や乗車履歴を見ることができます。交通費の精算のときに便利ですね。

FeliCaの認証機能がセキュリティにも役に立つ

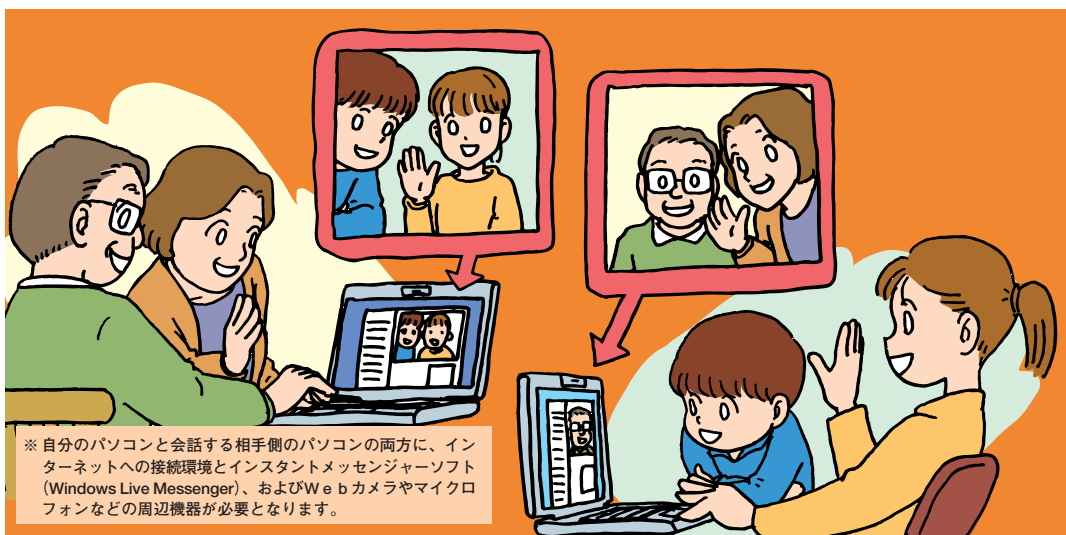
FeliCaの、カードを識別する機能は、パソコンをより便利にします。

たとえば、あらかじめ登録したFeliCa対応カードがないと見られない秘密の場所を、パソコンの中に作って、そこに個人用のフォルダやファイルを置いておくことができます。

また、FeliCa対応カードをかざすだけで、WebサイトのID、パスワードや名前、住所などを自動入力することができます。

ほかにも、スクリーンセーバーの画面からもとの画面に戻すときに、FeliCa対応カードをかざすことで、パスワードを入力する代わりになります。

おすすめ機能③ Webカメラ

「Webカメラ」で気軽なコミュニケーション

※自分のパソコンと会話する相手側のパソコンの両方に、インターネットへの接続環境とインスタントメッセンジャーソフト（Windows Live Messenger）、およびＷｅｂカメラやマイクロフォンなどの周辺機器が必要となります。

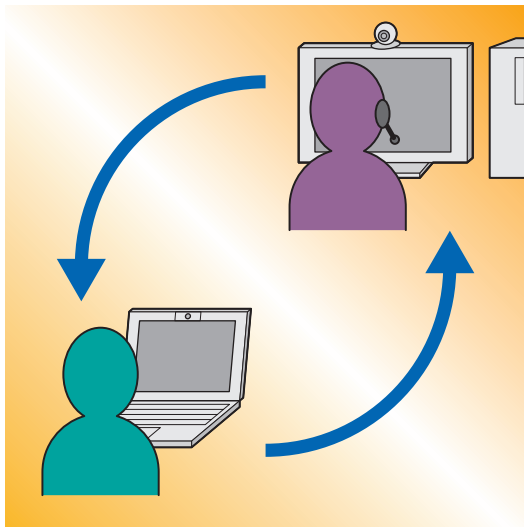
遠くのあの人とWebカメラを使ったテレビ電話（ビデオチャット）

テレビ電話なんて昔のＳＦ小説のようですが、パソコンを使ったテレビ電話（ビデオチャット）は、すでに世界中で楽しまれているんです。

パソコンのＷｅｂカメラで撮影されたあなたの映像が、インターネットを経由して相手のパソコンに届く仕組み。もちろん、相手の映像もあなたのパソコンで見ることができます。マイクも使えば顔を見ながらリアルタイムでお話できるというわけです。

電話と違って通話料やパケット代がかかりません（インターネットの接続料などは必要となります）。だから、時間を気にせず、故郷の懐かしい友人や遠距離恋愛の恋人とゆっくり会話が楽しめます。田舎のおじいちゃんおばあちゃんにお孫さんの顔を見せてあげるのもいいですね。

ビデオチャットはたくさんのデータを送受信する必要があるため、ＡＤＳＬや光ファイバーなどのブロードバンド接続のかたにおすすめします。

おすすめ機能③ Webカメラ

「Webカメラ」で撮影された映像がインターネットを通じて送られる。ビデオチャットだけでなく、ビデオや写真を撮影して、メールで送ることも。（Webカメラが搭載されていないモデルでは、別途Webカメラをご用意いただく必要があります）

Windows Live Messengerが大活躍

ビデオチャットには、Windows Live Messengerというインスタントメッセンジャーソフトを使います。

Windows Live Messengerは会話を楽しむだけのソフトではありません。キーボードを使った文章によるやりとりはもちろん、離れた友人と対戦できる無料オンラインゲームや、ファイルの転送機能も備えた優れものです。

また、Windows Live Messengerは携帯電話からも使えます（対応機種のみ）。電車の中や待ち合わせの最中でも、パソコンと同じIDでメッセージのやりとりができるんです。

「Webカメラ」を使うための設定については、『準備と設定』をご覧ください（Webカメラ搭載モデルのみ）。

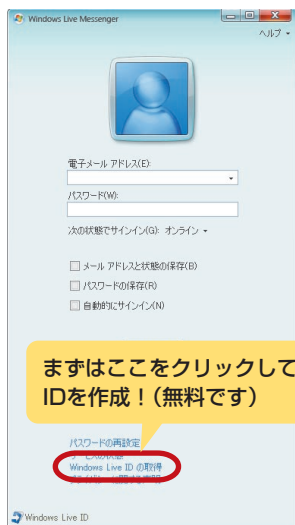
「Windows Live Messenger」のヘルプ

「Windows Live Messenger」の設定方法や使い方は、ヘルプをご覧ください。

※ 内容は変更されることがあります。

ビデオチャットについては、ヘルプの次の項目がお役に立ちます。
「メンバーとのコミュニケーション」の、
・「Windows Live Messengerでの音声と映像の使用について」
・「映像通話を開始する、Webcamを送信する、または相手のWebcamを表示する」

まずはWindows Live IDを作成してサインイン

Windows Live Messengerを使うには、Windows Live IDが必要です。まずは、Windows Liveサービスのホームページにアクセスして、Windows Live ID（無料）を作成しましょう。

IDとパスワードが決まったら、早速サインイン。でも相手がいなくちゃ文字どおりお話になりませんね。友達や家族、同僚やサークルの仲間など、さまざまな人をメンバーに追加して、会話を楽しみましょう。すでにWindows Live Messengerを使っている人なら、その人のWindows Live IDを登録。そうでない人にも、招待メールで参加を呼びかけることができます。

チャットを始めるまでの流れ

Windows Live IDを作成
▼
サインイン
▼
メンバー登録
▼
ビデオチャット開始！

詳しくは、Windows Live Messengerのホームページをご覧ください。
http://messenger.live.jp/index.htm

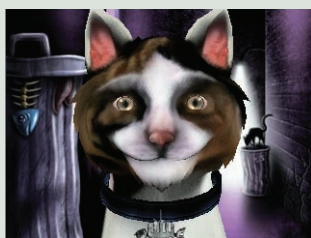
Qcam for NECのビデオエフェクトで気分を変えておしゃべりも（Webカメラ搭載モデルのみ）

顔を見ながらおしゃべりできるのがビデオチャットのいいところ。

でも、Webカメラに顔を映したくないときもありますよね。寝不足だったり、お化粧していなかったり。散らかった部屋を相手に見られてしまうのも気まずいですね。

そんなときは、Qcam for NECのアバターを使ってみましょう。

アバターはあなたの分身となるキャラクターです。Qcam for NECのビデオエフェクトで選んだアバターが、あなたに代わって相手のパソコンの画面に登場します。

Webカメラから取り込まれたあなたの顔の動きに合わせ、アバターも表情を変えるので、臨場感のある会話を楽しむことができます。

あなたに合わせてアバターの表情が変化

付けひげや王冠を追加するフェースアクセサリも楽しい

QuickCam®
ビデオ エフェクト
他のビデオ エフェクトを表示(V)
フェース アクセサリ
他のビデオ エフェクトを入手(G)

おすすめ機能③ Webカメラ

Qcam for NECで手軽な写真撮影 もちろんビデオだってOK

せっかくのカメラ、ビデオチャットだけではもったいない。Qcam for NECを使えば、手軽に写真やビデオを撮影することができます。

ビデオエフェクトを使ってフェースアクセサリをつけた状態でも撮影できますから、王冠をかぶった写真を撮って、その画像をブログに載せたり、友達にメールしたりするのも楽しいですね。

Qcam for NECの「写真を撮る」または「ビデオを録画」をクリックするだけ
撮影したデータは、下段の「ギャラリー」に一覧表示される

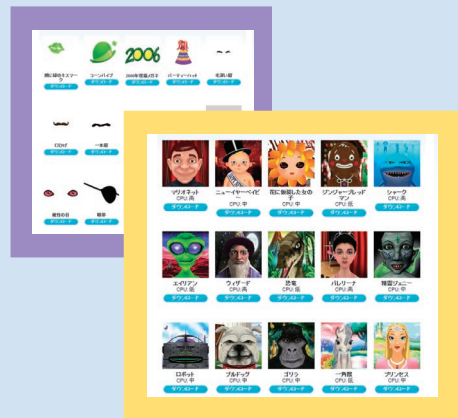
フェースアクセサリをつけた写真はもちろん、アバターの写真やビデオも撮影することもできる

Qcam for NECの使い方は、「ソフト&サポートナビゲーター」や、Qcam for NECのヘルプをご覧ください。

アバターやフェースアクセサリは、インターネットからダウンロードして追加することも

Webカメラがあればログオンも顔パスで

シンプルログオン機能※とWebカメラのコンビもなかなかのもの。

あなたの顔をWebカメラに映すことで、パソコンにログオンできるのです。まさに顔パス感覚ですね。

※FeliCa対応モデルのみ。

あなたの顔を3回撮影して登録。次からは顔パスでログオン

た

な

は

ま

ら

わ

❖索引❖

A～Z

あ

か

さ

■このマニュアルで使用しているソフトウェアの正式名称

（本文中の表記）	（正 式 名 称）
Windows、Windows Vista	Windows Vista® Home Basic with Service Pack 1(SP1) Windows Vista® Home Premium with Service Pack 1(SP1) Windows Vista® Business with Service Pack 1(SP1) Windows Vista® Ultimate with Service Pack 1(SP1)
Windows XP	Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system 日本語版 Service Pack 3 Microsoft® Windows® XP Professional operating system 日本語版 Service Pack 3 Microsoft® Windows® XP Media Center Edition 2005 operating system 日本語版
インターネットエクスプローラ、Internet Explorer	Windows® Internet Explorer®
ワード2007、Word 2007	Microsoft® Office Word 2007
エクセル2007、Excel 2007	Microsoft® Office Excel® 2007
アウトルック2007、Outlook 2007	Microsoft® Office Outlook® 2007
IME 2007	Microsoft® IME 2007
サイドバー	Windows® サイドバー
Windows Media Center	Windows® Media Center
Windows Media Player	Windows Media® Player 11
Windows Update	Windows® Update
「スタート」、スタートボタン、スタート	Windows Vista® スタート ボタン
セキュリティセンター	Windows® セキュリティ センター
WinDVD for NEC	InterVideo® WinDVD® for NEC
WinDVD AVC for NEC	InterVideo® WinDVD® AVC for NEC
WinDVD BD for NEC	InterVideo WinDVD BD® for NEC
DVD MovieWriter for NEC	DVD MovieWriter® for NEC
筆ぐるめ	筆ぐるめ Ver.16
ウイルスバスター	ウイルスバスター™ 2009
BeatJam	BeatJam 2009 for NEC PCOMG119NBG
EdyViewer	EdyViewer 2.1.2.0
かざしてナビ	かざしてナビ for NEC PC108NBG
Corel Paint Shop Pro Photo	Corel® Paint Shop Pro® Photo XI
Windows Live Messenger	Windows Live™ Messenger

■本文中の記載について

・本文中の画面やイラスト、ホームページは、モデルによって異なることがあります。また、実際の画面と異なることがあります。
・記載している内容は、このマニュアルの制作時点のものです。お問い合わせ先の窓口、住所、電話番号、ホームページの内容やアドレスなどが変更されている場合があります。あらかじめご了承ください。

■ Designed for Windows® program について

本製品には、Designed for Windows® program のテストにパスしないソフトウェアを含みます。

■商標について

Microsoft、Windows、Windows Vista、Internet Explorer、Office ロゴ、Excel、Outlook、PowerPoint、DirectX、Windows Media、Windows LiveおよびWindowsのロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
“Blu-ray Disc”は商標です。
「FeliCa」は、ソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。
「FeliCa」は、ソニー株式会社の登録商標です。
「Edy」は、ビットワレット株式会社が管理するプリペイド型電子マネーサービスのブランドです。
「eLIO」は、株式会社ソニーファイナンスインターナショナルが開発したネット決済用のクレジットサービスで、同社の登録商標です。
「Kitaca」は北海道旅客鉄道株式会社の登録商標です。
「Suica」は東日本旅客鉄道株式会社の登録商標です。
JR東日本　Suica利用承認第4号。当該承認は、東日本旅客鉄道株式会社が本商品・サービスの内容・品質を保証するものではありません。東日本旅客鉄道株式会社の都合により、予告なくSuicaカードが交換されることがあります。

「TOICA」は東海旅客鉄道株式会社の登録商標です。
「ICOCA」は西日本旅客鉄道株式会社の登録商標です。
「nimoca」は西日本鉄道株式会社の登録商標です。
「PiTaPa」は株式会社スルッとKANSAIの登録商標です。
(株)パスモ商標利用許諾済　第18号

PASMOマークmo及びPASMOは(株)パスモが本商品・サービスの内容・品質を保証するものではありません。

(株)パスモの都合により予告なくPASMOカードが交換されることがあります。
「PASMO」は、株式会社パスモの登録商標です。
「おサイフケータイ」はNTTドコモの登録商標です。
は、フェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
「Near Field Rights Management」および「NFRM」は、日本国内における株式会社フェイスの商標または登録商標です。
TRENDMICRO及びウイルスバスターは、トレンドマイクロ株式会社の登録商標です。
Corel、Paint Shop Proは米国およびその他の国におけるCorel Corporationあるいはその子会社の商標または登録商標です。
Corel、InterVideo、WinDVD、InterVideo WinDVD BD、DVD MovieWriterはCorel Corporation および その関連会社の商標または登録商標です。
Logitech、Logitechロゴ、QuickCamは、米国及び他国でのLogitechの商標又は登録商標です。
Logicool、Logicoolロゴ、その他Logicoolマークは、日本及び他国でのLogicoolの商標又は登録商標です。
DLNA はDigital Living Network Alliance の商標です。
BIGLOBEはＮＥＣビッグローブ株式会社の登録商標です。

その他、本マニュアルで説明されている会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。

ご注意

1. 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
2. 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
3. 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、NEC121 コンタクトセンターへご連絡ください。落丁、乱丁本はお取り替えいたします。
4. ソフトウェアの全部または一部を著作権の許可なく複製したり、複製物を頒布したりすると、著作権の侵害となります。

VALUESTAR
LaVie

活用ブック 2

初版 2008年12月
NEC
853-810601-797-A
Printed in Japan

NECパーソナルプロダクツ株式会社
〒141-0032 東京都品川区大崎一丁目11-1（ゲートシティ大崎 ウエストタワー）

このマニュアルは、再生紙を使用しています。